

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
埼玉医科大学	大学事務部保健医療学部事務室	埼玉医科大学医学部特別奨学金	学校出願時		学費支援	【目的と概要】 学業優秀な者に対し経済的援助を行うことにより、本学の建学の理念に沿い、将来本学の一員として医学・医療の貢献に貢献し活躍できる人材を育成するための奨学金制度です。卒業後、貸与期間の1年間の期間、本学に勤務することにより貸与した奨学金の返還が免除されます。大学入学共通テスト利用選抜の出願時に申請を受け付け、奨学金受給者を選定いたします。 【申請条件】 下記の条件を満たす者 ①本学に入学を志す希望者として、2022年度(令和4年度)大学入学共通テスト利用選抜に出願予定の者 ②卒業後、専ら本学に勤務し、医学・医療の発展に貢献する意欲を有する者 ③高等学校又は中等教育学校等を2021年3月に卒業(修了)した者、若しくは2022年3月に卒業(修了)見込みの者 【申請方法】 医学部大学入学共通テスト利用選抜の出願時		貸与奨学金	入学時 350万円、2年次以降 年300万円(総額1,350万円)	入学後6年間	5名以内	地域の制限なし	大学事務部医務部事務室	併用可	条件有り併用可	
	大学事務部保健医療学部事務室	研究医付奨学金(研究医付)	在学中	2年次	研修支援制度	【目的と概要】 将来の研究医と基礎医学を修め研究者を養成するために設ける専ら学業優秀な者を対象とする。貸与終了者が、埼玉医科大学医学部基礎医学部門において勤務した期間の合計が、貸与された月数と同数の期間に達した場合は返還が免除されます。 【返還免除条件】 埼玉医科大学基礎医学部門において勤務した期間の合計が、貸与された月数と同数の期間に達した場合は返還が免除されます。		貸与奨学金	貸与額 月10万円(総額840万円)	医学部3年次または、4年次から7年間	3名(医学部2年次修了者)	地域の制限なし	大学事務部医学部事務室	併用可	併用可	
	大学事務部保健医療学部事務室	毛呂山金賞英会奨学金	在学中	特になし	学費支援	家庭の事情などにより学費の支払いが困難となった医学部の学生を支援します。 短期間で修業し、後進を奨励いたします。		貸与奨学金	個別に定める	個別に定める	定員無し	地域の制限なし	大学事務部医学部事務室	併用可	併用可	
	大学事務部保健医療学部事務室	第3種特別待遇奨学生	その他	学年進級時に起程	特待生・成績優秀者	1～5年次の成績優秀者に対して前年度の成績をもとに選抜します。		免除・減免	授業料の5名、100万円を免除	当該学年の1年間	10名	地域の制限なし	大学事務部医学部事務室	併用可	併用可	
	大学事務部保健医療学部事務室	埼玉医科大学保健医療学部 第二種特待生制度	その他	進級時に起程	特待生・成績優秀者	2年～4年次の保健医療学部学生対象 入学後2年以内の各学年において前年度の成績および入力が特に優れている者		免除・減免	免除額30万円(実務実習費相当額)	当該学年の1年間		看護学科 各学年2名 臨床検査学科 各学年2名 臨床工学科 各学年2名 理学療法学科 各学年2名	地域の制限なし	大学事務部保健医療学部事務室	併用可	併用可
	大学事務部保健医療学部事務室	埼玉医科大学保健医療学部 第一種特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者	保健医療学部一般入試(前期)合格者対象 保健医療学部一般入試(前期)合格者のうち、試験の成績が極めて優秀な者		免除・減免	免除額60万円(授業料の一部および実務実習費相当額)	入学年度の1年間		看護学科 各学年2名 臨床検査学科 各学年2名 臨床工学科 各学年2名 理学療法学科 各学年2名	地域の制限なし	大学事務部保健医療学部事務室	併用可	併用可
	大学事務部保健医療学部事務室	埼玉医科大学保健医療学部 黒島園基金奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	対象学年 全学年 学部 保健医療学部 学科 臨床検査学科・臨床工学科・理学療法学科の3学科 資格・条件 1. 経済的な理由により修学の困難な学生 2. 奨学金の貸与する必要性が高いと認められる学生 3. 他の奨学金制度と併用可能 返還 卒業時に返還計画書を提出し、毎月振り込みにより返還する(無利子) 卒業により奨学金の貸与が終了したら、卒業の翌月から貸与された月数3倍以内の期間に毎月均等額を返還する。		貸与奨学金	月額30,000円	修学期間である4年間(途中採用可)		若干名(2～3名程度)	地域の制限なし	大学事務部保健医療学部事務室	併用可	併用可
大学事務部保健医療学部事務室	埼玉医科大学保健医療学部看護学科等奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援 職業支援	対象学年 全学年 学部 保健医療学部 学科 看護学科 資格・条件 1. 希望者全員に貸与可能 2. 他の奨学金制度と併用可能 返還免除 埼玉医科大学の関連病院の正職員として就職し、貸与期間と同期間勤務すると貸与金額の全額が返還免除される。		貸与奨学金	月額30,000円	修学期間である4年間(年度途中でなくても当該年度の4月に限り貸与する)		希望者全員に貸与可能	地域の制限なし	大学事務部保健医療学部事務室	併用可	併用可	
埼玉工業大学	入試課	特別奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	総合型選抜奨学生採用型、一般選抜A日程および大学入学共通テスト利用入試A試験において、奨学生制度を導入。試験成績で成績優秀者が対象となります。奨学生に採用された場合、下記の優遇措置が適用されます。 A級学生 初年度授業料等(※)の1/2を免除 B級学生 初年度授業料等(※)の1/3を免除 C級学生 入学金・授業料減免 ※ 授業料等は、授業料・実務実習費・施設設備費の合計です。		給付奨学金 免除・減免	工学部 A級学生:132万円 免除/B級学生:66万円 免除/C級学生:22万円 返還 人間社会学部 A級学生:102万円 免除/B級学生:51万円 免除/C級学生:22万円 返還	入題学生および奨学生は、2年次以降も、本学卒業後に修業の学業成績をもとに優遇を行う。最大4年間継続。 A級学生採用者がA級学生の論文から外れ、B級学生の論文に該当した場合は、B級学生が適用。 C級学生は入学時の1回限り適用。	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可		
	入試課	智恵寺学園特別奨学金	その他	申請は不要。採用決定後に通知。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	2年～4年 10年次までの成績が優秀かつ健全な学生と認められ、学料長の推薦を受けた者が対象。 +学費の一部又は全部を免除される者は対象外。		給付奨学金	10万円	年1回	年間75名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有り併用可	
	入試課	浄土宗 宗立・宗門校奨学金	その他	申請は不要。採用決定後に通知。	特待生・成績優秀者	4年生 +成績が優秀であり学料長の推薦を受けた者が対象		給付奨学金	10万円	1回限り	1回限り	5名(各学科1名)	地域の制限なし	併用可	条件有り併用可	
	入試課	埼玉工業大学後援奨学金	在学中	年度初め	学費支援 用途を定めない経済的支援	2～4年 +企業・人物ともに優秀で、経済的理由により学業の継続困難と認められる者。 +学内外団体の給付奨学金を受給していない者に限る。		給付奨学金	10万円	年1回	1回	約20名	地域の制限なし	併用不可	条件有り併用可	
	入試課	ジュニアマスター・アグリマスター―全農資格取得奨学金制度	入学後		用途を定めない経済的支援	ジュニアマスター・アグリマスター―農業高校出身者向け奨学金に基づく称号を有する学生が対象。		給付奨学金	【ジュニアマスター・アグリマスター】 優秀称号・ゴールド:25万円 優秀称号・シルバー:10万円 【農業高校出身者向け】 25万円以上1級合格者:25万円 3種目以上1級合格者:10万円	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
城西大学	入試課	城西大学・城西短期大学奨学生制度	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援	城西大学・城西短期大学奨学生制度 創立者永田三善男初代理事長の育英理想を顕彰するために設けられたもので、成績・人物等優秀な者を対象し、授業料の一部として年額300,000円の奨学金が貸与されます。 成績・人物などが特に優秀な学生を各学科から1～2名選抜します。		給付奨学金	年額300,000円		学科ごとに各学年1～2名程度	各学科1～2名	地域の制限なし	学生サービス課	併用可	併用可
	入試課	グローバルチャレンジ奨学金制度	学校出願時		研修支援制度 学費支援 奨学金支援制度 資格取得支援制度	エントリー資格 ①学校推薦型選抜・総合型選抜A日程またはB日程での入学予定者のうち、以下の基準のいずれかを満たしている者。 -実用英語検定2級以上の資格取得者 -GRE CBT 750点以上の資格取得者 -TOEFL for Students iBTスコア200点以上の資格取得者 -TOEFL Listening&Readingテスト400点以上の資格取得者 (IP可) エントリーおよび提出書類 選考の出願書類とともに下記書類を併封し提出してください。 ①学校推薦型選抜・総合型選抜 ②学校推薦型選抜・総合型選抜志願書 ③グローバルチャレンジ奨学金エントリー希望欄およびエントリー資格にチェック。 ④エントリー資格証明書の写し等		給付奨学金	200,000円+短期語学研修参加希望者に10万円を助成	①1年間 ②1回限り	①年間50名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	JEAP留学生のための奨学金制度	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度	城西大学海外教育プログラム(JEAP)で長期留学する在学生を経済的に支援する制度で、若干名を選抜する。		給付奨学金	給付額 年間20万円	1回限り	年間5名程度	地域の制限なし	国際教育センター	併用可	併用可	
	入試課	城西大学・城西短期大学特待生制度(授業料全額免除・S特待生)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーに合致する知識と意欲を有し、学業特待生入試S日程での成績上位合格者		免除・減免	授業料の全額免除	最長4年間(医学科6年間)	①年間18名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	城西大学・城西短期大学特待生制度(授業料半額免除・A特待生)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーに合致する知識と意欲を有し、一般入試A日程での成績上位合格者		免除・減免	授業料の半額免除	最長4年(医学科6年)	①24名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試課	スポーツ奨励生	学校出願時		入学金・授業料減免	スポーツ推薦受給者より業績等により選抜		免除・減免	入学金と授業料の全額または半額免除	最長4年		最大25名程度	地域の制限なし	スポーツ振興センター	併用可	併用可
	入試課	株式会社セブン薬品特別奨学金制度	在学中	1年生～5年生	学費支援	対象 ①フレッシュマン・スカラシップ(20万円) 薬学科:1年生5名、薬科学科:1年生1名、医療栄養学科:1年生1名 ②ピアホルター・スカラシップ(10万円) 薬学科:5年生2名、薬科学科:1名、医療栄養学科:2、3、4年生より各1名		給付奨学金	対象 ①フレッシュマン・スカラシップ(20万円) 薬学科:1年生5名、薬科学科:1年生1名、医療栄養学科:1年生1名 ②ピアホルター・スカラシップ(10万円) 薬学科:5年生2名、薬科学科:1名、医療栄養学科:2、3、4年生より各1名	①1回限り		対象 ①フレッシュマン・スカラシップ(20万円) 薬学科:1年生5名、薬科学科:1年生1名、医療栄養学科:1年生1名、 医療栄養学科:1年生1名 ②ピアホルター・スカラシップ(10万円) 薬学科:5年生2名、薬科学科:1名、医療栄養学科:2、3、4年生より各1名	地域の制限なし	薬学部事務室	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
駿河台大学	駿河台大学入試広報課	入学免除制度①	入学後		入学金・授業料減免		以下のいずれかに該当する学生。 (1)専攻学生年の兄弟姉妹 (2)本学卒業生の子又は兄弟姉妹 入学後、期間までに申請が必要。	免除・減免	入学金200,000円	初年度	対象者全員	地域の制限なし	財務課	併用可	併用可		
	駿河台大学入試広報課	特別奨学生制度②(指定校推薦1期・スポーツ推薦1期)	学校出願時		入学金・授業料減免		以下のいずれかに該当する学生。 (1)沖繩県内居住の指定校推薦学生 (2)スポーツ推薦1期合格者のうち沖繩県内居住者で沖繩県内に所在する高校の在校生	免除・減免	入学金200,000円	初年度	対象者全員	沖繩県	入試広報課	併用可	併用可		
	駿河台大学入試広報課	特別奨学生制度③(一般A-1方式・共通テスト利用型1期)	入学手続時		入学金・授業料減免		一般A-1方式・共通テスト利用型1期の法医学部及び心理学部合格者のうち、試験成績優秀者。	免除・減免	初年度授業料735,000円	初年度	対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
	駿河台大学入試広報課	特別奨学生制度④(一般A-1A-2・B-C方式)	入学手続時		入学金・授業料減免		一般A-1A-2・B-C方式で、沖繩県内居住者または沖繩県内に所在する高校(全日制)の出身者。	免除・減免	入学金200,000円	初年度	対象者全員	沖繩県	入試広報課	併用可	併用可		
	駿河台大学入試広報課	駿河台大学入試奨学金	在学中	全年対象、毎年6月頃		用途を定めない経済的支援		①修学意欲が高く、経済的理由により修学が困難な学生 ②学内で当該年度に20万円以上の奨学金や授業料減免を受けていない学生	給付奨学金	200,000円	当該学年	50名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りで併用可	
	駿河台大学入試広報課	資格取得奨励金	随時			資格取得支援制度	本学の学部(在学中の学生)又は(2)学部卒業後5年以内の卒業生で「公認会計士試験」「司法試験」「司法書士試験」に合格した者	その他	奨励金 最高200,000円	当該年度		対象者全員	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	キャリアアップ奨励金	随時			資格取得支援制度	本学キャリアアップのうち該当の講座を受講し、合格した学生	その他	奨励金 最高200,000円	当該年度		対象者全員	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	駿河台大学留学期間奨学金	その他	留学期間決定後		留学期間支援制度	本学から本学の留学期間制度を利用し、海外の提携校に交換・派遣留学期間として留学期間する学生	給付奨学金	200,000円(但し、留学期間によって異なる)	1回限り		対象者全員	地域の制限なし	グローバル教育課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	父母会奨励金	在学中	全年対象、毎年10月頃		課外活動支援制度	文化系課外活動において顕著な成果を収めた個人または学生団体	その他	奨励金 100,000円	当該年度		10名(団体)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	学業成績優秀奨励金	その他	公募無		特待生・成績優秀者 学費支援	2年生以上で前年度までの学業成績および人物共に優秀な学生	給付奨学金	各学部各学年学業成績優秀者上位7名 1位200,000円 2位200,000円 3位400,000円 4位100,000円 5～7位50,000円	当該年度		各学部各学年上位者	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	学部長賞奨励金	その他	公募無		特待生・成績優秀者	部活動・ボランティア活動・地域活動等において前年度に顕著な活動をした学生(学生団体)または2年生以上で学業成績が優秀な学生	その他	奨励金 30,000円	当該年度		各学部6人、合計30人	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	スポーツ年間特待生	その他	公募無		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	スポーツ競技成績・人物ともに優れた学生	給付奨学金	授業料相当額735,000円	当該年度		若干名	地域の制限なし	体育課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	特別奨励賞	その他	公募無		課外活動支援制度	本学の名誉を高める顕著な活躍をした学生・学生団体	その他	奨励金 100,000円	当該年度		若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	海外語学演習奨励金	その他	手続書類提出後		留学期間支援制度	本学の海外語学演習を履修し、海外研修制度に参加する学生	給付奨学金	50,000円	1回限り		対象者全員	地域の制限なし	グローバル教育課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	駿河台大学同窓会給付奨学金	入学後			入学金・授業料減免	卒業生の子であり、新転入する場合に、前年度の授業料半額を同窓会から給付	給付奨学金	授業料の半額367,500円	初年度		対象者全員	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	駿河台大学入試広報課	駿河台大学学費支援基金奨学金	その他	1～2月		学費支援	経済的な理由により、当該年度の学費の納付が困難な学生	貸与奨学金	当該年度の学費と上限とし、自可能な学費の種類	当該年度		若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
駿河台大学入試広報課	特別奨学生制度⑤(指定校推薦1期)	学校出願時			入学金・授業料減免	指定校推薦1期合格者のうち出願時点で日本学生支援機構の第一種奨学生予約採用採録者に決定している者	免除・減免	入学金200,000円	初年度		対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
駿河台大学入試広報課	入学免除制度②(メディア情報プレゼン型1期)	入学手続時			入学金・授業料減免	メディア情報プレゼン型入試1期合格者のうち試験成績優秀者 入学手続時に免除	免除・減免	入学金200,000円	初年度		対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
駿河台大学入試広報課	入学免除制度③(スポーツ推薦1期)	入学手続時			入学金・授業料減免	スポーツ推薦入試合格者が競技成績が特に優秀であると評価された場合 入学手続時に免除	免除・減免	入学金200,000円	初年度		対象者全員	地域の制限なし	体育課	併用可	併用可		
駿河台大学入試広報課	スポーツ特待生	その他	公募無		特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度	スポーツ成績優秀者に対する学費給付	給付奨学金	成績により異なる	原則4年間		若干名	地域の制限なし	体育課	併用可	併用可		
聖学院大学	学務部学生支援課 奨学金担当	ルーア・ロング・コーズ記念奨学金	在学中	秋学期	入学金・授業料減免		全学生対象。主として実費を支えている人の前年一年間の所得金額が700万円未満。募集期間は9月頃。	免除・減免	年間授業料の30%	1回限り		年間約30名予定	地域の制限なし	学務部学生支援課 奨学金担当	併用不可	併用可	
	学務部学生支援課 奨学金担当	チャールズ・エアリス・ガルト奨学金	在学中	春学期	特待生・成績優秀者		4年生、学業成績優秀者対象。奨学金において優秀な成績を収めた学生。6月中旬に発表する。	給付奨学金	年間25万円	1回限り		各学部の4年次における上位1名の成績優秀者	地域の制限なし	学務部学生支援課 奨学金担当	併用可	併用可	
	学務部学生支援課 奨学金担当	聖学院大学災害被災者修学支援奨学金	その他	災害時	被災者資金支援		地震・風水害等の自然災害等により被災した学生対象。	免除・減免	年間授業料の20%～学費全額(新生入生入学金含む)	被災時以降		人数制限なし	地域の制限なし	学務部学生支援課 奨学金担当	併用可	併用可	
	学務部学生支援課 奨学金担当	女子聖学院短期大学記念国際交流奨学金	在学中	短期海外研修が実施されるとき	留学期間支援制度		短期海外研修に参加する学生対象	給付奨学金	海外研修費用の10%以上上限	研修参加期間		人数制限なし	地域の制限なし	学務部学生支援課 奨学金担当	併用可	併用可	
学務部学生支援課 奨学金担当	聖学院大学特待生奨学金	在学中	春学期	特待生・成績優秀者		各学部の各学年における成績優秀者を候補者として、選考をおこなう	免除・減免	年間授業料の50%	1年間		(3)対象学年・学部・資格・条件に準じて変動	地域の制限なし	学務部学生支援課 奨学金担当	併用可	併用可		
東京国際大学	学務部	特待生入試奨学金(学費全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		所定の入学試験の結果、学業成績および人物ともに極めて優秀で他の学生の模範となる学部生。	給付奨学金	最大4年間に亘り、入学を含む学費の全額を給付。	最大4年間		①年間10名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学務部	特待生入試奨学金(初年度授業料全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により極めて優秀な学部入学生。	給付奨学金	初年度授業料の全額を給付。	初年度		地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可		
	学務部	修学支援奨学金	在学中	2年生以上	学費支援 入学金・授業料減免		一定の成績・家計基準を満たす者。①専攻科:1.学業成績において、①在籍年次の前年次までの修得単位数が過半数修得単位数以上であること。2.年次生:33単位、3年次生:66単位、4年次生:99単位 ②減算GPAが2.70以上であること。 2.数計について、同一計の主たる数計支援者及び従たる数計支援者(原則:父母)の課税標準額の合計金額が400万円以下であること。 3.①～⑥に該当する者は応募できない。①学部初年度年次過去2年度に懲戒処分を受けた者②本学が定める修業年限を超えた者③申請年において留年、休学中の者④外国人留学生(在留資格が「留学」の者)⑤本学独自の奨学金を受給している者(学費減免含む)	給付奨学金 免除・減免	申請日属するセメスター及び次セメスターの2セメスターにつき、所属学部の授業料の60%を減額する。ただし、①の在籍年次修得単位数が過半数修得単位数に達しない学生は授業料減免の対象とならない。 ②は、留学期間中の本学授業料の全額を免除。ダブルディグリープログラム参加者に対しては、留学期間の奨学金給付は留学期間の修業成果により決定する。	①最大3年間、但し、1年ごとに申込み 2年生の場合、申込み時期により、1セメスターのみ 人数制限なし	地域の制限なし	学生課奨学金係	併用可	条件有り併用可			
	学務部	スポーツ等奨学金	その他	入学手続時・在学中(学年2・3・4年)	学費支援 入学金・授業料減免 奨励金		スポーツ分野において優れた成果を収めた者または成果が期待できる者。	給付奨学金	スポーツ等奨学金:①A奨学金:入学金、当該年度に納入すべき学費全額及び学生課外活動費A奨学金:入学金及び当該年度に納入すべき学費全額、但し、2年次以上については入学金を除く。②B奨学金:入学金及び当該年度に納入すべき学費の5割を減額。但し、2年次以上については入学金を除く。③C奨学金:入学金及び当該年度に納入すべき学費の3割を減額。但し、2年次以上については入学金を除く。④D奨学金:入学金及び当該年度に納入すべき学費の2割を減額。但し、2年次以上については入学金を除く。⑤E奨学金:入学金を含むその他、個別に決定した額。				地域の制限なし	スポーツ推進課	併用可	併用可	
	学務部	国際交流奨学金(長期留学期間)	その他	長期留学期間申請時	学費支援 入学金・授業料減免 留学期間支援制度		在籍する者で所定の条件を満たし、長期留学期間中に優秀な成績を挙げた者。	免除・減免				①半年、1年、2年	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	学務部	ASP(American Studies Program)奨学金①	その他	ASP留学期間申請時	学費支援 入学金・授業料減免 留学期間支援制度		■ASP奨学金①:1年間参加 参加年度の本学学費全額免除1,190,000～1,320,000円 半年参加 参加年度の本学学費半免除575,000～660,000円	免除・減免			①1年間または半年		地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	学務部	ASP(American Studies Program)奨学金②	その他	ASP留学期間申請時	学費支援 留学期間支援制度		■ASP奨学金②:ASP留学期間参加時の成績と上位者。出発前のTOEICスコア550以上かつGPAスコア3.5以上で所属学部部長が推薦する学生。	給付奨学金				①1年間 ②1回限り		地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
	学務部	国際交流奨学金(セメスター留学期間)	その他	セメスター留学期間申請時	学費支援 入学金・授業料減免 留学期間支援制度		本学が企画するプログラムでセメスター留学期間に参加する学生。	免除・減免				①1回限り		地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
	学務部	イングリッシュ・トラック・プログラム奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		入学試験における総合評価及び入学後の総合評価が優れている学生を対象とする。	免除・減免					地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	学務部	特待生入試奨学金(授業料全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		所定の入学試験の結果、学業成績及び人物ともに極めて優秀で他の学生の模範となる学部生。	給付奨学金	最大4年間に亘り、授業料の全額を給付。	最大4年間			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学務部	特待生入試奨学金(ASP学費全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 留学期間支援制度		所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。ASP(American Studies Program)選考前にTOEIC L&R J550以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費(授業料、施設利用費等)の全額を給付。	ASP参加時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学務部	特待生入試奨学金(ASP学費半額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 留学期間支援制度		所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。ASP(American Studies Program)選考前にTOEIC L&R J550以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費(授業料、施設利用費等)の半額を給付。	ASP参加時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学務部	特待生入試奨学金(ASP学費、食費全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 奨励金 留学期間支援制度 その他	ASP奨励金、食費の全額免除	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。ASP(American Studies Program)選考前にTOEIC L&R J550以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費、食費の全額を給付。	ASP参加時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
	学務部	在学学生・卒業生兄弟姉妹奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免		本学学部・大学院の在学学生又は卒業生の兄弟姉妹が入学生の場合、出願時に申請のうえ、必要書類を提出。入学制度は問わない。尚、兄弟姉妹の2人以上が同時に本学学部・大学院に入学する場合は、2人以上以降の入学者につき適用。	給付奨学金	入学金の半額を減免。	入学時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可	
学務部	スポーツ等奨学金(吹奏楽団推薦入試奨学金)	学校出願時		入学金・授業料減免		吹奏楽団推薦入試により本学に入学する場合。	給付奨学金	入学金を免除。	入学時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可		
学務部	特待生入試奨学金(入学金全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により極めて優秀な学部入学生。	給付奨学金	入学金の全額を給付。	入学時			地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
獨協大学	学生課	獨協大学一様奨学金	その他	毎年度4月	学費支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位・GPAにおいて一定の基準を超えていること。 家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額80,000円または月額30,000円(選考により決定)	1年間	人数枠はない。2023年度は月額60,000円が22名、月額30,000円が6名。	地域の制限なし	学生課奨学金係	併用不可	条件有りで併用可	
	学生課	獨協大学父母の会奨学金	その他	毎年4月	学費支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位・GPAにおいて一定の基準を超えていること。 家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額30,000円	1年間	75名	地域の制限なし	学生課奨学金係	併用不可	条件有りで併用可	
	学生課	中村尚尚・恵徳奨学金	その他	毎年度4月	学費支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位・GPAにおいて一定の基準を超えていること。 家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額25,000円	1年間	4名	地域の制限なし	学生課奨学金係	併用不可	条件有りで併用可	
	学生課	獨協大学社会人学生奨学金	その他	毎年度4月	学費支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：社会人入試で入学した者。成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位・GPAにおいて一定の基準を超えていること。 家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額60,000円または月額30,000円(選考により決定)	1年間	人数枠はない。2023年度は申請者なし。	地域の制限なし	学生課奨学金係	併用不可	条件有りで併用可	
	学生課	獨協大学国際奨学金(交換留学生奨学金)	その他	毎年度4月および9月	留学費用支援制度		対象学年：2年生以上 学部：問わない 資格条件：本学から海外協定校へ派遣する交換留学生であり、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	月額20,000円	交換留学としての期間(半年または1年間)	人数制限なし		地域の制限なし	国際交流センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生課	獨協大学国際奨学金(認定留学生奨学金)	その他	毎年度4月および9月	留学費用支援制度		対象学年：2年生以上 学部：問わない 資格条件：本学から海外の大学へ派遣する転籍認定留学生で、留学先の授業料基準、本学が定めた経済および成績基準を満たし、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者(注)(注)「(注)」は獨協大学国際奨学金(交換留学生)または日本学生支援機構の派遣留学生用奨学金を受給した者を除く	給付奨学金	月額20,000円	認定留学としての期間(半年または1年間)	人数制限なし		地域の制限なし	国際交流センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	学生課	獨協大学国際奨学金(外国人留学生奨学金)	在学中	毎年度4月	用途を定めない経済的支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：日本語を有せず、かつ特別な選考を経て本学に入学した者で本学が定める成績基準及び経済基準を満たし、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	月額20,000円	1年間	30名程度		地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	条件有りで併用可
	学生課	獨協大学国際奨学金(外国人留学生奨学金)	入学手続時		用途を定めない経済的支援		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：海外の協定校から受け入れる外国人留学生のうち、所属する協定校から推薦を受け、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者(各協定校より名のみ)	給付奨学金	月額20,000円	半年または1年間	25名程度		地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	条件有りで併用可
	学生課	獨協大学国際奨学金(外国人学生支援奨学金)	在学中	毎年度4月	入学金・授業料減免		対象学年：問わない 学部：問わない 資格条件：日本語を有せず、特別な選考を経て本学に入学した者で、本学が定める経済および成績基準を満たし、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者	免除・減免	年間授業料の20%相当額を限度として減免	1年間	10名程度		地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	条件有りで併用可
日本工業大学	入試課	日本工業大学学業奨励奨学金	在学中	日本工業大学学業奨励奨学金 1年以上在籍する学生	学費支援		本学に1年以上在籍する学生 各学科の推薦によるものであり、学生本人での申請は不可	給付奨学金	ES奨学金 年間50万円 RS奨学金 年間20万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用可	併用可	
	入試課	日本工業大学育英賞金	入学後		学費支援		1セメスター以上在籍する学生で、以下に該当する方が対象です。 学業成績が優れ、かつ、学業以外の専攻取得、卒業が必須なこと。 人物が良好であること。出願する学期の学費を、納入期限までに納入することができないこと。原則、出願時に独立行政法人日本学生支援機構、その他の奨学金を受けていないこと。留学生は、出願できません。	貸与奨学金	出願した年度の学費(委託費を除く)の半額を上限とし、その上限額から出願した学期の自由資金を差し引いた残額。	在学期間中に3回まで、ただし、複数年度にわたって受けることはできない。	若干名	地域の制限なし	学生支援部 学生支援課	併用不可	併用不可	
	入試課	特別奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		1年次～4年次 高等学校もしくは中等教育学校を卒業済み予定の方で、学業成績が優秀(全体の学習成績の状況が4.3以上)で、秀でた特長を有し、本学の教育方針を理解している向上心ある者	免除・減免	1年目の学費から100万円もしくは50万円免除 その中でも特に優秀な方(特待生)には、1年目の学費から100万円免除、2年目から4年目の学費から50万円免除(加えて自宅外通学時には1年目から4年目まで毎月4万円の生活補助費、自宅通学者には1年目から4年目まで毎月2万円の定期代補助費)の特典が与えられます	複数年(1～4年間)	100万円免除：7名 50万円免除：14名	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	条件有りで併用可	
	入試課	入試奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		1年次 特別選抜(単願)(併願)(教員志望)、総合型選抜(課題実践型)(体験講義型)(基礎学力型)(活動アビリティ型)、学校推薦型選抜(公募制)、一般選抜A-B、一般選抜英語外部試験利用、共通テスト利用A+B-Cの合格者のうち、入試成績が優秀で、学業の進捗が期待できる方	免除・減免	年間20万円	1年間	50名以内	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用不可	
	入試課	奨学振興基金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		1年次 特別選抜(単願)(併願)、一般選抜、一般選抜英語外部試験利用、共通テスト利用、学校推薦型選抜(公募制)、総合型選抜の合格者のうち、本学に入学する方で学業成績に優れ、将来の学業発展が期待できると判断された方	免除・減免	年間20～50万円(学費の減免として給付)	1年間	若干名	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用不可	
	入試課	秋山奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		1年次 本学選抜理工学部機械工学科へ入学する方	免除・減免	年間30万円から(学費の減免として給付)	1年間	若干名	地域の制限なし	入試部入試課	併用可	併用不可	
	入試課	指定校奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		学校推薦型選抜(指定校)での入学者のうち、入学後のクラス分けテストで優秀な成績を取られた方。	給付奨学金 免除・減免	年間100万円または50万円(1年目の授業料から減免)	1年間	100万円免除：7名 50万円免除：14名	地域の制限なし	入試部 入試課	併用可	併用不可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
文京学院大学	学生支援グループ	B'eライフ(島田依史子記念奨学金)	入学後		学費支援		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 経済的理由により、学業の継続が困難な人。学業成績、人物、健康がともに良好であること。 ※ 格別立役者日本人学生支援機構奨学金、また東京都教育委員会からの賞金を受けていないこと。	貸与奨学金	授業料の年額または前期額	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	併用可		
	学生支援グループ	B'eエデュケーション(教育支援奨学金)	入学後		用途を定めない経済的支援		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 「経済的理由」により、学業の継続が困難であり、大学が定める給付基準条件を満たしていること。 ※ 格別立役者の推薦書が必要となる。TOEFLよりであること。 ※ 人物面において優秀である者。	給付奨学金	年額340,000円	1年間	24名	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	併用可		
	学生支援グループ	スカラシップABC(学業支援特別給付・生活支援特別給付・通学支援特別給付)	学校出願時		特待生・成績優秀者		対象学年: 1~2年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 文京学院大学に入学を希望し、「全学統一入試」を受験した者。 「スカラシップ選抜」を克服した者 ※ 入学試験合格者の中から特に成績優秀な者。	給付奨学金	学業支援特別給付(スカラ)A 入学年度に定められた所属学部・学科の授業料の半額(2年間) 生活支援特別給付(スカラ)B 年額120,000円(2年間) 通学支援特別給付(スカラ)C 年額80,000円(2年間)	2年間		地域の制限なし	学生支援グループ/入試グループ/総務グループ	併用可	併用可		
	学生支援グループ	B'eアブロード(交換留学奨学金)	入学後		特待生・成績優秀者		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 「アメリカ合衆国 TOEFL(®)111点以上」 +カナダ TOEFL(®)111点以上 +マレーシア TOEFL(®)111点以上 +中国 中国語検定4級以上、または TOEIC 500点以上 +韓国 ハングル能力検定4級以上 +トルコ TOEIC 500点以上(本学でトルコ語を習得したものを優先) +台湾 中国語検定3級以上、または TOEIC 500点以上 +ブルガリア TOEIC 500点以上	給付奨学金	アメリカ合衆国 1セメ 300,000円 2セメ 500,000円 +カナダ 1セメ 300,000円 2セメ 500,000円 +マレーシア 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 +中国 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 +韓国 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 +トルコ 1セメ 300,000円 +台湾 1セメ 200,000円 +ブルガリア 50,000円	プログラムにより異なる。		2~38名	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eアブロード(長期留学奨学金)	入学後		入学・授業料減免 その他	参加者(選考合格者)全員	対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 「アメリカ合衆国 TOEIC240点以上(選考審査)」 +オーストラリア TOEIC420点以上(選考審査) +ニュージーランド TOEIC240点以上(選考審査)	免除・減免	前期、または後期授業料の免除	プログラムにより異なる。		16名	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eアブロード(短期留学奨学金)	入学後		特待生・成績優秀者		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: TOEIC450点または英検2級以上(経営学部、人間学部、保健医療技術学部) TOEIC300点または英検2級以上かつGPA2.0以上(外国語学部) +中国 資格/条件: 中国語検定4級以上 +カナダ、マレーシア、アメリカ合衆国フィールドワーク 資格/条件: TOEIC400点または英検2級以上	給付奨学金	奨励金 5万円~10万円(留学費用実績に基づく)		3月	70名	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eインターンシップ(海外インターンシップ奨励金)	入学後		研修支援制度		対象学年: 2~3年生 外国語学部1~3年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 本学単位認定対象の海外インターンシップに参加し、奨学金の給付の申請を行った者のうち、次の給付条件を満たした学生。 +外国語学部 TOEIC450点以上、英検2級以上、中国語検定4級以上、 ハングル検定3級以上のいずれかの資格を取得した者 +外国語学部以外 TOEIC400点以上、英検2級以上、中国語検定4級以上のいずれかの資格を取得した者	給付奨学金	欧米以外の地域 70,000円 欧米地域 100,000円	3月~10月		制限なし	地域: 制限なし	キャリア・社会教育センター	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eサーティフィケーション(検定試験等奨学金)	入学後		資格取得支援制度		対象学年: 1~4年生 対象学部: 経営学部 資格/条件: 経営学部の学生で所定の検定試験に合格し、申請手続きを行った者。 ※ 資格取得・検定等の資格取得支援奨励金目的とし、申請件数は2人/人・年を限度とする	給付奨学金	奨励金相当金額	3月		人数制限なし	地域の制限なし	本館キャンパス教務グループ(経営学部担当)	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eコラボレーション(外国語学部・経営学部フィールドワーク奨励金)	入学後		資格取得支援制度		対象学年: 外国語学部=全学年、経営学部=2年生以上 対象学部: 外国語学部・経営学部 資格/条件: 海外フィールドワーク科目等を履修し、給付条件を満たした学生	給付奨学金	渡航費の約2割(最高額 40,000円)	年度末		制限なし	地域の制限なし	本館キャンパス教務グループ(外国語学部・経営学部)	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eアブロード(認定留学奨学金)	入学後		学費支援		対象学年: 全学年 対象学部: 全学部・学科 資格/条件: 本学の「認定留学奨学金」の申請条件を満たす者。	給付奨学金	5~20万円(渡航費、期間により異なる。)	プログラムにより異なる。		10名	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eインターナショナル(私費外国人留学生奨学金)	入学後		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		対象学年: 全学年 対象学部: 全学部・学科 資格/条件: 在留資格「留学」で、外国人留学生入試で入学の正規課程の学部・学科に在籍し、経済的な理由により授業料の納入が困難であり、学業優秀と認められる者。	免除・減免	授業料の2割を減免		4月		委員会の規定に準ずる。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	併用可
	学生支援グループ	GSiスカラシップ	入学後		留学費用支援制度		対象学年: 1年生 対象学部: 全学部のGSi生 資格/条件: GSiプログラム履修生の1年生で、「語学・異文化理解学習プログラム」参加者のみ。	給付奨学金	留学費用の5%最大8万円	4月下旬~5月下旬		参加者全員	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	オンライン留学特別支援金	入学後		留学費用支援制度		対象学年: 全学年 対象学部: 全学部・全学科 資格/条件: 本学指定のオンライン留学プログラム参加費が(10万円以上)に参加した全学生が対象。 ※ 給付条件を満たしていること。	給付奨学金	30,000円	3月		制限なし	地域の制限なし	GSiオフィス	併用可	併用可	
	学生支援グループ	B'eグローバルック(学長顕彰)	入学後		特待生・成績優秀者		対象学年: 全学年 対象学部: 全学部・全学科 資格/条件: TOEIC800点以上、または900点以上を取得した者。	給付奨学金	TOEIC800点以上: 3万円(商品券) TOEIC900点以上: 20万円	※2回(7月・12月)		制限なし	地域の制限なし	BLEC(語学教育研究センター)	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
明治大学	学務部企画広報課	明治大学清安キャンパス学務奨励奨学金制度(入学時に所定の資格を有する者)	入学手續時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ＜入年度の授業料を全額免除＞ ・外国語学部日本語学科 実用英語技能検定準1級以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1260点以上、IELTS 5.5以上、日本語検定2級以上のいずれかを取得した者 ・外国語学部英語学科 実用英語技能検定準1級以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1260点以上、IELTS 5.5以上のいずれかを取得した者 ・外国語学部中国語学科 中国語検定試験級2級以上又は漢語水平考試(HSK)3級以上を取得した者 ・経済学部経済学科 実用英語技能検定準1級以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1260点以上、IELTS 5.5以上、日商簿記検定試験1級、経済学検定試験(ERE)クロ・マクロ含む。JAG上のいずれかを取得した者 ・不動産学部不動産学科 実用英語技能検定準1級以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1260点以上、IELTS 5.5以上、日商簿記検定試験1級、宅地建物取引士資格(旧宅地建物取引士資格)のいずれかを取得した者 ＜入年度の授業料を半額免除＞ ・外国語学部日本語学科 実用英語技能検定2級、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1050点以上、IELTS 4.0以上、日本語検定1級または準2級のいずれかを取得した者 ・ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科、保健医療学部口腔保健学科 実用英語技能検定2級、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1050点以上、IELTS 4.0以上のいずれかを取得した者 ・外国語学部中国語学科 中国語検定試験級2級又は漢語水平考試(HSK)4級を取得した者 ・経済学部経済学科 実用英語技能検定2級、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1050点以上、IELTS 4.0以上、日商簿記検定試験2級、経済学検定試験(ERE)クロ・マクロ含む。)またはほかのいずれかを取得した者 ・不動産学部不動産学科 実用英語技能検定2級、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC1050点以上、IELTS 4.0以上、日商簿記検定試験2級のいずれかを取得した者 ■条件:・本学が指定する奨学および選取等の資格を入学前の3月までに取得した者	免除・減免	■全額免除:年額688,000円 ■半額免除:年額349,000円		地域の制限なし	清安キャンパス 入試事務室	併用可				
	学務部企画広報課	明治大学清安キャンパス学務奨励奨学金制度(入学試験の成績優秀者)	入学手續時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ＜入年度の授業料を全額免除＞ 一般入学試験と入学試験併用入学試験の各方式の成績が、当該学科の合格者の上位10%に該当し、かつ、取得点率が90%以上の者 ＜入年度の授業料を半額免除＞ 一般入学試験と入学試験併用入学試験の各方式の成績が、当該学科の合格者の上位15%に該当し、かつ、取得点率が70%以上の者	免除・減免	■全額免除:年額688,000円 ■半額免除:年額349,000円		地域の制限なし	清安キャンパス 入試事務室	併用可				
	学務部企画広報課	明治大学清安キャンパス学務奨励奨学金制度(入学時の学業成績優秀者)	在学中	2年次～4年次	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ＜当該年度の授業料を全額免除＞ 前年度の学業成績が一定の条件を満たし、かつ、当該学科・年度の上位2%以内の者 ＜当該年度の授業料を半額免除＞ 前年度の学業成績が一定の条件を満たし、かつ、当該学科・年度の上位4%以内の者	免除・減免	■全額免除:年額688,000円 ■半額免除:年額349,000円		地域の制限なし	学生支援課					
	学務部企画広報課	明治大学スポーツ奨励奨学金	入学手續時		学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部(ホスピタリティ・ツーリズムメジャー) ■条件: ・スポーツで顕著な成績が認められ、かつ得意な学業成績が認められ、スポーツ文化活動特別入学試験で入学した者 対象種目は原則として、サッカー・ヨット・空手道・女子硬式野球・陸上競技・女子バレーボールの種目 ＜4年間の授業料を全額免除＞ 次のア～エのすべてに該当する者とする。 ア 全国高等学校総合体育大会または国民体育大会等の団体競技もしくは個人種に出場した者(全国大会に出場した者と同等の能力があると体育委員会が認めた者を含む。)にて、体育委員長の推薦により、中心選手として活躍が期待されること体育委員長から推薦された者 イ 入学入学後体育会所属クラブに在籍し、中心選手として活躍が期待されること体育委員長から推薦された者 ウ 入学入学後、学業の面において成績特別に顕著な成績が認められる者 エ 大学卒業後の進路について明確な目標をもってると認められる者 ＜4年間の授業料を全額免除＞ 次のア～エのすべてに該当する者とする。 ア 全国大会または国民体育大会等の団体競技もしくは個人種に出場した者(全国大会に出場した者と同等の能力があると体育委員長が認めた者を含む。)にて、体育委員長の推薦により、中心選手として活躍が期待されること体育委員長から推薦された者 イ 入学入学後体育会所属クラブに在籍し、中心選手として活躍が期待されること体育委員長から推薦された者 ウ 入学入学後、学業の面において成績特別に顕著な成績が認められる者 エ 大学卒業後の進路について明確な目標をもってると認められる者	免除・減免	授業料の全額または半額免除 ※原則、4年間継続給付		地域の制限なし						
	学務部企画広報課	沖縄特別奨学金	入学手續時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部 ■条件: ・対象分野が観光分野で我が国の将来を担う意欲のある沖縄県の高校生で、沖縄特別奨学生入学試験で入学した者。	免除・減免	授業料の半額免除(年額349,000円) ※原則、4年間継続給付			沖縄県					
	学務部企画広報課	社会人特別奨学金	入学手續時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:経済学部、経済学部、不動産学部、保健医療学部 ■条件: ・高い学業意欲と問題意識を持つ社会人等で、生涯学習型社会人特別入学試験で入学した者。	免除・減免	授業料の半額免除(年額349,000円) ※原則、4年間継続給付			地域の制限なし					
	学務部企画広報課	明治大学資格取得奨励奨学金	在学中		資格取得支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ・日本語検定2級 ・実用英語技能検定1級・準1級・2級 ・中国語検定試験4級 ・経済学検定試験(ERE、ERE)クロ・マクロ)B ・日商簿記検定2級 ・宅地建物取引士 ・TOEIC L&R800+700+600+500+ ・総合旅行業務取扱資格 ・秘書技能検定2級 ■条件: ・在学中に本学オープンキャンパスにおいて開講する講座のうち、本学が指定する資格試験対策講座を受講し、所定の資格を取得した者。	給付奨学金	指定講座受講料相当額		地域の制限なし						
	学務部企画広報課	商学部教育後援奨励奨学金	在学中	2年次2科目～	学費支援	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次、6年次 ■対象学部:商学部 ■条件: ・経済的理由により修学困難な者。	貸与奨学金	修学2科目から申請可能 普通費50,000円/月(月額継続給付、貸与2科目から可能) (1)30,000円/月(月額) (2)20,000円/月(月額) 上記のいずれかを選択			地域の制限なし					
	学務部企画広報課	明治大学学費借入支援奨学金	在学中		学費支援	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次、6年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部、商学部 ■条件: ・学費負担者が、本学学生の学生勤労資金を結付するために金融機関等から借入を行った場合に、授業料、施設維持費および教育充実費相当額の支払利息額をその額を上限として奨学金を給付する。	給付奨学金	授業料、施設維持費および教育充実費相当額の支払利息額を限度			地域の制限なし					
	学務部企画広報課	海外留學奨学金	在学中		留學費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ・10月～1年の海外留學の許可を得た本学の海外留學者の費用を、大学が一部負担する制度。	免除・減免	本学授業料、施設維持費および教育充実費の2分の1相当額の減額、さらに成績優秀者には、留学期に10万円～40万円の海外留學特別奨学金を支給する。			1年間10名程度 2人制制限なし	地域の制限なし				
	学務部企画広報課	海外研修奨学金	学校出願時		留學費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ・各学部学科が企画した海外研修に参加する学生に対し、奨学金を支給する。	給付奨学金	選考の上、3万円～25万円			地域の制限なし					
	学務部企画広報課	教育後援会留學修業奨励奨学金	在学中		留學費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ・海外留學特別奨学金を受給できない者、および海外研修参加者には、清安キャンパス教育後援会から奨励金が支給される。	給付奨学金	■海外留學:10万円、または20万円 ■海外研修:3万円～5万円			地域の制限なし					
	学務部企画広報課	明治大学留學海外研修派遣制度	在学中		留學費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部、商学部 ■条件: ・各学部学科が企画した海外研修に参加する学生に対し、奨学金を支給する。	給付奨学金	海外研修に係る費用を大学が全額負担			地域の制限なし					
目白大学	学生部学生課	教育後援「視光会」奨学金(応急支援奨学金)	在学中	1年生の秋学期、および2年生～4年生の春学期・秋学期	学費支援	入学後に生じた学費支弁の不足の事故や病気、災害等で学業に一定の支障が生じた学生、 学業の継続が困難となった学生。	給付奨学金	該当学期の学納金の一部(上限50万円以内/学納金総額以内)に限り	同一、関連する事由での採用は、在学中に限り。	年間20名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	学生部学生課	教育後援「視光会」奨学金(修学支援奨学金)	在学中	2年生～4年生の春・秋学期	学費支援	学業成績が成績優秀であるが、経済的に困難を抱えている2～4年生	給付奨学金	該当学期の学納金の一部(上限30万円以内/学納金総額以内)に限り	在学中に限り、ただし、一度採用されている場合、2回目の申請は最終年度の秋学期とする。	年間50名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	学生部学生課	目白大学特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	目白大学の一般選抜A日程合格者のうち、成績上位者(上限100名)が対象。 総合型選抜および学校推薦型選抜の入学予定者も、一般選抜B日程の受験で対象となる。	免除・減免	年間授業料の半額相当額が免除	最長4年間	上限100名(全学部・全学科の採用決定合計)	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可		
十文字学園女子大学	学生支援課/入試課	十文字奨学金	在学中	2～4年次対象 年1回	学費支援	本学(大学院を含む)に在学する学生のうち、学業及び人物が優れており、かつ、経済的理由により修学が困難である者	給付奨学金	1人につき20万円。 ただし、給付が決定した学期に納付すべき授業料及び教育充実費が50万円を下回る場合は、当該学期に納付すべき授業料及び教育充実費に相当する額とする。	年1回、後期	年度により変動	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用不可	条件有りて併用可		
	学生支援課/入試課	入学特学費特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付特待チャレンジ試験及び一般選抜5日程の受験者全員を対象とし、優次・得点率が以下の場合、特待生合格とします。 ①入学特学費特待生:学業成績上位3%以内かつ2科目(2科目目)又は、1科目(1科目目)の総得点率が90%以上の者 ②入学特学費一般特待生:学業成績上位3%以内かつ2科目(2科目目)又は、1科目(1科目目)の総得点率が70%以上80%未満の者 ③入学特学費科目特待生:全受験者の1科目(1科目目)の得点率が70%以上80%未満の者 ④入学特学費科目特待生:入学金免除	免除・減免	入学後			地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
	学生支援課/入試課	在学特学費特待生	在学中	2年次生～4年次生までに在籍する学生 既定の単位数およびGPAを上回り、かつ前年度のGPA順位が同学部・同学年に所属する学生のうち、上位3%以内の者。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		免除・減免	10万円 ※ただし、入学特学費特待生が各学年の審査において基準を満たす場合には、20万円を免除する。			後期授業料から減免	地域の制限なし	各学科・各学年 若干名	学生支援部学生支援課	併用可	併用可
	学生支援課/入試課	修学支援に係る授業料免除制度	在学中	年1回(前期・後期各1回):1年生前期は原則として対象としない	入学金・授業料減免	修学に困難のある本学学生(大学院含む)で、経済的理由により学納金納入及び学生生活が困難な者(1年生前期は原則対象としない。)	免除・減免	当該学期に納付すべき学納金のうち、教育充実費を除く金額又は半額	半期につき1回	年度により変動	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	条件有りて併用可	条件有りて併用可		
埼玉学園大学	学生課	埼玉学園大学奨学金「さいがきサポート奨学金」	学校出願時		特待生・成績優秀者	指定校推薦型選抜1期及び公募推薦型選抜1期を受験し、所定の基準を満たしたものに、対し、別に実施する採用試験の成績等により選考し、採用された者を埼玉学園大学奨学生とする。	給付奨学金	年額50万円	4年間継続可能		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
尚美学園大学	入試課	特待生入試制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【対象学部・学科】全学部全学科 【選考方法】特待生選考において、本学の基準を満たす成績を修めた者を対象とし、試験結果の上位から選定。	免除・減免	授業料全額免除、授業料半額免除、授業料30%免除の3種	1年(選考時に毎年発表)最大4年間	10名以内	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可		
	入試課	尚美学園同窓生子弟等入学免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	尚美学園同窓生の子・兄弟姉妹が、学校法人尚美学園の設置する学校(大学及び専門学校)に入学する場合、入学金を全額免除 【対象学部・学科】全学部・全学科 【免除対象校】尚美学園大学及び尚美ミュージックカレッジ専門学校 ※出願時に申し込みが必要 ※詳細は本学HPにて確認	免除・減免	入学金全額免除	1年		地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可		
	入試課	在学特待生制度	在学中	2年・3年・4年	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【対象学部・学科】全学部全学科 【対象学年】2～4年次の在学学生 【選考基準】前年度の学業成績(GPA)上位者	免除・減免	授業料全額免除(1年間)	1年間	18名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
ものつくり大学	工藤 洋	ものつくり大学生活支援奨学金1	その他	学費支援 用途を定めない経済的支援	本校が推薦する入学試験の出願資格を満たす方（入試に際しては合格している受験生も対象としております。）	給付奨学金	10万円		20名程度	地域の制限なし	学生課学生支援係	併用可	併用可	
	工藤 洋	ものつくり大学奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	次の(1)に該当し、(2)または(3)のいずれかに該当する者 (1)本学の学部または大学院に在籍する2年次の学生 (2)学業優秀・人物健康ともに優れ、経済的に困窮している者 (3)ものつくりで、熱意があり、かつ経済的に困窮している者	給付奨学金	学新生：30万円 大学院生：45万円 給付は年に1回の一括給付です。		23名	地域の制限なし	学生課学生支援・留學生係	併用可	併用可	
	工藤 洋	ものつくり大学さくら奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	次の各号に該当する者 (1)本学に在籍する3年次・4年次の学生 (2)学業優秀・人物健康ともに優れ経済的に困窮している者 (3)ものつくりで、熱意があり、かつ経済的に困窮している者	給付奨学金	12万円 給付は年に1回の一括給付です。		4名	地域の制限なし	学生課学生支援・留學生係	併用可	併用可	
	工藤 洋	ものつくり大学同意奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	修業年以内での修業が望まれ、一層の能力向上を目指す者	給付奨学金	奨学金の給付額は、年額12万円です。		8名以内	地域の制限なし	学生課学生支援・留學生係	併用可	併用可	
	工藤 洋	ものつくり大学特待生	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生入試の合格者に対し、授業料全額又は半額免除する。 第1学年から第3学年までの各学年終了時における成績により、第2学年以降も特待生(授業料減免)を継続可能。	免除・減免	88万円又は44万円の減免	1年間	30名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	工藤 洋	総合資格学院奨学金	在学中	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	建設学科3年生、4年生	給付奨学金	奨学金の給付額は、年額10万円です。	1年間	8名	地域の制限なし	学生課学生支援・留學生係	併用可	併用可	
	工藤 洋	女子スカラシップ入試	学校出願時	受験生・技能工芸学部・女子スカラシップ入試合格者・入学・継続	入学金・授業料減免	免除・減免	入学料10万円または20万円				地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	工藤 洋	自然災害の被災により災害救助法の適用を受けた学生への救済措置	在学中	1～4年生	入学金・授業料減免	免除・減免	学生納付金10万円～160万円				地域の制限なし	学生課学生支援係	併用可	併用可
	工藤 洋	外国人留學生入試	学校出願時	入学金・授業料減免	受験生・技能工芸学部・在留資格「留学」を有する私費外国人留學生として外国人留學生入試に合格・入学手続き	免除・減免	入学料10万円・授業料4割	1年間、ただし、修得単位数により継続可能。			地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	工藤 洋	ものつくり大学生活支援奨学金	在学中	学費支援 用途を定めない経済的支援	次の(1)(2)の両方に該当する者 (1)家計が経済的に困窮している者 (2)学業意思が明らかで、通常の卒業が望まれる者	給付奨学金	10万円、給付は年に1回の一括給付です。		20名程度	地域の制限なし	学生課学生支援係	併用可	併用可	
清和大学	入試広報課	家計基準による学費減免制度	入学後	学費支援 入学金・授業料減免	◆家計基準による学費減免制度 ・授業料・施設維持費が最大で4年間半額 ・認定年度の収入所得が課税対象の課税収入金額で841万円以下に 該当する学生(給与所得以外の場合には「確定申告書」等の所得金額が555万円以下に該当する学生)を対象に、学内で選考を行います。 ・毎年の申請が必要で、 ・入学後の継続申請に当たり、別途継続要件があります。	免除・減免	授業料：715,000円～357,500円(1/2減免)			地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	入試広報課	入試成績による特待生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者	一般選抜・大学入学共通テスト利用入試の受験者及び総合選抜・学校推薦型選抜で入学手続きを完了した特待生選抜試験の受験者が選抜対象。	免除・減免	授業料：715,000万円(全額)・半額：1/4額の免除	最長4年間		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	入試広報課	入学前の資格・検定等取得による特待生制度	入学後	入学金・授業料減免	◆入学前の資格等取得による特待生制度 以下の資格等も入学前に取得していることによる、特待生制度 ・英語検定(1級、2級) ・TOEIC ・漢字検定(2級) ・日本商工会議所簿記検定(1級、2級) ・全国商業高等学校協会簿記検定(1級) ・その他	免除・減免	◆取得資格により、授業料減免、 6年間の全額もしくは半額免除。	2年間		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	入試広報課	入学後の学習奨励金給付制度	その他	差費後	対象学年・卒業年次 対象学部：こども学部学校教育学科 資格：在学中に公立小学校教員採用試験に合格したもとの全員	給付奨学金	30万円給付		対象者全員	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	入試広報課	沖縄及び離島在住者対象の授業料減免制度	入学後	入学金・授業料減免	沖縄および離島在住であり、かつ、高等学校の評定平均値が優秀である者、 併校生に限る。	免除・減免	授業料1/2免除	2年間		沖縄県	入試広報課	併用可	併用不可	
日本薬科大学	入試課	特待生・特別奨学生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入学試験の成績により決定する。 薬学部 薬学科(6年制) 特待生3：年間授業料130万円免除 特待生A：年間授業料70万円免除 特待生B：年間授業料40万円免除 特待生C：年間授業料20万円免除 1年ごとに審査をし、特に問題がなければ、継続する。(最長6年間) 薬学部 薬学ビジネス実務科(4年制) 特待生学生S：1年次年間授業料80万円免除 2年次以降年間授業料70万円免除 特待生学生A：1年次年間授業料60万円免除 2年次以降年間授業料40万円免除 特待生学生B：1年次年間授業料40万円免除 2年次以降年間授業料10万円免除 1年ごとに審査をし、特に問題がなければ、継続する。(最長4年間)	免除・減免				地域の制限なし	入試課・学生課	併用可	併用可	
武蔵野学院大学	学生募集	指定校推薦型選抜特待生	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	3学年1学期または前期までの学習成績の状況が3.0以上で合格した者	免除・減免	入学金の全額(20万円)が免除	入学時	人数制限なし	地域の制限なし	教務部入試係	併用可	併用可	
	学生募集	特待生選抜	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生選抜の合格者全員が対象。 選抜方法は ①国語総合(古文・漢文を除く)(100点) ②英語(100点) ③面接(20点)	免除・減免	初年度の授業料、施設設備費、施設維持費の全額(計910,000円)が免除。	初年度	人数制限なし	地域の制限なし	教務部入試係	併用可	併用可	
	学生募集	一般選抜特待生	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜では、当日の試験結果に基づき、特待生としての合格を出す場合があります。	免除・減免	一般選抜特待生：入学金、授業料、施設設備費、施設維持費の全額(計1,110,000円)が免除となる。 一般選抜特待生B：入学金、授業料、施設設備費、施設維持費の半額(計555,000円)が免除となる。	初年度	若干名	地域の制限なし	教務部入試係	併用可	併用可	
	学生募集	大学入学共通テスト利用選抜特待生	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学入学共通テスト利用選抜において、特に優れた成績で合格した場合、特待生としての合格を出す場合があります。	免除・減免	大学入学共通テスト利用選抜特待生A：入学金、授業料、施設設備費、施設維持費の全額(計1,110,000円)が免除となる。 大学入学共通テスト利用選抜特待生B：入学金、授業料、施設設備費、施設維持費の半額(計555,000円)が免除となる。	初年度	若干名	地域の制限なし	教務部入試係	併用可	併用可	
	学生募集	早期合格者対象特待生チャレンジ試験	その他	入学手続完了後の指定された期間	以下の入学試験に合格した上で、所定の期間までに入学手続きを完了し、かつ本試験の受験を希望する者。 ○早期総合選抜(第2回まで) ○併願総合選抜 ○前期進学選抜 ○指定校推薦型選抜 ○併願推薦型選抜 ○公募推薦型選抜	免除・減免	初年度の授業料、施設設備費、施設維持費の全額(計910,000円)が免除。なお、納入済みの金額は返還する。	初年度	当該制度で受験した者の中で、中核試験の成績上位3名。試験科目は「国語総合(古文・漢文を除く)」「英語」。	地域の制限なし	教務部入試係	併用可	併用可	
	学生募集	特別奨学金	入学後	入学金・授業料減免 資格取得支援制度	入学までに以下のいずれかの資格を取得した者。 ○実用英語技能検定 2級以上 ○TOEIC 540点以上 ○TOEFL iBT 56点以上	その他	入学金として支払った金額を奨学金として付与する。したがって入学金免除となつた場合は対象外。	入学時	人数制限なし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生募集	2年次以降奨学金制度	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者 学費支援	前年度の成績優秀者	給付奨学金	1年間分の授業料の全額または一部を支給。	該当年度	学年成績上位5%程度を目安とする	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
	学生募集	TOEIC受験料給付	随時	資格取得支援制度	希望者	給付奨学金	TOEIC受験料	随時	人数制限なし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生募集	TOEIC Bridge受験料給付	随時	資格取得支援制度	1年生全員および2年生以上の希望者。	給付奨学金	TOEIC Bridge 受験料。	随時	人数制限なし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生募集	海外留学費用支援制度	在学中	2年生以上。	学費支援 研修支援制度	3年生以上の上、本学が指定する海外留学(半年)への参加希望者。学内選考を実施し、成績や大学生活の積極度などを総合的に勘案して決定する。	給付奨学金	本学が指定する海外留学(半年)中の本学授業料や留学費用等の全額または一部、具体的な支給内容は選考結果によって異なる。	該当する海外留学の期間。	若干名。	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
学生募集	海外研修費用支援制度	在学中	2年生以上。	研修支援制度	2年生以上の上、本学が指定する海外研修(3週間)への参加希望者。学内選考を実施し、成績や大学生活の積極度などを総合的に勘案して決定する。	給付奨学金	本学が指定する海外研修(3週間)の費用の全額または一部。	該当する海外研修の期間。	若干名。	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
人間総合科学大学	広報	スカラシップ選抜給付奨学金	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	スカラシップ選抜の受験生のうちの試験結果上位者10～20%を給費生もしくは準給費生として採用する。	給付奨学金	給費生は年間授業料の半額相当を支給(最大4年間、毎年継続審査あり、後期授業料と相殺)、準給費生は入学金の半額相当を入学後4月以降に給付する。	給費生は最大4年間、準給費生は1回限り。		スカラシップ選抜の受験生のうちの試験結果上位者10～20%を給費生もしくは準給費生として採用する。	アドミッションセンター	併用可	条件有りでの併用可	
	広報	成績優秀者奨学金	在学中	毎年	入学金・授業料減免	給付奨学金	100,000円	次年度後期の授業料と相殺	各学科、各学年3名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	条件有りでの併用可	
	広報	ファミリー給付奨学金	学校出願時	本学の在学生・卒業生の子弟・子女あるいは兄弟姉妹が総合選抜もしくは学校推薦型選抜で本学に入学した場合に支給。	入学金・授業料減免	給付奨学金	100,000円	入学時1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
広報	食のアイデアコンテスト受賞者対象給付奨学金	学校出願時	本学が実施する食のアイデアコンテストで最優秀賞、優秀賞、特別賞と受賞したものが、総合選抜または学校推薦型選抜で本学に入学した場合。	入学金・授業料減免	給付奨学金	100,000円	入学時1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
東都大学	入試広報課	特待生制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	免除・減免	①特待生は授業料の50%が免除されます。	①1年間		①特待生の数は、年次ごとに入学定員の3%以内となっています。	学生課	併用可	併用可	
	入試広報課	成績優秀者育英制度	入学手続時	特待生・成績優秀者	一般選抜1期において、合格者の中から成績優秀者(各学科上位)を対象に育英金を給付します。	給付奨学金	①授業料の半額相当額	①入学初年度に限る		①年間20名程度	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	入試広報課	東都大学開港病院奨学金	随時	学費支援	①1～4年生の看護学科学生対象 ②卒業・免許取得後、看護師などとして指定の病院に就職の意思を持つ者 ③卒業・免許取得後、臨床工学技士などとして指定の病院に就職の意思を持つ者	貸与奨学金	①月額5万円 ②月額2万円	1年間ごとに更新し、 大学卒業・国家資格取得後、東都大学の関連病院に就職し、案件期間勤務したときに返済が免除されます。	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	入試広報課	青路学園奨学金	随時	学費支援	①1～4年生の看護学科学生対象 ②卒業・免許取得後、看護師などとして指定の病院に就職の意思を持つ者	貸与奨学金	①月額3万円または2万円	1年ごとに更新し、 大学卒業・国家資格取得後、静岡県内の東都大学の関連病院に就職し、案件期間勤務したときに返済が免除されます。	人数制限なし	静岡県	学生課	併用可	併用可	
	入試広報課	認定奨学金	随時	学費支援	卒業・免許取得後、本学の教員研究活動へ協力・支援を行っている各医療機関の制度にない、指定する医療機関に就く意思を持つ者 対象学年・学部、資格・条件は医療機関ごとに定める	貸与奨学金	医療機関ごとに定める	貸与期間・返済免除となる条件は医療機関ごとに定める	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
江戸川大学	広範課	江戸川大学特待生制度(一般選抜特待生)	入学手続時	特待生・成績優秀者		一般選抜1期1日目を受験し、特に優れた成績を修めた合格者。判定は英語・国語2科目の合計点。合格者のうち、志望学部学科問わず成績上位者1名。	免除・減免	A特待生(5名)初年度学費のうち5万円免除 B特待生(8名)初年度学費のうち55万円免除。		A特待生5名及びB特待生8名の計13名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	江戸川大学特待生制度(大学入共通テスト利用選抜特待生)	入学手続時	特待生・成績優秀者		大学入共通テスト利用選抜1期を受験し、特に優れた成績を修めた合格者。判定は英語、国語(国語総合・古文・漢文を除く)、高得点1科目の合計点。	免除・減免	A特待生(5名)初年度学費のうち110万円免除 B特待生(8名)初年度学費のうち55万円免除。		A特待生5名及びB特待生8名の計13名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	総合型選抜・学校推薦型選抜特待生	入学手続時	特待生・成績優秀者		【備考対象校】総合型選抜(1期・2期)または学校推薦型選抜において合格し、2023年1月8日まで入学手続を完了した者。【備考方法】2023年2月6日に実施する特待生選考試験を受験し、その結果とその時点で行っている総合型選抜あるいは学校推薦型選抜試験結果を合わせて総合判定。	免除・減免	A特待生(2名)初年度学費のうち510万円免除 B特待生(2名)初年度学費のうち55万円免除 C特待生(20名)初年度学費のうち20万円免除。		A特待生2名、B特待生2名及びC特待生20名の計24名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	留学奨励資格特待生制度	入学手続時	入学金・授業料減免 留学費用支援制度		「入学試験(編入試験)に合格し入学手続きを完了した者で、CEFR対照表におけるB1以上の検定試験結果を提出した者は、初年度の学費35万円及び1年次に参加できる夏季海外研修の申込み手数料の費用全額が免除されます。 ※本制度による学費免除および海外研修費用免除を受けたい者は、本学から入学許可書とともに送付される申請書類等を提出し、入学後4月に実施する「海外留学特別奨学金プログラム(グローバル・スタディプログラム)」説明会に必ず出席する必要があります。なお、申請書類の未提出や説明会への不参加は、学費及び海外研修費用の免除対象とはなりません。 ※申請方法は、入学手続き後、2023年2月28日(金)～3月21日(金)の期間に申請書類と検定試験結果の証明書類の本学(出願先)まで提出し、申込みの受付は2023年3月1日(水)正午に閉鎖していただきます。なお、学費減免に関しては、江戸川大学が他に定める学費減免及び奨学金との併用はできません。また、本制度適用者は、資格取得支援制度の英語資格(英検、TOEIC等)に関する減免の対象は対象外となります。 ※海外留学奨励プログラム(グローバル・スタディプログラム)に関する詳細は、本学公式ウェブサイト(https://www.edogawa-u.ac.jp/study_abroad/)をご覧ください。	給付奨学金 免除・減免	初年度の学費35万円及び1年次に参加できる夏季海外研修の申込み手数料の費用全額が免除		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	江戸川大学奨学金	入学後	学費支援		経済的理由により修学の継続が困難な学生を援助するための奨学金制度(貸与型)。 ※他の奨学金、減免を受けていないこと ※専業主婦の世帯に在籍すること ※家族状況が基準内であること	貸与奨学金	毎年9月、貸与額60万円(無利息)、卒業後4年間の半年間	在学中2回まで	10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	江戸川大学経済支援制度	入学後	学費支援		学業優秀かつ修学意欲の高い学生が経済的理由により修学困難となった場合に、当該年度の未納学費全額を免除する制度。	給付奨学金	毎年9月。	原則、在学中1回。	10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	江戸川大学卒業生の子の入学者に係る入学金及び学費等減免制度	入学手続時	入学金・授業料減免		江戸川大学の建学の精神を継承することを目的として、卒業生の子の入学者に對し経済的支援を行う制度。 ■対象者 ①卒業生(次の1つに該当する入学申請者) ②江戸川大学卒業した者の戸籍上の子で、本学の正規課程1年次に入学する者 ③江戸川短期大学又は江戸川女子短期大学卒業した者の戸籍上の子で、本学の正規課程1年次に入学する者 ■申請方法 ①入学手続時に入学課までご連絡ください	免除・減免	入学手続時に入学金32万円を全額免除。年間学費110万円のうち55万円を入学後4年間免除。		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	広範課	江戸川大学在学及び卒業生の兄弟姉妹の入学者に係る入学金及び学費等減免制度	入学手続時	入学金・授業料減免		江戸川大学が私学としての社会性を重んじ、在学生及び卒業生の兄弟姉妹の入学者に對し経済的支援を行う制度。 ■対象者 ①江戸川大学に在学している者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者 ②江戸川大学を卒業した者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者 ■申請方法 ①入学手続時に入学課までご連絡	免除・減免	入学手続時に入学金32万円を全額免除。年間学費110万円のうち55万円を入学後4年間免除。		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
広範課	激甚災害に指定された災害により被災された方へ(被災者支援奨学金制度)	入学手続時	入学金・授業料減免		2024年度に激甚災害に指定された災害により被災された方を対象に、被害の程度に応じて入学検定料・入学金を減免する制度。 【入学検定料減免制度】 次の1及び2の項目を満たしている受験者 1 次のいずれかに該当する2023年度入学試験受験者 ①2024年度に激甚災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者の家庭の履歴証明書を取得できる方 ②2024年度に激甚災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者が死亡または行方不明となった方 2 次のいずれかの家族基準を満たしている受験者 ①主たる家族支持者が給与所得者の場合は、直近の源泉徴収票の支払金額が900万円以下 ②主たる家族支持者が給与所得者以外の場合は、直近の所得課税所得金額が400万円以下 出願手続きを行う際に入学課まで連絡の上、次の書類を提出書類とともに提出してください。 ①履歴証明書類(主たる家族支持者の死亡または行方不明を証明する書類) ②直近の源泉徴収票(主たる家族支持者等) ③出願後の申請は、対象になりません。 【入学検定料減免】 次の1及び2の項目を満たしている受験者 1 次のいずれかに該当する2023年度入学試験合格者 ①2024年度に激甚災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者の家庭の履歴証明書を(全額・大規模半額・半額・一部減額・一部減額)を取得できる方 ②2024年度に激甚災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者が死亡または行方不明となった方 2 次のいずれかの家族基準を満たしている合格者 ①主たる家族支持者が給与所得者の場合は、直近の源泉徴収票支払金額が900万円以下 ②主たる家族支持者が給与所得者以外の場合は、直近の確定申告書等の所得金額が400万円以下 入学手続時に個別にご案内いたします。	免除・減免	【入学検定料減免制度】入学検定料全額 【入学金減免制度】75%を減免とし、前倒しで支払します。 ①11のうちの全額②大規模半額③半額④半額または12に該当する方は入学金の全額32万円 ①12のうちの一部減額①程度に該当する方は入学金の半額16万円		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	条件有り併用可		
川村学園女子大学	学生生活支援室	成績優秀者特待生制度	その他	合格発表後、条件を満たした受験生が対象になる。(申請の必要なし)	特待生・成績優秀者 その他	授業料・免除・減免 又は授業料の半額(375,000円/年)4年間免除 ※検定資格特待生制度との併用はできません。	免除・減免	上記(4)に記載	4年間 ※継続に関して成績の条件あり	全額免除:30名、半額免除:55名	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
	学生生活支援室	検定資格特待生制度	その他	入学前までの申請 2024年度入試では、2024/3/28(木)まで	特待生・成績優秀者 その他	授業料・免除・減免 又は授業料の半額(375,000円/年)2年間免除。 ※成績優秀者特待生制度との併用はできません。 ※編入入学選抜は除く。	免除・減免	上記(4)に記載	4.2年間 ※継続に関して成績の条件あり	制限なし	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
	学生生活支援室	遠隔地居住者支援制度	在学中	1年次から4年次	学費支援	全学部・全学年 ①自宅から大学までおむね2時間30分以上を要する方。 ②次の場所等、一人暮らしをしている方。 ・独居学生マンション、賃貸において専業主婦内及び隣接市 ・目黒キャンパス、緑ね1時間以内で通学できる範囲。 ③家族支持者の収入又は所得の基準に基づきます。	給付奨学金	180,000円(前後期各90,000円)	上記(6)に記載	制限なし	地域の制限なし	学生生活支援室	併用可	併用可	
	学生生活支援室	学校推薦型選抜 入学金免除制度	在学中	合格発表後、条件を満たした受験生が対象になる。(申請の必要なし)	その他	入学金 学校推薦型選抜(指定校)の合格者で、本学が定める条件の方。	免除・減免	入学金250,000円	入学時	制限なし	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
	学生生活支援室	川村学園奨学金	その他	毎年度一定の時期	学費支援	次の3つの条件すべてを満たす方 ①就学上、経済的援助が必要と認められ、かつ、学生本人が学業継続の意志があると認められる方。 ②成績、品行、出席状況等を考慮し、学長が推薦する方。 ③奨学金資金の貸与を受けたいことにより、学業継続が可能となる方。	貸与奨学金	毎年度では、在学中の学年度の学費の額を限度とし、累積融資限度額上限4,000,000円までを無利息	選考決定後	制限なし	地域の制限なし	学生生活支援室	併用可	併用可	
神田外語大学	学生支援部	留学奨励資格特待生制度	入学後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		※外国人留学生特別入学試験での入学者を対象としています。 ①留学支援 1～4年次の留学生全員(ただし、国費留学生と留年した学生を除く) ②優秀減免 2～4年次の成績優秀者(各年次最大2名) 前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たすこと ③特別減免 2～4年次の成績優秀者(各年次最大2名) 前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たすこと	給付奨学金	①留学生減免 授業料490,000円 施設設備費220,000円 ②優秀減免 授業料400,000円 施設設備費160,000円 ③特別減免 授業料490,000円 施設設備費30,000円	1年間(1年後に再度申請可能)	上記に記入の通り	地域の制限なし	国際戦略部	併用不可	併用可	
	学生支援部	資格取得奨学金	在学中	TOEFL、TOEICで一定以上の得点を獲得した際に給付	資格取得支援制度		給付奨学金	①TOEFL 聴力 800点達成者:30,000円 800点達成者:70,000円 800点以下900点以上の達成者の場合:100,000円 ②TOEIC 聴力 800点達成者:50,000円	TOEFL、TOEICで一定以上の得点を獲得した際に給付	特になし	地域の制限なし	教務部	併用可	併用可	
	学生支援部	給付型海外留学期間奨学金制度	随時	留学費用支援制度		認定留学(休学による留学は含まない)を利用し、かつ以下の全てに該当する者 ①2年次から4年次までの学生であること ②留学の期間が3年以上1年以内であること (ただし、本学のダブルディグリー制度を利用した場合に限り、その上限は2年とする)	給付奨学金	交換留学(1学期間:150,000円、2学期間:300,000円) 推薦留学・私費留学(1学期間:250,000円、2学期間:500,000円)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	国際戦略部	併用可	併用可	
	学生支援部	グローバル・リベラル・ラーニング 入学試験成績優秀者特別奨学金	入学後	特待生・成績優秀者		一般選抜(一般入試、共通テストプラス入試、および共通テスト利用入試)を受験し合格となった方で、その成績が当該入学試験合格者の上位者であること、また2年次修了時まで10単位数以上を確保していること	給付奨学金	最大200万円(3年次のSUNYへの留学費用相当額を給付)	一括給付	15名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可	
	学生支援部	グローバル・リベラル・ラーニング学部 1・2年次成績優秀者特別奨学金	在学中	特待生・成績優秀者		グローバル・リベラル・ラーニング学部2年修了時に60単位数以上を確保、かつ平均のAPが3.0以上の上位8名 ※入学試験成績優秀者特別奨学金の受験者は対象外です。	給付奨学金	100万円	一括給付	8名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可	
	学生支援部	放送大学受講奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	1年～4年生の法学部学生対象 認定された放送大学の履修科目で単位を修得した者	給付奨学金	該当する科目の授業料相当額	本学で認められる放送大学の単位を修得後に申請に基づき支給する。		人数制限なし	地域の制限なし	教務部	併用可	併用可
	学生支援室	長戸記念奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 留学活動支援制度		建学の精神「敬天愛人」を具現化できる学生であり、次の一に該当するものとする ①成績が優秀な者(自己満足) ②課外活動に力を入れ、学業の発展及び社会に貢献した者 (ボランティアやスポーツ等を通じて明るく豊かで活気に満ちた社会の実現に寄与し、他の助となる者)	給付奨学金	20万円以内	在学中1回を原則	複数名予定	地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可
学生支援室	特待生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者		①入学試験成績の優秀な受験生(大学が指定する特待生選考を行う入試を受けた者) ②体育会からの推薦による優秀な受験生	免除・減免	入学金 全額減免 授業料 全額または半額減免	2年間(学業成績等の審査により継続できる。また、3年次以上学業成績次第で卒業年度まで適用される)		①若干名 ②22名以内	地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	





大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
中央学院大学	学生課	特待生(新入生)	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		入学試験において、特に優れた成績をおさめたものと認定された者は、特待生の候補資格を有する。	免除・減免	新入生第1種特待生 入学金および授業料の年額を納入免除 [推薦免除を除く] 新入生第2種特待生 入学金および授業料の年額を納入免除 新入生第3種特待生 入学金および授業料の年額の2分の1を納入免除 新入生第4種特待生 入学金を納入免除 新入生第5種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除	入学年度のみ	新入生第1種特待生 14名 新入生第2種特待生 1名 新入生第3種特待生 2名 新入生第4種特待生 20名	地域の制限なし	学事部学生課	併用可	併用可
	学生課	特待生(在学中/社会・文化・スポーツなど)	在学中	2年～4年 該当者へは書類を郵送 書類に 締め切りを明記(目安6月～7月)	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		1年以上4年以内の在学者で、社会・文化・スポーツなどに関する優れた成績をおさめた者は、特待生の候補資格を有する。	給付奨学金 免除・減免	在学第1種特待生 授業料の年額および施設設備費を納入免除 在学第2種特待生 授業料の年額を納入免除 在学第3種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除 在学第4種特待生 授業料の年額の3分の1を納入免除 在学第5種特待生 授業料の年額の4分の1を納入免除 在学第6種特待生 授業料の年額の1/2分の1を納入免除	該当年度1年間	在学第1種特待生 25名 在学第2種特待生 15名 在学第3種特待生 48名	地域の制限なし	学事部学生課	併用可	併用可
	学生課	私費外国人留学生特待生・奨学生	在学中	1～4年	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		1～4年	給付奨学金	特待生は入学金および授業料に相当する金額の奨学金を支給する。奨学金はその相当額を納入金から減免することに奨学金にのみを 奨学生については、授業料年額の50%に相当する金額の奨学金を支給する。ただし、奨学金はその相当額を納入金から減免することに奨学金にかえる。	1年間	給付奨学金(50万円・20万円・10万円・10万円・5万円) 22名 奨学生(2023年度)	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用可
	学生課	私費外国人留学生の授業料減免	在学中	1～4年・大学院1～2年	学費支援 入学金・授業料減免		1～4年	給付奨学金 免除・減免	授業料の30%(100円未満は切り捨て)とする。 当該年度の学費納入額に照し、授業料から減免相当額を控除。	1年間	学部・43名 大学院・1名 (2023年度実績)	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用可
	学生課	大規模災害被災学生に対する学生納付金減免	在学中	1～4年	学費支援 入学金・授業料減免 施設費負担減免		1～4年	免除・減免	学生納付金減免の内容、選考基準、申請の受付開始時期、減免適用年度、期間等については、本学ホームページおよび学内掲示板、学生ポータルにて公示する。			地域の制限なし	学事部 学生課	併用可	併用可
	学生課	留年生授業料減免	在学中	留年生	入学金・授業料減免		在学期間4年を超えかつ4年生を2回以上履修し返す者	免除・減免	通年で完結する科目に対して一科目8万円の授業料とする。 前期、後期または春セメスターで完了する科目に対して一科目4万円の授業料とする。 ただし、セメスターで完結しなかった科目は通年で完結する科目とみなす。 履修科目数に限りなく授業料を課し、前年度授業料と並列して払い直し金額を納入することができる。	該当年度		制限なし	学事部 学生課	併用可	併用可
帝京平成大学	総務課学事係	帝京平成大学特別奨学生制度	在学中	2年次以降	入学金・授業料減免		高い学業達成がありながら、入学後生活維持の苦しさ、死亡(近年増加は除く)、長期入院や自宅療養及び災害等で学費が急激に、経済的に進学を継続することが困難となった者。	免除・減免	A: 授業料から30万円免除 B: 授業料から20万円免除 C: 授業料から10万円免除	原則として1年間 ただし、学業達成を満たしていれば年度毎に再提出可能		地域の制限なし	池袋キャンパス教務課学生係	併用可	条件有り併用可
	総務課学事係	帝京平成大学永待生特待生制度	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		学業成績が優れ、他の機関と異なるに相当し認められる者。	免除・減免	第1種: 授業料から45万円免除 第2種: 授業料から35万円免除	原則として1年間 ただし、学業達成を満たしていれば年度毎に再提出可能		地域の制限なし	池袋キャンパス教務課学生係	併用可	条件有り併用可
	総務課学事係	帝京平成大学短期留学生奨学金貸付制度	在学中	帝京大学ダラムキャンパス短期留学参加時	留学費用支援制度		帝京大学ダラムキャンパス短期留学参加者で、本奨学金の貸付を希望する者(前期、秋期とも10名まで)。	貸付奨学金	30万円貸付(ダラムキャンパス費費・食費)に充てる。在学期間4年で卒業した場合は、卒業後の返済を全額免除する。返済開始に達する前(返済開始)を超えている学生は40万円貸付。	春期・秋期 各10名		地域の制限なし	中野キャンパス教務課教務係	併用可	条件有り併用可
	総務課学事係	帝京平成大学ホリデー留学支援金	在学中	ホリデー留学参加時	留学費用支援制度		帝京平成大学のホリデー留学に参加する者。	給付奨学金	75,000円給付(留学終了後に、保証人の口座へ送込み。)			地域の制限なし	中野キャンパス教務課教務係	併用可	併用可
	総務課学事係	帝京平成大学学部特待生制度	その他	受験時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		募集において総合型選抜1期・2期(実名呼び入試)、学校推薦型選抜公募枠(実名呼び入試)、一般選抜1期(実名呼び入試)で出願し、本学が定める基準以上の成績の者。	免除・減免	特待生A: 授業料100%減免 特待生B: 授業料90%減免 特待生C: 授業料30%減免	1年次～6年次までの6年間 ただし、1年次以降は学業成績により翌年度の継続に限り1年ごとに審査を行う。	各10名程度	地域の制限なし	池袋キャンパス入試課入試係	併用可	併用不可
	総務課学事係	帝京平成大学特待生制度	その他	受験時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		下記学部において、総合型選抜1期(実名呼び入試)で2日以上出願、2期(実名呼び入試)で2日以上出願、学校推薦型選抜公募枠(実名呼び入試)で出願、一般選抜1期(実名呼び入試)で2日以上出願し、本学が定める基準以上の成績の者。 学部・学科別区分(人文社会学部、健康マネジメント学部(国際観光学部・スポーツサイエンスコース)、健康医療スポーツ学部(健康スポーツ学部・スポーツマネジメント・スポーツ科学)、国際観光学部(国際観光学部・国際観光学部)) 学部・学科別区分(ヒューマン学部、健康マネジメント学部(健康実用学科、心理学専攻、作業療法学科、作業療法学科)、医療科学部(救急医療コース、臨床工学コース)、健康医療スポーツ学部(先端医療材料、リハビリテーション科、臨床スポーツ科学、救急医療実用コース、看護学科))	免除・減免	特待生A: 授業料全額免除 特待生B: 授業料40万円免除 特待生C: 授業料35万円免除	特待生A: 4年間 ※1: 授業料全額免除 特待生B: 1年次～2期の2年間 特待生C: 2年次以降は学業成績により翌年度の継続に限り1年ごとに審査を行う。 ※2: 2年次以降は本学独自の奨学金制度(池袋平成大学永待生特待生制度)を申請できる。	学部・学科区分① 特待生A: 10名程度 特待生B: 35名程度 特待生C: 35名程度 学部・学科区分② 特待生A: 20名程度 特待生B: 50名程度	地域の制限なし	池袋キャンパス入試課入試係	併用可	併用不可
	総務課学事係	帝京平成大学はら台キャンパス学生奨学金制度	その他	1年生において入学手続時、2・3・4年生においては在学中に申請すること	奨学金		学業成績が優れ、他の機関と異なるに相当し認められる帝京平成大学はら台キャンパス学生奨学金ホルダーはら台の入学者、入寮対象となるのは、健康医療スポーツ学部)に所属する女子学生。	免除・減免	費から216,000円(月額18,000円)を免除する。	原則として一年間 ただし、学業達成を満たしていれば、次年度以降も出願可能。		地域の制限なし	千原キャンパス教務課学生係	併用可	併用可
	総務課学事係	災害救助法が適用された自然災害の被災者への支援制度	その他	制度	入学金・授業料減免 その他		災害救助法が適用された自然災害により被災した本学学生。	免除・減免	制度、状況に応じて。			地域の制限なし	池袋キャンパス教務課学生係	併用可	条件有り併用可
	総務課学事係	帝京平成大学ダラムキャンパス短期留学奨学金特待生制度	在学中	ダラム短期留学参加時(秋期コースのみ)	留学費用支援制度		1～3年次のダラム短期留学参加条件を満たす者で、英語検定ELTS Academic5以上の英語力保持者。	給付奨学金	約220万円		若干名	地域の制限なし	中野キャンパス教務課教務係	併用可	条件有り併用可
	総務課学事係	帝京平成大学私費外国人留学生成績優秀者奨励費制度	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		本学学部の正規課程(通達課程を除く)の2年次以降に在籍する在留資格「留学」を有する私費外国人留学生	免除・減免	A: 授業料から40%減免 B: 授業料から30%減免	当該年度限りとする ただし、次年度以降も申請可能		地域の制限なし	中野キャンパス教務課学生係	併用不可	条件有り併用可
東京基督教大学	奨学金担当	ノブ奨学金	入学後		学費支援		本学正規課程の学部・在籍している留学生で、本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。	給付奨学金	最大年額30万円	1年間	年間7名程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
	奨学金担当	思徳奨学金	入学後		学費支援		本学正規課程の学部の教養教職専攻に在籍し、明確な目標を持って学習意欲に情熱がある者、かつ卒業及び修了後に日本留教に就事する予定であり、本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。	給付奨学金	年額30万円	1年間	年間2名程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
	奨学金担当	永明奨学金	入学後		学費支援		本学正規課程の学部の教養教職専攻に在籍し、明確な目標を持って学習意欲に情熱がある者、かつ卒業及び修了後に日本留教に就事する予定であり、本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者。	給付奨学金	年額30万円	1年間	年間3名程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
	奨学金担当	東京国際基督教奨学金	入学後		学費支援		本学学部の正規課程に在籍し、卒業後に教会と社会に仕える高い志のある者、かつ本学の教育目的を重んじ、学業・人物ともに秀で、経済的援助の必要な者	給付奨学金	年額25万円	1年間	年間2名程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	併用可
東京歯科大学	学生課	特別奨学金	在学中	全年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		特別奨学生となることのできる者は、東京歯科大学歯学部在学中、学業成績・人物が優れてかつ健康であり、他の学生の模範となること、各学年の成績上位1名から各程度とする。	免除・減免	特別奨学金の額は、毎年度、委員会を開催し次年度の給付額を決定している	1年間	各学年5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
東京情報大学	入試・広報課	特待生制度	その他	公募ではなく、大学より毎年選出。	特待生・成績優秀者		新入生の場合 1. 特待生全選抜(実業創造型) (課題研究型)の合格者 2. 一般選抜、共通テスト利用選抜の合格者のうち成績上位者 3. 特待生チャレンジ制度の申込者のうち成績上位者 2年次以降の場合 成績優秀者の中から選抜	免除・減免	授業料半額	1年間	1年生は成績優秀者の中から入学定員10%を 選抜 2年生以上は成績優秀者の中から入学定員3%を選抜	地域の制限なし			
東京成徳大学	入試広報課	東京成徳大学特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		一般選抜A日程入試、または大学入学共通テスト利用1期入試合格者のうち、優秀な成績を収め入学する方	免除・減免	A特待生: 入学金、授業料、施設設備費(ともに4年間)全額免除 ※入学後、毎年適用審査あり。 B特待生: 入学金全額免除、初年度授業料半額免除 C特待生: 入学金全額免除	A特待生: 4年間、ただし入学後、毎年適用審査あり。 B特待生・C特待生: とくに入学時のみ		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	入試広報課	東京成徳大学国際学部特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学国際学部「国際学部特待生入試」に合格し、入学する方	免除・減免	国際学部A特待生: 入学金免除、授業料・施設設備費・4年間全額免除 国際学部B特待生: 入学金免除、授業料・施設設備費・4年間半額免除	国際学部A特待生、国際学部B特待生ともに4年間を期間とする。 ただし入学後、毎年適用審査がある		地域の制限なし	入試広報課	併用不可	併用不可
	入試広報課	東京成徳大学 スポーツ特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学応用心理学部健康・スポーツ心理学専攻の「スポーツ特待生入試」に合格し、入学する方	免除・減免	スポーツA特待生: 入学金免除、授業料・施設設備費 4年間全額免除 スポーツB特待生: 入学金免除、授業料・施設設備費 4年間半額免除	スポーツA特待生、スポーツB特待生ともに4年間を期間とする。 ただし入学後、毎年適用審査がある		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
秀明大学	入試室	秀明大学給付型奨学金制度	その他	申請不要(入学試験合格者は自動判定)	特待生・成績優秀者		①学校教務学部・看護学部 対象: 入学試験合格者 資格: 入試の結果による ②総合教養学部・グローバルマネジメント学部・観光ビジネス学部 対象: 入学試験合格者 資格: 入試の結果による	給付奨学金	全学部 区分 A: 奨学金～F: 奨学金 金額: 400万円、300万円、200万円、120万円、60万円、30万円	①: 期間: 4年間(奨学金は2年間のみ、F: 奨学金は初年度のみ)		人数制限なし	入試室	併用可	併用可
経理大学	大学事務局 学生課 奨学金担当	特別奨学金	在学中	在学中に1回	資格取得支援制度		所定の外国語学試験で在学中に獲得した成績・得点が基準以上	給付奨学金		在学中1回限り		地域の制限なし	大学事務局 学生課 奨学金担当	併用可	併用可
	大学事務局 学生課 奨学金担当	大規模災害に伴う学費免除	随時		入学金・授業料減免		大規模災害に伴い、経済的に進学困難となった学生の学費を一部免除	免除・減免				人数制限なし	大学事務局 学生課 奨学金担当	併用可	併用可
	大学事務局 学生課 奨学金担当	海外留學奨学生	入学後		留学費用支援制度		所定の条件をクリアした者	給付奨学金				地域の制限なし	大学事務局教務・国際交流課	併用不可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を定めている場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
和洋女子大学	学生課	樟方・むら竹会奨学金	在学中	1～4年生	特待生・成績優秀者 用途不定額・経済的支援		成績優秀な学生を対象に家計の状況を考慮し給付する。全学年、全学科対象。	給付奨学金	30万円	一時金	11名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	フレンドシップ奨学金	在学中	1～4年生	学費支援 入学・授業料免除		経済的理由により修学が困難になったボランティア活動に意欲のある学生へ給付する。全学年・全学科対象。	給付奨学金	10万円	一時金(学費充当)	年間100名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	育英奨学金	在学中	2～4年生	学費支援 入学・授業料免除		学費急変により修学が困難になった学生に貸与する。採用は1回のみ。2年生以上、全学部・学科対象。	貸与奨学金	学費の半額分を上限とする希望額。	一時金(学費充当)	年間6名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	卒業生等賞励金奨学金	在学中	学部により異なる	その他	学科により異なる	学科により異なる。	給付奨学金	学費により異なる。	一時金	学科により異なる。	併用可	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学生課	海外留學支援金	在学中	2年生以上	留學費用支援制度		認定留學をする学生へ給付する。	給付奨学金	10万円	一時金	前後期各1名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	学生課	海外学習支援奨学金	在学中	原則2年生以上	留學費用支援制度		国際学部に限らず、海外で学習する原則2年生以上の学生を対象に、成績、語学力により選考する。	給付奨学金	留學期間により10～30万円	一時金		短期 8名 中期 40名 長期 8名	地域の制限なし	国際学部 国際オフィス	併用可	併用可
	学生課	わよつ特待生(わよつ)	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般選抜A日程と大学入学共通テスト利用選抜(単独方式)における成績上位者に、授業料・施設費を最大4年間免除する(2年次以降の継続条件あり)。全学科対象。 一般選抜B日程は、入試の成績において、2教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から各学科ごとに選考。看護学科は、3教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から選考。 大学入学共通テスト利用選抜(単独方式)は、入試の成績において、2教科・科目の平均得点が70点以上の上位者から各学科ごとに選考。	免除・減免	授業料および施設費(金額は学科により異なる)	最大4年間(2年次以降継続条件あり)	入学定員(750名)の5%以内(※チャレンジ特待生を含む)	地域の制限なし	入試・広報センター	併用可	条件有り併用可	
学生課	チャレンジ特待生(チャレト)	その他		特待生・成績優秀者		チャレンジ特待生(チャレト)特待生を希望する者、総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学予定者に対し、チャレンジ特待生(チャレト)選考試験として国語と英語の試験を実施。選考試験の成績において、2教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から各学科ごとに選考。チャレンジ特待生(チャレト)対象者は、授業料の半額を最大4年間免除する(2年次以降の継続条件あり)。全学科対象。	免除・減免	授業料の半額(金額は学科により異なる)	最大4年間(2年次以降継続条件あり)	入学定員(750名)の5%以内(※わよつ特待生を含む)	地域の制限なし	入試・広報センター	併用可	条件有り併用可		
愛国学院大学	学務課	三浦英一奨学金	在学中	1～4年生	入学・授業料免除 用途不定額・経済的支援		1～4年生対象 成績等が優秀な学生や家計急変により学業継続が困難と認められる者	給付奨学金	特に定めていない	前期・後期毎	前期・後期毎に各学年1名程度	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
明道国際大学	アドミッションセンター	新・教育特待プログラム	学校出願時		特待生・成績優秀者		2024年度より、新たな特待制度として以下の4つのプログラムを設けました。 新・教育特待プログラムを希望する場合は、入試特待制度の総合型選抜、または一般選抜の各入試を併せて出願・受験してください(何回受験しても受験料は1回分のみ)。 ①教育深化プロジェクト【教育学部 初等教育専攻】 将来、小学校教員として活躍できる教員を養成することを目的とし、小学校教員免許取得を目指す者が対象。 ②ビジネス英語マスタープログラム【教育学部 国際教育専攻】 英検2級以上の英語資格を所持し、英語力を高レベルに高め、国際ビジネスシーンで活用したいと強く望んで入学する全学年を対象。 ③英語ローバー人材育成プログラム【教育学部 国際教育専攻】 英語力を基礎から着実に伸ばしたいと希望する全学年対象。 ④データサイエンス人材育成プログラム【国際教育専攻】 文系系の区分なく、データサイエンスの実践方法を基本から学ぶ意欲のある学生対象。	免除・減免	4年間(2,870,000円～250,000円学費免除(特待区分による)。詳細は大学Webおよび学生募集要項をご覧ください。	S3特待生 原則4年間 A1特待 入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	入試特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		大学の入試特待制度に出願し、受験すること。 ①学校推薦型選抜【指定推薦型】 高等学校の評定平均値により決定 ②総合型選抜【AO型(自己推薦)】 実績、意欲などにより決定 【国際バカロレア型】 国際バカロレアのスコアにより決定 【特待チャレンジ型】 入試の成績により決定 ③一般選抜【共通テスト利用型】 共通テストの得点により決定 【特待型】 入試の結果により決定	免除・減免	4年間(2,820,000円～150,000円学費免除(特待区分による)。特選抜方法により異なりますので、詳細は学生募集要項をご覧ください。	S3特待生 原則4年間 A1特待 入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	語学資格特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		指定の資格を所持し、本学の入学試験に合格した者。 ①英語資格(英検等) 2級 A1特待、準2級以上 S3特待 ②日本語能力検定(漢検) 2級以上 A1特待 ※英検以外の各試験団体のデータは特待考査に使用できません。 詳細は本学募集要項をご覧ください。	免除・減免	S3特待 4年間で2,870,000円入学・学費免除。 A1特待 入学全額免除。	S3特待 原則4年間 A1特待 入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	卒業生・兄弟優遇制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		父母が本学の卒業生、または入学時に兄弟が本学に在籍している者が出願時に届け出た場合。	免除・減免	入学全額免除	初年度のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	私費外国人留學生奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学の外国人留學生入試の出願資格を有し、下記のいずれかの条件を満たす者。 A 学費を有償で年間仕送りが可能な方法により、入学前日までに110,000円学費免除。 B 在日している卒業生の年収が500万円未満の場合。	免除・減免	4年間で1,110,000円学費免除。	原則4年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	留學生N1特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		本学の外国人留學生入試の出願資格を有し、本学が指定する期日まで日本語能力試験JLPTのN1を取得した者。	免除・減免	4年間で2,070,000円学費免除。	原則4年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度・オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	各種語学検定試験補助制度	入学後		資格取得支援制度 学費支援		・TOEIC®(日本人学生のみ) ・日本語能力試験 JLPT(留學生のみ) ・日本語検定(教育学部1,2年生のみ)	免除・減免	受験料全額		人数制限なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可	
	アドミッションセンター	公務員試験チャレンジ支援	入学後		就職支援		本学と協力関係にある専門学校もしくは資格スクールに通って公務員試験に合格した場合。	給付奨学金	「入学金」+入学を除く諸費用の最大半額(最大20万円まで)を支給。	①1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可	
	SBC東京医療大学	入試課	特待生制度(初年度)	学校出願時		特待生・成績優秀者 その他	授業料免除	一般業スカラーシップ選抜における合格者の中から、学科試験の合計得点が8割以上を満たしている者から成績上位者を選出。最大、理学療法学科10名、看護医療・トレーナー学科6名、看護学科10名。	免除・減免	授業料 年額10万円	初年度1年間	理学療法学科10名、看護医療・トレーナー学科6名、看護学科10名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
		入試課	特待生制度(2年次以降)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 その他	授業料免除	毎年、各学科の成績上位2名ずつを特待生候補とし、人物や学内生活を考慮したうえで特待生とする。2年次以降の特待生の納入免除範囲は1年度間の授業料。	免除・減免	1年度の授業料	1年間	各学科各学年2名を上限とする	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可
三育学院大学	教務・学生課	三育学院奨学金	在学中	5月上旬	特待生・成績優秀者 学費支援		出願資格 次の条件を満たす者 1. 出願時より最低1年以上在学済みの正規生 2. 人物が優秀な者 3. 学業成績が優秀な者 4. 学業成績が優良な者	給付奨学金	年額20万円	年2回、6月および12月の指定日に分割支給する。	若干名	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	条件有り併用可	
	教務・学生課	看護学科特待生奨学金【2023年度入学予定者向け】	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		出願資格 新入学生の中で次の条件を満たす者 1. 出願時より最低1年以上在学済みの正規生 2. 学業成績が優秀な者 3. 人物が優秀な者 4. 学業成績が優良な者	給付奨学金	A種 入学年度1年間の授業料相当額 B種 入学年度1年間の授業料50%相当額	入学時と1年10月の2回に分割で交付。	A種 若干名 B種 6名以内	地域の制限なし	入試広報課	併用可	条件有り併用可	
	教務・学生課	千葉保健医療看護専門学校(名簿奉還奨学金)	在学中	5月上旬の指定された期日	特待生・成績優秀者 学費支援 就職支援		出願資格 1. 看護学科正規生 ただし3年次、4年次は保健師課程の正規生 2. 人物が優秀な者 3. 学業成績が優秀な者 4. 学業成績が優良な者 5. 学業の支弁が困難な者	その他	第一種 年額80万円 第二種 年間20万円	年2回、6月及び12月の指定日に分割支給する。	第一種 4名、第二種 8名 原則として各学年から第一種1名、第二種2名	千葉県	教務・学生課	併用可	条件有り併用可	
	教務・学生課	国際看護実習Ⅰ奨学金	在学中	5月上旬	特待生・成績優秀者 学費支援		出願資格 学科の指定する海外大学の海外研修に参加を希望する者で次の条件を満たす者 1. 前年度の英語科目GPAが2.30以上の者 2. 人物が優秀な者 3. 海外研修に意欲のある者	給付奨学金	50,000円	7月中旬(2019年度実績)	出願資格を有し、出願する者	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	併用可	
	教務・学生課	国際看護実習Ⅱ奨学金	在学中	4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		出願資格 1. 前年度の英語科目GPAが2.30以上の者 2. 人物が優秀な者 3. 国際看護実習に意欲のある者	給付奨学金	50,000円	7月の指定日に支給する。	出願資格を有し、出願する者	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	併用可	
	教務・学生課	勤労学生奨学金	在学中	在学生は新年度開始前日の学校指定日まで、新入生は入学後1週間以内。	学費支援		出願資格 次の条件を満たす者 1. 正課生および1学期に40単位相当以上を履修する科目履修生 2. 学業の支弁が困難な者 3. 健康で学修部門の要求に応え得る者 4. 人物が優秀な者 5. 学業成績が優良な者	免除・減免	A種【最低額 728,000円、最高額 770,000円】 B種【最低額 44,600円、最高額 17,750円】 C種【最低額 36,400円、最高額 18,500円】 を10ヶ月にわたって支給する。詳細に基いて奨学金50,000円までの補助額を年 度別に支給する。	A種～10名、A種に応じてB種、C種の枠を決定する(全学)。学内勤労経験のある在学生を優先して採用する。	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	条件有り併用可		
	青山学院大学	学生生活部学費奨学金課	青山学院大学経済支援給付奨学金	入学後	学費支援		経済的理由により学業の支弁が困難になった学生で成果が見込める者に支援を行う。	給付奨学金	年間授業料相当額(年額)	1回のみ支給	若干名	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用不可	条件有り併用可	
学生生活部学費奨学金課	青山学院大学経済援助給付奨学金	入学後	学費支援		学部4年生で、経済的理由により学業支弁が困難かつ卒業が見込める者に援助を行う。	給付奨学金	年額500,000円	1回のみ	8名	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用不可	条件有り併用可			
学生生活部学費奨学金課	大学学費資金給付奨学金(スポーツ活動支援)	入学後	学費支援 学費支援 課外活動支援制度		高等学校または中等教育学校でスポーツ活動で優れた成績を収めた入学した学生に対して奨学金を給付することにより入学後のスポーツ活動を奨励し、および学業を継続させることを目的とする。	給付奨学金	年額200,000円～500,000円	1回のみ	若干名	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用不可	条件有り併用可			
学生生活部学費奨学金課	青山学院大学三社の種別奨学金	学校出願時	学費支援		全児童児童福祉施設施設入試を受け、本学に入学し、定められた条件を満たした者	給付奨学金 免除・減免	学費全額免除及び月額100,000円	原則4年間継続支給。継続審査あり。	若干名	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用不可	条件有り併用可			
学生生活部学費奨学金課	青山学院大学前約型給付金(地の塩、世の光奨学金)	その他	入学前(申請期間は11月及び1月の2回)	特待生・成績優秀者 学費支援		①2022年度一般入試試験または大学入学共通テスト利用入試試験で青山学院大学を受験する者 ②日本国籍を有する者、特別入籍者または在籍者、定住者、日本人(永住者)の配偶者の子 ③東京都(島しょ部を除く)、神奈川県、埼玉県及び千葉県以外の道府県(父母双方(または父母に代わって)家計を支える者)が居住し、入学後は本学へ自宅外から通学する者 ④収入(収入、所得金額)の合計が、前年度の基準額未満である者 1. 給付金収入金額(税込) 800万円未満 2. その他、事業所得金額 350万円未満 ※上記2双方の収入・所得がある場合には、両方を足した金額が800万円未満	給付奨学金	年額500,000円		原則年間継続支給。学費・経済基準による継続審査あり。	約350名	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用不可	条件有り併用可	
学生生活部学費奨学金課	青山学院大学学業成績優秀者表彰	その他	学生からの申請不可(学部・研究科から選出)	特待生・成績優秀者		前年度の学業成績が優秀なものに対して表彰を行い、副賞を授与する。	その他	最優秀賞200,000円、優秀賞100,000円、奨励賞50,000円	1回のみ	287名(2022年度実績)	地域の制限なし	学生生活部 学費・奨学金課	併用可	併用可		
学生生活部学費奨学金課	青山学院大学三社給付奨学金	入学後	学費支援		学部生、大学院生で経済支援を必要とする者	給付奨学金	年間授業料相当額を限度		制限なし(年度・学期により異なります)	地域の制限なし	学費奨学金課	併用不可	条件有り併用可			

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
亜細亜大学	学生部学生センター	亜細亜大学特待生	その他	合格発表時に大学から特待生候補者に対し通知(本人申請制ではない)	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	一般入試(学部別)、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、外国人留学生入試A方式、外国人留学生入試B方式の合格者のうち各学部の成績上位者(学部別20名以内・経済学部20名以内・法学部20名以内・国際関係学部20名以内・都市創造学部15名以内)で、いずれも所定の期間内に入学手続きを完了した者。 ※前年度の卒業成績が当該学部において、上位から5%以内であるとは、各学部教授会の意見を聞いて、2年次以降も継続して特待生として認定し授業料の全額を免除します。		免除・減免	新入生 入学費・当該年度の授業料を免除 経済学部:80万円 経済学部:80万円 法学部:80万円 法学部:80万円 都市創造学部:100万円 ※各学部は2026年度開設のため、都市創造学部のデータを掲載しています。 2年生以上 経済学部:70万円 経済学部:70万円 法学部:70万円 国際関係学部:80万円 都市創造学部:80万円	①1年間 ②2年次以降も前年度の卒業成績が当該学部の上位から5%以内であるとは、各学部教授会の意見を聞いて、2年次以降も継続して特待生として認定	*経済学部20名以内 *経済学部20名以内 *法学部22名以内 *国際関係学部20名以内 *都市創造学部15名以内 *社会科学部は2026年度開設のため、都市創造学部のデータを掲載しています。	地域の制限なし	(新入生入試部 アドミッションセンター/2年次以上)学生部 学生センター	併用可	併用可	
	学生部学生センター	亜細亜学園奨学金	在学中	①2年生以上 ②本人からの申請制ではない(大学で選考)	その他	成績優秀者に対する報奨	学カ・人物ともに優れた者で、各学科学年で規定より定められた成績上位者	給付奨学金	年間10万円	①1年間 ②1回限り ③次年度以降も選考される場合あり	*経済学部経済学部2年次以上各学部2名 *法学部2年次以上各学部2名 *都市創造学部2年次以上各学部2名 *社会科学部2年次以上各学部2名 *国際関係学部2年次以上各学部2名 *大学院各研究科5名 *留学生別科1名	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可	
	学生部学生センター	緊急奨学金(一般学生奨学金)	在学中	①2年生以上 ②本人からの申請制ではない(大学で選考)	その他	成績優秀者に対する報奨	学カ・人物ともに優れた者で、各学科学年で規定より定められた成績上位者	給付奨学金	年間5万円	①1年間 ②1回限り ③次年度以降も選考される場合あり	*経済学部経済学部2年次以上各学部2名 *法学部2年次以上各学部2名 *都市創造学部2年次以上各学部2名 *社会科学部2年次以上各学部2名 *国際関係学部2年次以上各学部2名 *大学院各研究科5名 *留学生別科1名	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可	
	学生部学生センター	育々会奨学金	在学中	①2年生以上 ②本人からの申請制ではない(大学で選考)	その他	成績優秀者に対する報奨	学カ・人物ともに優れた者で、各学科学年で規定より定められた成績上位者	給付奨学金	年間10万円	①1年間 ②1回限り ③次年度以降も選考される場合あり	*経済学部2年次以上各学部2名 *法学部2年次以上各学部2名 *国際関係学部2年次以上各学部2名 *都市創造学部2年次以上各学部2名 *社会科学部2年次以上各学部2名 *国際関係学部2年次以上各学部2名 *大学院各研究科5名 *留学生別科1名	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可	
	学生部学生センター	太田財団基金育英奨学金	随時		学費支援 その他	家計急変者支援	主たる家計支持者の死亡等により家計が急変し、学業の継続が困難となった成績優秀者	給付奨学金 免除・減免	年間30万円以内の奨学金の給付 このほか家計困難度に応じて授業料の全額又は一部を免除	事由が生じてから1年以内(ただし1年次は入学手続き後)。	③人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可	
	学生部学生センター	亜細亜大学派遣留学プログラム奨励金	その他	①派遣留学出発前 ②本人からの申請制ではない(大学で選考)	留学費用支援制度		亜細亜大学アメリカプログラム(AUAP)、亜細亜大学アジアスタディーズプログラム(AIASP)、アジア夢カレッジキャリア開発中国プログラム(AUCP)参加者の中で下記給付基準を満たす者。 (AUAP奨励金) TOEIC L&Rテストで600点以上を取得した者、全学で上位15名以内 (AIASP奨励金) TOEIC L&Rテストで600点以上を取得した者、全学で上位10名以内 (AUCP奨励金) 中国語検定試験(AUCP参加要件である)1年次の11月実施試験の3級以上に合格した者、全学で上位5名以内 ※いずれも大学で選考		給付奨学金	①AUAP奨励金 年間150,000円 ②AIASP奨励金 年間100,000円 ③AUCP奨励金 年間50,000円 ※各プログラムは4P参加のこと AUAP <a href="https://www.asia-uap.jp/international/auap/">https://www.asia-uap.jp/international/auap/</a> AIASP <a href="https://www.asia-uap.jp/international/aiasp/">https://www.asia-uap.jp/international/aiasp/</a> AUCP <a href="https://www.asia-uap.jp/international/aucp/">https://www.asia-uap.jp/international/aucp/</a>	①1年間 ②1回限り	①AUAP奨励金 全学で15名以内 ②AIASP奨励金 全学で10名以内 ③AUCP奨励金 全学で5名以内	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可
	学生部学生センター	亜細亜学園災害被災者救済奨学金	随時		被災者資金支援		地震、風水害等で災害被害を受けた学生の修学を経済的に援助する。 (1)主たる家計支持者が地震、風水害等で死亡又はそれに準じた被害を受けた場合。 (2)主たる家計支持者が感染症により命を失った場合、風水害等により命を失った場合。 (3)主たる家計支持者が感染症により命を失った場合、風水害等により命を失った場合。		給付奨学金	(1)入学費・授業料及び施設費 (2)入学費及び授業料 (3)入学費及び授業料の手続	①1年間 ②1回限り	人数制限なし ただし、主たる家計支持者に重大な影響を及ぼす天災等の場合には、奨学金の支給が取り止め可能となり。	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可
	学生部学生センター	亜細亜学園山口第一奨学金	在学中		その他		本学在学中に (1)日商簿記1級に合格した者 (2)税理士試験科目中の簿記論及び財務諸表論2科目のうちいずれか1科目に合格した者 (3)税理士試験科目中の簿記論及び財務諸表論2科目に合格した者 (4)税理士(科目免除者)又は公認会計士に合格した者 (5)その他(4)と同等以上の資格試験(外国も含む)に合格した者		給付奨学金	(1)日商簿記1級に合格した者:10万円 (2)税理士試験科目中の簿記論及び財務諸表論2科目のうちいずれか1科目に合格した者:5万円 (3)税理士試験科目中の簿記論及び財務諸表論2科目に合格した者:20万円 (4)税理士(科目免除者)又は公認会計士に合格した者:30万円 (5)その他(4)と同等以上の資格試験(外国も含む)に合格した者:30万円	同じ資格取得での給付は1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可
	学生部学生センター	亜細亜学園後援奨励金	随時		その他	家計急変者支援	主たる家計支持者の死亡等により家計が急変し、経済的に学業の継続が困難と判断された者で、いずれも前年度までの修得単位数の基準が満たされている者。		給付奨学金	年間30万円以内	①当該年度1年以内 ②次年度以降も前年度の卒業成績が当該学部の上位から5%以内であるとは、各学部教授会の意見を聞いて、2年次以降も継続して特待生として認定し授業料の全額を免除します。 ③専業主婦で1か月の採用	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可
	学生部学生センター	グローバル人材育成入試入学費を対象とした海外インターンシップ給付金	その他			留学費用支援制度	以下の条件をすべて満たす者 (1)本学が実施するグローバル人材育成入試試験に合格し、入学した者。 (2)所属学部の海外インターンシップ科目を履修し、単位を修得した者。		給付奨学金	30万円を上限とする海外インターンシップ参加実費補助	在学中1回限り	※令和7年度入試ではグローバル人材育成入試を廃止しています	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可
学生部学生センター	亜細亜大学アメリカプログラム奨学金	その他			留学費用支援制度	亜細亜大学アメリカプログラム(AUAP)参加者のうち、学業成績による選考基準を満たした者。ただし、独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度(国際高度実習者奨励金)(AUAPオンライン)奨学金は対象外		給付奨学金	年間20万円	在学中1回限り	※申請期間30名以内、秋学期派遣50名以内 ※いずれも大学で選考	地域の制限なし	学生部学生センター	併用可	併用可	
大妻女子大学	学生支援グループ	大妻女子大学育英奨学金	在学中	学部1~4年	学費支援	以下のいずれにも該当する者。また、学校法人大妻学院特別育英奨学金との併用は認めない。 (1)大妻女子大学の学生のうち、学業・人物ともに優れた者 (2)本人入学後に家計支持者が死亡もしくは長期療養により、学費の支弁が困難になった者 ※専業主婦の増員に付いて、(2)に該当しない場合も申し、該当する者に限っては優遇的に選考を行う。 ※専業主婦は専業主婦の修学支援制度との併用は認めない。但し、専業主婦も併用する場合は未定。		給付奨学金	月額20,000円	1年間	20名(大学院・短大を含む) ※学部・学年等による影響を鑑み専業主婦人数を特設。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	条件有り併用可	
	学生支援グループ	学校法人大妻学院特別育英奨学金	在学中	学部1~4年	学費支援	以下のいずれにも該当する者。また、大妻女子大学育英奨学金との併用は認めない。 (1)大妻女子大学の学生のうち、学業・人物ともに優れた者 (2)学費の支弁が困難で、進学意欲の高い者 ※専業主婦は専業主婦の修学支援制度との併用は認めない。但し、専業主婦も併用する場合は未定。		給付奨学金	月額20,000円	1年間	55名(大学院・短大を含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	条件有り併用可	
	学生支援グループ	一般財団法人大妻コタケ記念会育英奨学金	在学中	学部1~4年	学費支援	原則として他の奨学金の給付を受けていない者で、以下のいずれにも該当する者。 (1)大妻女子大学の学生 (2)学費の支弁が困難で、進学意欲の高い者 (3)学業・人物共に優れた者		給付奨学金	月額20,000円	1年間	10名(大学院・短大を含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可	
	学生支援グループ	災害復元等による学生納付金の減免	在学中	学部1~4年	入学費・授業料減免	入学費・授業料減免	最短期間内に在籍する者で原則として日本学生支援機構の奨学金を申請し、他の授業料減免または給付料の奨学金を受けていない者 で、以下のいずれかに該当する者。 (1)天災その他の災害で授業料が滞り(困難)になった者 (2)天災その他の災害により家計支持者(学費負担者)が死亡した者 (3)その他前各号に準ずる事情が生じた者		免除・減免	年間授業料の30%を限度として減免	採用された当該年度	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可
	学生支援グループ	学校法人大妻学院石間奨学金	在学中	学部4年	学費支援	学費支援	以下のいずれにも該当する者。 (1)大妻女子大学の学生のうち、学業・人物ともに優れた者、経済的に困難に陥っている者 (2)卒業後3年以内で、奨学金の返還が滞り、返済滞りしている者 (3)標準修業年限を経過していない者		給付奨学金	年間400,000円	1年間	1名(短大を含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学新入学生特別給付奨学金	入学後		入学金・授業料減免		学部の新1年生で学費支弁が困難な者のうち、家計基準・学力基準(高校時全体の学習成績の状況(従来の「評定平均値」)3.8以上)を満たす者。	給付奨学金	入学金相当額	入学年度限り	45名程度	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有りで併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学学費支援給付奨学金	在学中	学部1年～4年生	学費支援		学部で、原則として最短期間卒業で卒業が見込まれる者で、学力基準および家計基準を満たす者。	給付奨学金	在籍学部学科の第2期分授業料相当額	1年間	30名程度	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有りで併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学学業優秀者給付奨学金	在学中	学部生は2年生以上、大学院生は指定なし	特待生・成績優秀者		本学学生の学業成績優秀者を表彰することを目的としており、学部2年生以上、大学院生(博士前期課程)で各学部長、各研究科委員長からの推薦制。	給付奨学金	学部生・年額10万円、大学院生・年額30万円	1年間	学部生は2年以上の各学年・各学科より既 定人数 大学院生は若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	安倍前総理記念教育基金奨学金	在学中	学年の指定なし	特待生・成績優秀者		学部生・大学院生(若干名)で、各学部長、各研究科委員長からの推薦制。	給付奨学金	年額45万円	1年間	学部生・大学院生から若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学教育ローン金利助成奨学金	在学中	学年の指定なし	その他	教育ローン金利助成制度	①学部生・大学院生・法政研究学生のうち、本学への学費納付を目的として借入れた教育ローンの金利を当該年度に支払っている者。 ②最短期間卒業(休学期間を除く)に卒業又は修了が見込まれる者。	給付奨学金		1年間	採用人数の枠なし	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院校友会ふるさと給付奨学金	学校出願時		学費支援		本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)出願時期に合わせて申請を受け付け、採択候補者を決定し、本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。 ＜申請資格(2025年度 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)対応)＞ ※以下①～④の全ての条件を満たすこと。 ① 本学部(本年度)入学を志す者で、令和7(2025)年度本学一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)に出願予定の者。 ② 一般社団法人学習院存在委員会が指定する次の地域の高等学校の後期課程(通債制課程を除く)を、令和(2025)年3月に卒業見込みであること。 ※ 福岡(佐賀県・埼玉県・神奈川県・千葉県)を除く全国 ③ 在籍高等学校等が、令和6(2024)年10月1日以前に発行する課税簿において「全体の学習成績の状況が4.0以上」である者。 ④ 学習院大学入学者予約型給付奨学金「自らの社奨学金」申請者でないこと。	給付奨学金	年額50万円×4年間(継続給付審査あり)	4年間	10名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学入学者予約型給付奨学金「自らの社奨学金」	学校出願時		学費支援		本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)出願時期に合わせて申請を受け付け、採択候補者を決定し、本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。 ＜申請資格(2025年度 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)対応)＞ ※以下①～⑥の全ての条件を満たすこと。 ① 本学部(本年度)入学を志す者で、令和7(2025)年度本学一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)に出願予定の者。 ② 日本国籍を有する者、永住者、定住者、または日本人(永住者)の配偶者若しくは子である者。 ③ 高等学校等において、卒業した者の場合は第1年次から第3年次まで、卒業見込みの者の場合は第1年次から第3年次第1学期又は前期までの全体の学習成績の状況(従来の「評定平均値」)が3.8以上であること。 ④ 日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外)の高等学校等(中等教育学校の後期課程を含み、通債制課程を除く)を、卒業した者、及び卒業見込の者。 ⑤ 父母の「2024年度所得証明書(令和5年分の収入・所得証明)」記載の収入・所得金額の合計が、給与・年金収入金額(課税前)800万円未満、その他「卒業所得金額50万円未満の者」。 ⑥ 「学習院校友会ふるさと給付奨学金」申請者でないこと。	給付奨学金	年額100万円	1年間(入学年度に限る)	100名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可	
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院父母奨学金	在学中	1・3年生以上	入学金・授業料減免		在学生のうち、在学中学費負担者である父母保証人の死亡等によって、家計が激変したことにより、学費の支弁が困難と認められる者。 ※原則として1家族1名を対象とする。 ※学習院在学中1年度に限り給付する。	給付奨学金 免除・減免	翌年度の授業料・施設設備費相当額	1年間(学納金より減免)		若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可
学習院大学	学習院大学 学生センター学生課	学習院大学家計急変奨学金	随時		学費支援		学部生・大学院生・法科大学院生(留学生・非正規生を除く)が対象 ①【学力基準】 標準修得単位数以上の単位を修得し、最短期間卒業(休学期間を除く)で卒業が見込まれる者。 ②【家計基準】 世帯収入(生計維持者である父母の収入合計)が家計急変事由によって減少(半減以上)、大学が定める所得金額に該当していること。 ③【家計急変事由】 以下A～Fのいずれかの事由が申請日より6ヶ月以内に発生していること。 A: 生計維持者の一方(又は両方)が死亡 B: 生計維持者の一方(又は両方)が専業主婦又は専業主夫となり、半年以上、収入が困難 C: 生計維持者の一方(又は両方)が失業(金銭的失業) D: 生計維持者が震災・火災・風水害等に被災し、生計維持者の一方(又は両方)が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生 E: 本人が父債等による暴力等から避難するために、「児童福祉法」または「売春防止法」の定める施設等へ入所することとなった F: 父母の離婚	給付奨学金	年額15万円	1年間	採用人数の枠なし	地域の制限なし	学生センター学生課	条件有り併用可	条件有り併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
北里大学	入学センター事務局	北里大学学生表彰による奨学金(北島賞)	在学中	原則として各学年(2年次以上)	特待生・成績優秀者	学祖北里聖三郎博士の高弟、北島多一の偉業にちなみ制定されたもので、前年度の学業成績並びに人物が優秀な者(原則として各学年、各学科2名程度)		給付奨学金	10万円	1回	各学年各学科2名程度	地域の制限なし	各学部	併用可	条件有り併用可
	入学センター事務局	北里大学給付奨学金	在学中	2年次生以上	学費支援	対象:2年次生以上 人数:25名程度 出願資格: ①主たる生計維持者の失業、死亡若しくは災害等による家計急変、またはその他経済的理由により学費の支弁等に支障を生じた者 ②医学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来の見込みがある者 ③医学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来の見込みがある者 ④原則として学業成績が各学科及び専攻単位の上位3分の1以内である者(ただし家計急変者は成績上位4分の3以内) ⑤日本学生支援機構奨学金または他の貸与奨学金を受けている者(ただし家計急変者は申請中でも可) ※当該年度における北里大学の他の給付奨学金(北里大学学生表彰制度に定めるものを除く)、学費全額免除の特待奨励学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年1回		給付奨学金	原則学費年額の1/2相当額	原則として採用年度1か年以内	25名程度	地域の制限なし	教学センター学生課	併用可	併用可
	入学センター事務局	北里大学貸与奨学金	在学中	A種:原則として2年次生以上、2回目募集以降は1年次生も申請可 B種:最高学年生	学費支援	A種: ①主たる生計維持者の失業、死亡若しくは災害等による家計急変またはその他経済的理由により学費の支弁等に支障を生じた者 ②学費の収入が、日本学生支援機構が実施する第二種奨学金の対象となる家計急変(※)を認めないこと。 ※目安は、4人家族の場合、年収119万円程度(給与所得)もしくは78万円程度(給与所得以内)とする。 ③当該年度における北里大学の学費全額免除の特待奨励学生(特待生)は出願不可 返済方法:卒業半年後から月割または年割により貸与期間に応じて最長15年以内に返済(無利息)		貸与奨学金	A種:学費1/2相当額 B種:学費相当額	採用年度1か年以内	A種:35名程度 B種:若干名	地域の制限なし	教学センター学生課	併用可	条件有り併用可
	入学センター事務局	北里大学PPA給付奨学金	在学中	2年次生以上	学費支援	対象:2年次生以上 人数:6名程度 給付金額:原則学費年額の1/2相当額 出願資格: ①北里大学PPA正会員の子女である者 ②主たる生計維持者の失業、死亡若しくは災害等による家計急変またはその他経済的理由により、学費支弁等に支障を生じた者 ③医学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来の見込みがある者 ④原則として学業成績が各学科及び専攻単位の上位3分の1以内である者(ただし家計急変者は成績上位4分の3以内) ⑤日本学生支援機構奨学金または他の貸与奨学金を受けている者(ただし家計急変者は申請中でも可) ※当該年度における北里大学の他の給付奨学金(北里大学学生表彰制度に定めるものを除く)、学費全額免除の特待奨励学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年1回		給付奨学金	原則学費年額の1/2相当額	原則として採用年度1か年以内	6名程度	地域の制限なし	教学センター学生課	併用可	条件有り併用可
	入学センター事務局	北里大学PPA貸与奨学金	入学後		学費支援	対象:学年を問わない 人数:年間6名以内 出願資格: ①北里大学PPA正会員の子女である者 ②学費の収入が、日本学生支援機構が実施する第二種奨学金の対象となる家計急変(※)を認めないこと。 ※目安は、4人家族の場合、年収119万円程度(給与所得)もしくは78万円程度(給与所得以内)とする。 ※原則として北里大学奨学金との重複貸与は不可 募集期間:原則として年2回 返済方法:卒業半年後から年割により最長10年以内に返済(無利息)		貸与奨学金	年額60万円	採用年度1か年以内	6名以内	地域の制限なし	教学センター学生課	併用可	条件有り併用可
	入学センター事務局	北里大学医療衛生学部こまく給付奨学金	在学中	医療衛生学部3年次生、4年次生	学費支援	対象:医療衛生学部3年次生、4年次生 人数:原則として年間4名以内 給付方法:採用決定の翌月に一括振込 出願資格:家計状況の急変またはその他経済的理由により学費の支弁が困難と認められ、医学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来成長の見込みのある者 募集期間:原則として年1回		給付奨学金	年額60万円以内	原則として採用年度1か年以内	原則として年間4名以内	地域の制限なし	医療衛生学部学生課	併用可	併用可
	入学センター事務局	北里大学薬及歯給付奨学金	在学中	薬学部2年次生以上	学費支援	対象:薬学部2年次生以上 人数:原則10名以内 給付金額:年額10万円 給付方法:採用後一括振込 出願資格:原則として①から④のすべてを満たす者 ①家計急変又は経済的理由等により学費の支弁が困難と認められる者 ②医学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来の見込みがある者 ③学業成績が各学科の上位4分の3以内の者 ④日本学生支援機構奨学金又は他機関奨学金の貸与を受けている者 募集期間:原則として年1回		給付奨学金	年額10万円	原則として採用年度1か年以内	原則10名以内	地域の制限なし	白金キャンパス大薬事務室学生課	併用可	併用可
	入学センター事務局	特別特待奨励学生制度(特待生制度)	その他	本人からの申請不可、合格発表と同時に対象者に通知する	特待生・成績優秀者	合格発表と同時に本人宛に通知 *特待生が学生の身分に反する行為をしたとき、または成績が不良のときは翌年度から特選を取り消される場合がある ①理学部特待生 理学部では一般選抜試験合格者の中から成績上位者(物理学1科名、化学科2名、生物科学科2名)を特待生として選考し、学費の全額を免除 ②薬学部特待生 一般選抜試験合格者の中から成績上位者を特待生として選考し、学費の全額または半額を免除 【全額免除】 -薬学部:免除金額:6年間で12,600,000円 選抜人数:1位~4位 -生命前薬科学科:免除金額:4年間で7,080,000円 選抜人数:1位 【半額免除(全額免除を除く上位者)】 -薬学部:免除金額:6年間で6,300,000円 選抜人数:5位~12位 -生命前薬科学科:免除金額:4年間で3,540,000円 選抜人数:2位~4位 ③医学部特待生 【入学特待生】 一般選抜試験合格者の中から次の2区分による特待生を選考し、学費の一部または全額を免除 【第1種】 -特待生区分:入学金、授業料、施設設備費及び教育充実費の納入免除 -免除金額:学費全額(38,900,000円)口 -選考人数:若干名(選考面接あり) 【第2種】 -特待生区分:入学金及び授業料の一部の納入免除 -免除金額:6年間で19,450,000円 -選考人数:若干名(選考面接あり)	免除・減免	①理学部:学費の全額免除 ②薬学部:学費の全額免除または半額免除 【全額免除】 -薬学部:免除金額:6年間で12,600,000円 -生命前薬科学科:免除金額:4年間で7,080,000円 【半額免除(全額免除を除く上位者)】 -薬学部:免除金額:6年間で6,300,000円 -生命前薬科学科:免除金額:4年間で3,540,000円 ③医学部:学費の一部または全額を免除 【入学特待生】 【第1種】学費全額(38,900,000円)口 【第2種】6年間で19,450,000円	1年次~4年次、又は1年次~6年次(最終修業年度)	35名程度 216名程度 ③若干名(選考面接あり)	地域の制限なし	各学部	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(1)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
共立女子大学	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学実務体験奨学金	在学中	1年～3年次	研修支援制度 用途を定めない経済的支援	本学事務局内の実務体験付奨学金。全学年対象(卒業生を除く)。	給付奨学金	年間36万円を毎月3万円ずつ給付。	1年間(10月～翌年度9月)	約20名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	大学企画課 広報企画グループ	廣川シゲ給付奨学金	在学中	1年～4年次	その他	課外活動奨励	校内における優れた課外活動(研究・実習・国際交流等)で成果を挙げた学生を対象(在学中1回限り)。	給付奨学金	活動内容に応じ10万、5万、3万のいずれかを給付。	1回限り	地域の制限なし	学生支援課 学生生活支援グループ	併用可	併用可	
	大学企画課 広報企画グループ	奥山ヒロ給付奨学金	在学中	2年～4年次	特待生・成績優秀者 その他	国際学部在籍学生を支援	国際学部在籍する2年次以上の学生であること、学業成績優等(GPA)が3.2以上の学生(在学中1回限り)。	給付奨学金	10万円を給付。	1回限り	1名	地域の制限なし	学生支援課 学生生活支援グループ	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学独立行政法人日本学生 支援機構奨学金(海外研修)奨学金	在学中	1年～4年次	用途を定めない経済的支援 その他	修士のための資金	大学1年～4年次に在籍する日本学生支援機構の奨学金を利用し、高等教育の修学支援制度を適用していない学生。当学期前期の平均出席率が90%以上、所定の単位を修得していること。当学期前期までの選考のGPAが学生・学部学科別の上位1/3以上であること。	給付奨学金	10万円		50名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	宇都宮信子給付奨学金	在学中	4年次	特待生・成績優秀者 その他	家政学部の卒業生を支援	家政学部の卒業生のうち、学業成績優等で他の学生の模範となる者の支援を目的とし、各学科2名に給付。	給付奨学金	2万5千円を給付。	1回限り	8名	地域の制限なし	学生支援課 学生生活支援グループ	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学国際交流奨学金	在学中		学費支援 研修支援制度 留学費用支援制度		①交換留学奨学金 交換留学を希望していること。過去に本奨学金を受給していないこと。②研修留学奨学金 留学先に入学を希望している。又は申請書が提出されていること。③海外研修奨学金 海外研修に国際交流基金の定める一定の場で、一定の修学が認められること。過去に本奨学金を受給していないこと。④海外研修奨学金 海外研修に応募していること。本学において16単位以上を修得していること。過去に本奨学金を受給していないこと。	給付奨学金	①留学期間中の当該学部学科・年度の授業料の半額。②留学期間中の当該学部学科・年度の授業料の半額。③各研修16万円。	①②合わせて20名以内 ③研修応募人数による	地域の制限なし	学生支援課 国際交流センター	併用可	併用可	
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学ビジネス学部編入生支援給付奨学金	在学中	3年次	特待生・成績優秀者 その他	修士のための資金	共立女子短期大学から共立女子大学ビジネス学部へ編入し、3年次に在籍する学業成績優等(GPA)が3.0以上の学生。	給付奨学金	75万円		2名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	種由美給付奨学金	在学中	在学中 2年～4年次	研修支援制度 用途を定めない経済的支援		家政学部被服学科2年次以上に在籍する学業成績優等(GPA)が2.5以上の学生。課題の提出あり。(在学中1回限り)	給付奨学金	30万円		2名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学校友会就労支援奨学金	在学中	1～2年次	学費支援 用途を定めない経済的支援		大学1～2年生で、親を離れての就労及び遠距離通学などによる経済的理由から就学に支援を求めている学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難になった学生。 出席率、成績、家庭の収入に一定基準あり。	給付奨学金	20万円		25名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学校友会就労支援奨学金	在学中	3～4年次	用途を定めない経済的支援 就職支援		大学3～4年生で就職活動のための経費の増加あるいは収入減少のための支援を求めている学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難になった学生。 出席率、成績、家庭の収入に一定基準あり。	給付奨学金	20万円		25名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学・共立女子短期大学校友会緊急奨学金	在学中	4年次	学費支援		卒業期学生で、人物が優れ勤労意欲があり、卒業が可能であるにもかかわらず学費支払いが困難になった学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難になった学生。 出席率、成績が一定基準以上であること。	給付奨学金	後期学費相当分		2～3名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	国際交流TOEIC奨励奨学金	その他		資格取得支援制度 用途を定めない経済的支援		本学に在籍し「留学課程」による留学をした、留学後TOEIC Listening & Reading Testのスコアが730点以上の学生(在学中1回限り)	給付奨学金	60万円	1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援課 国際交流センター	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	クワハラタカシ給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 その他		文芸学部文芸学科英語英文学コース、文科英語コース2年次以上に在籍する学業成績優秀な学生対象 GPAが3.0以上、在学中1回限り	給付奨学金	10万円を給付。	1回限り	大学・短期大学 各1名	地域の制限なし	学生支援課 学生生活支援グループ	併用可	併用可
	大学企画課 広報企画グループ	共立女子大学 資格取得・進路支援給付奨学金	その他		資格取得支援制度		※3期に分けて交付(2024年度例) 第1期7月初旬 第2期10月初旬 第3期2月初旬	給付奨学金	資格により異なるため、詳細は大学HPをご確認ください。		人数制限なし	学生支援課 学生生活支援グループ	併用可	併用可	
	大学企画課 広報企画グループ	本学主催海外研修奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		夏季：アフリカ ハワイ大学マアロカ研修 フランス アンジエ西部カリソック大学CDEF研修 春季：中国 広東省外語外語大学研修 ニューヨーク 国立ワシントン大学Pathways College研修 韓国 高麗大学研修 フランス CAVILAM語学学校研修 海外研修および本奨学金に応募するものの中から本学学業成績(GPA)の上位のもの。 本学において16単位以上を修得していること。 過去に国際交流奨学金を受給していない者。 (「海外研修奨学金」を受給した学生は、「展覧留学奨学金」を重複して支給することはできない。)	給付奨学金	各研修あたり45万円	夏季または春季	研修応募人数による	地域の制限なし	学生支援課 国際交流センター	併用可	条件有り併用可
杏林大学	入学センター	杏林大学奨学金	入学後		学費支援	学業成績・人物ともに優れた者で当該学年を授業料等の納入に充てる者(2年生以上から対象)	給付奨学金	学級生36万円	年1回	42名	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	入学センター	杏林大学海外研修・留学奨学金	入学後		留学費用支援制度		給付奨学金	1年留学：A採用70万円、B採用40万円、C採用30万円 半年留学：A採用35万円、B採用15万円、C採用10万円 ※選考の詳細の順位が上であれば、より良い区分(A～C採用)での採用となります。	年1回(制度は年2回募集)	学内予算による	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可	
	入学センター	外国語学部奨励奨学金	入学後		留学費用支援制度		給付奨学金	外国語学部2～3年次に留学を予定する学生で、経済的に困難している成績優秀者	年1回	1人当たり年額最大50万円とし、採用者の総額額は100万円以内とする	3名程度	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可
	入学センター	優秀学生(成績優秀学生)表彰金	入学後		特待生・成績優秀者		その他	表彰金5万円	年1回	原則50名	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可	
	入学センター	優秀学生(特別表彰学生)表彰金	入学後		課外活動支援制度 資格取得支援制度		その他	表彰金5万円	年1回	原則8名	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可	
	入学センター	外国語学部各海外留学奨励金	入学後		留学費用支援制度		給付奨学金	2万円	在学中1回	学内予算による	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可	
	入学センター	総合政策学部各海外留学奨励金	入学後		留学費用支援制度		給付奨学金	2万円	在学中1回	学内予算による	地域の制限なし	井の頭事務部 学生支援課	併用可	併用可	
国立音楽大学	学務部学生支援課	国立音楽大学奨学金	在学中	7月～9月	学費支援	学級生の全学年対象。学業、人物共に優秀かつ経済的理由により就学困難な者。	貸与奨学金	50万円以内(授業料修費等負担) 卒業時の成績が特に優秀な者は全額または一部を免除する「特別返還免除制度」あり	毎年年度	全学年で60名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	学務部学生支援課	国立音楽大学応急奨学金	随時		学費支援	学級生の全学年対象。家族急変による就学困難者のための緊急支援として、授業履修費の1/2を貸与。	貸与奨学金	授業履修費の1/2(授業履修費負担) 卒業時の成績が特に優秀な者は全額または一部を免除する「特別返還免除制度」あり	毎年年度(在学中2回まで)		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	学務部学生支援課	国立音楽大学特別奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援		貸与奨学金	状況に応じて貸与 卒業時の成績が特に優秀な者は全額または一部を免除する「特別返還免除制度」あり	毎年年度(在学中1回まで)		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	学務部学生支援課	国立音楽大学音楽学部特別給費奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 研修支援制度		給付奨学金	入学学金を全額全額、半額、4分の1のいずれかを給付 ※2024年度より変更・新設：入学学金を全額、半額、30万円のいずれかを給付(学費に充当)	原則4年間、ただし3年次進級時に継続審査あり 4分の1免除：4名以内 ※2024年度より変更・新設：入学学金を全額、半額、30万円以内の奨学金は原則2年間	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	学務部学生支援課	国立音楽大学国内外研修奨学金	在学中	2～4年生(2年生は特別給費奨学生のみ) 12月～1月	特待生・成績優秀者 研修支援制度		給付奨学金	研修実施年度(支給時)に学部2(ただし、国立音楽大学音楽学部特別給費奨学生に限る)3,4年次に在籍する、研究意欲が強い、成績優秀な者。	毎年年度	国内～50万円以内 国外～20万円以内	10名程度(特別給費奨学生を除く)	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	国立音楽大学国内外研修奨学金(特別研修給付)	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		給付奨学金	国内一人：25万円、団体：50万円 国内一人：15万円、団体：25万円	毎年年度			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	岡田九郎記念奨学金	その他		学内推薦のため、申請不可。		給付奨学金	ピアノを専攻する3,4年次に在籍し、前年度の専攻成績が特に優秀な者。	毎年年度	45万円(授業履修費負担)	各学年1名	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	条件有り併用可
	学務部学生支援課	中継観戦奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援		貸与奨学金	学費相当額。卒業時の成績が特に優秀な者は全額または一部を免除する「特別返還免除制度」あり。	毎年年度			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	(名称非公開)	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		給付奨学金	卒業見込みがある学部4年生に在籍する学生のうち、人物、学業成績共に優秀、健康であり経済的支援を必要とする者。	毎年年度	50万円(授業履修費負担)	2名	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	条件有り併用可
	学務部学生支援課	被災学生への就学支援制度	その他		学費支援 入学金・授業料減免		免除・減免	被災状況に応じて学費を減免	毎年年度(1回限り)		人数制限なし	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	国立音楽大学顕彰費	学校出願時		寮制度		その他	自宅からの通学が困難な女子学生のための学生寮がキャンパス内にもある。入寮申請は入学試験出願時のみ。2025年3月末閉寮予定。				地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	諸活動助成	その他		課外活動支援制度		その他	本学公認団体(サークル団体)以外の団体が行う諸活動について、その団体に所属する学生(学部生)が負担する費用の一部を申請に基づき助成する。 【対象となる団体の条件】 当年度中に学生の費用負担がある次の団体を開催する団体 ・本学教員が指導して行う3回以上連続の発表会 ・本学教員が指導して行う2回以上連続の発表会・学科単位の発表会及び研究発表会 ・コースの発表会及び研究発表会 等				地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	公認団体助成	その他		課外活動支援制度		その他	サークル活動の団体に、本学公認団体または準公認団体に認められている団体を対象に、希望する団体へ申請に基づき助成金を支給する。 【公認団体の条件】 ・本学部生の部員が10名以上 ・本学専任教員が顧問 ・団体の名称、目的、設立趣旨、学生代表者(役員)、団体規則等を定め、所定形式により提出する ・団体としての活動歴が3年以上あること(ただし、活動歴1年以上で準公認団体としての申請可能、準公認団体となり2年以上活動を開始すれば公認団体としての申請が可能)				地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	学務部学生支援課	同朋会奨学金	その他		学内推薦のため、申請不可。		給付奨学金	学部3,4年生で、成績優秀で経済的理由により修学困難な学生。	20万円	毎年年度	各学年2名以内	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
	工学院大学	学務部 学生支援課	入学試験成績優秀者奨学金(5日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者		給付奨学金	1年生の全学部生	1年次のみ	合格者のうち上位10名以内の成績の者	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可
学務部 学生支援課		入学試験成績優秀者奨学金(A日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		免除・減免	年間学費の半額相当額	1年次から複数年次 最大4年間	各学科における合格者のうち上位10%以内の成績の者	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可	
学務部 学生支援課		入学試験成績優秀者奨学金(大学入学共通テスト利用前期日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		免除・減免	年間学費の半額相当額	1年次から複数年次 最大4年間	各学科における合格者のうち上位10%以内の成績の者	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可	
学務部 学生支援課		入学試験成績優秀者奨学金(探究成果活用型選抜)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		免除・減免	年間授業料の半額相当額	1年次から複数年次 最大4年間	各学科における合格者のうち成績優秀者1名	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可	
学務部 学生支援課		学園百周年記念奨学金	在学中		学費支援		貸与奨学金	年間学費相当額	1年(在学中1回限り)	若干名	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	条件有り併用可	
学務部 学生支援課		学園奨学金	在学中		学費支援		貸与奨学金	年額60万円以内	在学中1回限り	若干名	地域の制限なし	学務部 学生支援課	条件有り併用可	条件有り併用可	
学務部 学生支援課		工学院大学後援会給付奨学金	随時		学費支援 入学金・授業料減免		給付奨学金 免除・減免	年間学費相当額	毎年学年初のみ	人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生支援課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
国際基督教大学	学生サービス部学生グループ	IGU+サテライトHigh Endeavor奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免	-本学部への入学を強く希望する者 -入学選考において成績優秀と認められた者 -大学の収入・南米金額を合計した金額が、600万円未満(給与・年金収入金額)または300万円未満(自営業等、事業所得金額)の者		免除・減免	入学金、年間授業料及び施設費の3分の1	原則4年間 ※毎年度継続審査あり	24名(2025年度入学選抜全体)	地域の制限なし	学生サービス部学生グループ	併用可	条件有りで併用可	
	学生サービス部学生グループ	IGU Peace Bell奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免 教科費	-本学部への入学を強く希望する者 -人物・学業・入学選考における成績のいずれも優秀と認められた者 -大学の収入・南米金額を合計した金額が、600万円未満(給与・年金収入金額)または300万円未満(自営業等、事業所得金額)の者		免除・減免	入学金、授業料および施設費、入居費および寮費(7、8月を除く)	原則4年間免除(修業年限内) ※毎年度継続審査あり	14名(2025年度入学選抜全体)	地域の制限なし	学生グループ	併用可	条件有りで併用可	
	学生サービス部学生グループ	IGU+サテライト在学奨学金	在学中	毎年度1回(11~12月) 前1学期末学期に授業部から4年度または10大学院修士課程2年次に在学している者		学費支援 その他	-経済的理由で修学が困難である者。 -進路学習期間の進捗GPAが低下している者。 -留年している者、外国人留学生は応募資格無し。	年間授業料及び施設費の3分の1	免除・減免	年間授業料及び施設費の3分の1	1学期間 ※毎年度応募	学部 90名程度	地域の制限なし	学生グループ	併用可	条件有りで併用可
	学生サービス部学生グループ	IGU奨学助成制度	在学中	全年		学費支援	-融資が行われる学部・科の学部・大学院に本科学士として在籍し、科目を履修すること。 -日本国籍を有すること(永住及び定住有資格者は可能)。外国人留学生は応募資格無し。 -申請手続に必要な自給能力を有し、全ての申請書を学生本人が行うことができないこと。 -成績の平均がGPA1.5以上(1年生は第一学期、第二学期課程学生は平均)であること。 -履修修業年限内であること。履修修業年限を超えて在籍する者(留年生)は応募資格は無し。		貸与奨学金	授業料・施設費	1学期間 ※前学期に募集		地域の制限なし	学生グループ	併用可	条件有りで併用可
	学生サービス部学生グループ	大規模災害特別措置	学校出願時			被災者資金支援	入学志願者及び入学予定者で東日本大震災及び長野県北部の地震、2016年熊本地震、2016年1月豪雨、2018年北海道胆振地方東部地震、2019年台風19号及び19号による災害救助法適用地域において、主たる家族者が震災による人的被害を受けた方。収入の制限があるものについては、募集の要項でご確認ください。		免除・減免	入学検定料、入学金、授業料・施設費(1~3学期分) ※専ら被災の程度により、減免内容が異なる。	入学初年度		地域の制限なし	アドミッションズ・センター	併用可	条件有りで併用可
	学生サービス部学生グループ	IGU Cherry Blossom奨学金	その他	学校出願前		学費支援 入学金・授業料減免	以下の条件をすべて満たしていること。 (1)東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外に設置された学校教育法第1条に定められた国内高等学校等出身者 (注)高等学校(私立高等学校の高等部を含む)は中等教育学校、高等学校の第3学年、高等学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で文部科学大臣が別に指定する者 ※通信制高等学校の出身者は、学校所在地にかかわらず、一部三県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外に居住する者 ※高等学校卒業程度認定試験合格者は、本奨学金の対象外です。 ※高等学校2~3年次に在籍中(留年)・留年・留年以外に設置されている学校が対象です。 (2)一般選抜/総合選抜/学校推薦型選抜に本科学士(一般選抜は転入本科学士を含む)として出願を予定している者でその入学を希望する者 (3)卒業した、または卒業見込みの高等学校等より、調査書の発行を受けられる者 (4)父兄の「所得証明書」に記載の収入・所得金額を合計した額が以下の者 給与・年金収入金額(税込み)600万円未満 / 事業所得、その他所得金額14万円未満 ※学部入学選抜受検者対象		免除・減免	入学金、年間授業料及び施設費の3分の2	原則4年間 ※毎年度継続審査あり	約20名	地域の制限なし	学生サービス部学生グループ	併用可	条件有りで併用可
同志社大学	学生・厚生課	学業優秀奨学金	在学中	2年生以上が対象	その他	奨学金D:授業料の5割減免	本学に1年以上継続して在学する者で、学業成績が特に優れながら選考(外国人留学生を除く)	免除・減免	奨学生規程により納入金を減免する。	当年度のみ	各学部若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生・厚生課	修学奨励奨学金	入学後		その他	奨学金D:授業料5割減免	家族支援者が死亡、後遺障害その他事由により、納入金の支払いが困難と認められた者とし、その事由が入学手続中に発生した中から選考。	免除・減免	奨学生規程により納入金を減免する。	当年度のみ	各学部若干名	地域の制限なし	学生部 学生・厚生課	併用可	併用可	
	学生・厚生課	運動技能優秀奨学金	学校出願時		その他	奨学金A:入学金・授業料・施設設備費・教科費減免 奨学金B:授業料減免 奨学金D:授業料の5割減免	入学を希望する者の中で、本奨学金制度に出願し、各種スポーツの全国大会もしくは国民体育大会において、優勝または入賞した者及びこれと同等の技能を有する者の中から選考。	免除・減免	奨学生規程により納入金を減免する。	1学期(4年間) 2)1回限り	各学部若干名	地域の制限なし	学生部 学生・厚生課	併用可	併用可	
	学生・厚生課	成績優秀奨学金	学校出願時		その他	奨学金A:入学金・授業料・施設設備費・教科費減免	入学を希望する者の中で、ゼミラー選抜・大学入学共通テスト利用選抜1期受検者を対象に、成績上位者の中から選考	免除・減免	奨学生規程により納入金を減免する	原則4年間	30名	地域の制限なし	入試部	併用可	併用可	
	総務部	駒澤大学新入生の告知(一般選抜特待生)奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		2月実施の一般入学選抜方式(グローバル・メディア・スタディーズ学部は5方式)で受検し、特に優秀な成績で合格した方を対象に学業奨励及び人材育成を目的として給付。出願時に、当該学部に入学することを確約できる申込みの条件。採用人数64名。	給付奨学金	授業料相当額(前期・後期分割支給)				地域の制限なし			
総務部	駒澤大学全学統一日程選抜奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		全学統一日程選抜合格者の中から特に優秀な成績で合格した方を対象に学業奨励及び人材育成を目的として給付。全学統一日程選抜に出願したすべての受験生を対象。全学統一日程選抜で本学に入学した入学選抜合格者上位者の中から選考。採用人数200名。	給付奨学金	年額30万円(前期・後期分割支給)				地域の制限なし				
総務部	駒澤大学百年記念奨学金	在学中	1年生~4年生		用途を定めない経済的支援	学業基準●学部1年生:高校卒業時評定平均値3.5以上●学部2年生以上:前年度までのGPA1.4以上 家計基準●経済的困難度の高い学生から順番に採用 採用人数10名以内。	給付奨学金	年額20万円(前期・後期分割支給)				地域の制限なし				
総務部	駒澤大学駒澤奨学金	在学中	2年生~4年生		特待生・成績優秀者	学部2年生以上で標準単位(2年生:30単位、3年生:60単位、4年生:90単位)を修得し、前年度までの学業成績がGPA3.0以上の者。 採用人数40名以内。	給付奨学金	年額10万円(一括給付)				地域の制限なし				
総務部	駒澤大学同窓会奨学金	在学中	1年生		特待生・成績優秀者	学部1年生:高等学校における全体の学習成績の状況が4.0以上 ●東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外に保証人が在住している者。●東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県に保証人が在住していないが、保証人1名以上、自宅外通学をする者。 4)都道府県で各2名採用。	給付奨学金	年額15万円(一括支給)				地域の制限なし				
総務部	学業成績優秀者奨学金	在学中	2年生~4年生		特待生・成績優秀者	学部2年生以上(2~3年生は前年度の成績(GPA)4.0、4年生は1年次から3年次までの成績(GPA)4.0で選考)。各学部各学科各学年においてGPA値が高い者から上位3名を採用。	給付奨学金	1)年額50万円(一括支給) 2)年額30万円(一括支給) 3)年額10万円(一括支給)				地域の制限なし				
総務部	自己推薦選抜(総合評価型)奨学金	学校出願時			学費支援	●自己推薦選抜(総合評価型)を受検し、合格すること。●申請者世帯(父母)の年間収入・所得金額合計が、前年所得者の場合は500万円以下、前年所得者以外の場合は、専ら所得300万円以下であること。●後の授業料減免および給付奨学金の支給予定者ではないこと。●後の高等学校の修学支援奨励制度(授業料減免・給付型奨学金)に採用された場合は、本奨学金の採用を取り止めます。	給付奨学金	年額50万円(前期・後期分割支給)				地域の制限なし				
総務部	大規模自然災害被災学生の授業料減免	在学中	1年生~4年生		被災者資金支援	被災者によって家計支援者の収入が途絶えたこと、または、減少した場合、当該年度の授業料の全額又は半額を免除する。	免除・減免	授業料相当額(全額または半額)				地域の制限なし				
総務部	駒澤大学私費留學生支援奨学金	在学中	1年生		留学費用支援制度	外国人留学生選抜で入学した、出入国管理及び難民認定法における留資格が「留学」である私費留學生(1年生)。採用人数10名以内。	給付奨学金	年額15万円(一括給付)				地域の制限なし				
総務部	大学院給付奨学金	在学中	修士課程1~2年生 博士課程1~3年生		用途を定めない経済的支援	大学院院士 家計基準●経済的困難度の高い学生から順番に4名を採用。	給付奨学金	年額50万円(前期・後期分割支給)				地域の制限なし				
駒沢女子大学	入試センター	学校法人駒澤学園奨学金	在学中	全年生対象	学費支援 被災者資金支援	経済的理由により修学が困難な学生に対し書類選考を行い、奨学生としてふさわしいと判断された場合に給付する。	給付奨学金	年間授業料の半額以内の額	1年間		23名程度	地域の制限なし	大学短大事務部学生支援課	併用不可	併用可	
	入試センター	新入学生スカラーシップ制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	対象となる入学選抜の合格者のうち、成績優秀者(筆記試験の得点が原則7割以上)を対象とする。	免除・減免	年間授業料の半額もしくは全額	1年間(1年次)		各学科の入学定員の5%を上限とする	地域の制限なし	入試センター	条件有りで併用可	併用不可	
順天堂大学	アドミッションセンター事務局	学費減免特待生制度(医学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	医学部一般選抜A方式2次試験合格者の成績上位10名		免除・減免	1年次は入学金200万円のみ減免(授業料、施設設備費、教育充実費を免除。ただし、1年次の養育費、療養費、教材費は減免対象外) 2~4年次の学費は各年100万円以上とする ※減免額は各年度の学業成績に応じて変更となる場合あり			地域の制限なし				
	アドミッションセンター事務局	基礎医学研究者養成奨学金(医学部)	その他	1)入学後 2)在学中	その他	将来、研究費を志す学生の支援が目的		その他	月額10万円 (1)1~4年次および大学院終了まで)			地域の制限なし				
	アドミッションセンター事務局	入学試験総合成績上位者奨学金(スポーツ健康科学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	スポーツ健康科学部共通テスト利用選抜(前期)、一般選抜の総合成績上位者		免除・減免	入学手続納入金のうち、初年度の学費の一部を免除				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	順天堂大学スポーツ奨学金(スポーツ健康科学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	スポーツ健康科学部トップアスリート特別選抜の合格者で学業成績に顕著な意志があり、競技活動に特に期待できると認められる方		給付奨学金	学費の一部を給付				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	特待生制度(医療看護学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	医療看護学部の入学試験において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	1年次の授業料と施設設備費に相当する額120万円を全額免除				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	特待生制度(医療看護学部)	在学中	各学年	特待生・成績優秀者	対象:各学年若干名 医療看護学部に入学者の学業成績および人物見識が優秀な学生		免除・減免	次年度の学費について、施設設備費30万円を全額免除				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	特待生制度(医療看護学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	医療看護学部の入学試験において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	1年次の授業料と施設設備費に相当する額120万円を全額免除				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	順天堂大学医学部附属麻酔科医奨学金	在学中		その他	順天堂大学医学部附属麻酔科医に看履願して学校卒業後に勤務する学生に対する奨学金		貸与奨学金	月額60万円(月額50000円) 卒業後、順天堂大学医学部附属麻酔科医で賃金期間に相当する年月を勤務した場合は、返済を全額免除				地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度・特待生A(国際教養学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	国際教養学部入学試験において学力試験および人物見識が極めて優秀な合格者		免除・減免	初年度授業料の100万円を減免 ※学校推薦型選抜(内閣試験利用特待生)の合格者は全員適用			若干名	地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度・特待生B(国際教養学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	国際教養学部入学試験において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	初年度の授業料を50万円に減免(半額減免)			若干名	地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度(国際教養学部)	在学中		特待生・成績優秀者	国際教養学部入学後の学業成績および人物見識が優秀な学生		免除・減免	次年度の学費について、授業料を50万円に減免(半額減免)			若干名	地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度・特待生(保健医療学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	保健医療学部の入学試験において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	初年度の授業料と施設設備費に相当する額130万円を全額免除			各学部若干名	地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度(保健医療学部)	在学中		特待生・成績優秀者	保健医療学部入学後の学業成績および人物見識が優秀な学生		免除・減免	次年度の施設設備費30万円を減免			各学部若干名	地域の制限なし			
	アドミッションセンター事務局	学費減免制度(医療科学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	医療科学部総合型選抜(探究育成型)、一般選抜A日程または共通テスト利用選抜において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	初年度の授業料を50万円に減免(半額減免)				地域の制限なし			
アドミッションセンター事務局	学費減免制度(健康データサイエンス学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	健康データサイエンス学部総合型選抜(育成型:プログラミング育成)、一般選抜A日程または共通テスト利用選抜において学力試験及び人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	初年度の授業料を50万円に減免(半額減免)				地域の制限なし				
アドミッションセンター事務局	学費減免制度・特待生制度(薬学部)	入学手続時		特待生・成績優秀者	薬学部入学試験において学力試験および人物見識が特に優秀な合格者		免除・減免	1年次の授業料に相当する額140万円を全額免除				地域の制限なし				
上智大学	入学センター	上智大学新入生奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免		1年次	給付奨学金	授業料全額相当あるいは授業料半額相当あるいは授業料1/3相当の減免	1年間		地域の制限なし	学生センター	併用可	条件有りで併用可	
	入学センター	上智大学修学奨励奨学金	入学後		入学金・授業料減免		1年次から4年次	給付奨学金	授業料全額相当あるいは授業料半額相当あるいは授業料1/3相当の減免	1年間		地域の制限なし	学生センター	併用可	条件有りで併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他の」具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
昭和医科大学	学事部学課	シンシナー奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学費・授業料免除	2年～4年生の全学年学生対象 ①成績が優秀な者 ②優れた進路を自ら目指す資質のある者 ③課外活動を積極的にしている者 ④医療系学部の学生においては、昭和大学特別奨励会給付を目指す者 ⑤他機関から学費等に關する奨学金を支給されていない者	給付奨学金	①医学部・歯学部 300万円、薬学部140万円、保健医療学部105万円 ②学費相当額を給付	①当該年度1年間	①医学部5名、歯学部・薬学部・保健医療学部 各6名ずつ 合計14名	地域の制限なし	学事部学課	併用不可	併用可
	学事部学課	特別奨学金	在学中	5～6年生	特待生・成績優秀者 入学費・授業料免除	医・歯・薬学部の5～6年生対象 ①成績が優秀な者 ②卒業までに、本学大学院へ進学する者 ③本学附属病院または本学以外の病院において臨床研修を行い、臨床研修修了後、引き続き本学大学院研究科に在籍する者 ④本学大学院修了後、引き続き本学において4年以上専任教職員として教育・研究・診療に従事する者。	給付奨学金	①医学部・歯学部 年額300万円、薬学部 年額140万円 ②学費相当額	③～6年度2年間	①医学部15名、歯学部3名、薬学部10名 合計30名 ②5年度および6年度 合計40名	地域の制限なし	学事部学課	併用可	併用可
	学事部学課	特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般選抜入試1期の上位合格者、保健医療学部/ハビテーション/理学療法専攻・作業療法専攻の総合選抜入試及び校推薦 選抜入試の合格者を対象。	免除・減免	初年度の授業料を免除。	初年度のみ		①医学部15名、歯学部3名、薬学部10名 合計30名 ②5年度および6年度 合計40名	地域の制限なし	学事部入学支援課	併用可
昭和女子大学	教学支援センター学生支援課	学費支援奨学金(給付)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	成績優秀者奨学金で、学習態度・生活態度が継続的であり、本学の委員会活動、他学生に対する貢献度など、その影響力が大きい者、成績優秀者奨学金のうち、各学科各学年1名。学科からの推薦により決定する。	給付奨学金	年額20万円	年度内1回限り、複数年度で対象となった場合は最大3回まで給付される。	各学科学年1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	人見記念奨学金(貸付)	その他	前期学納金利用・3月中旬、後期学納金利用・3月中旬	学費支援	経済的事務のため学生の本人である勉学と人間形成の修養が困難な者、真面目で意志強固な者。(保証人の審査あり)	貸付奨学金	学納金	1回限り、※上限500万円以内で複数回利用可能。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	昭和学園奨学金	その他	ボストン校への留学プログラム最終入学期	留学費用支援制度	経済的事務のため学生の本人である勉学と人間形成の修養が困難な者、真面目で意志強固な者。(保証人の審査あり)	貸付奨学金	ボストン留学付金	1回限り、上限500万円以内で複数回利用可能。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	成績優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	2年度以上の学生で、前年度の成績がGPA2.5以上で各科目各学年上位3分の順位まで、学科からの推薦で決定する。	給付奨学金	年額20万円	年度内1回限り、複数年度で対象となった場合は最大3回まで給付される。	年間130名程度	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	経済的支援奨学金	在学中	2年生・3年生・4年生	学費支援	次のすべての条件を満たしている者を対象とする。 ①(A)～(D)のいずれかに該当する者。 (A)1年以内に主たる家族支援者が死亡した者 (B)1年以内に主たる家族支援者が重度障害者となった者 (C)その他経済的理由で学費が困難な者 ②前年度に在学する正課生2年・3年・4年生で、生計維持者が日本国内在住の各種証明書を提出できる者を対象とする。 ③専業主業従事者(専業主業従事者の家族)に該当しない中で日本学生支援機構の第一種奨学金の累計基準を満たした者 ④世帯(父母含み)収入上限84万円以内の世帯(所得以外の場合上限400万円以内) ⑤日本学生支援機構奨学金の累計基準を参考に申請付けを行い、前期区を待機し、上位40名程度とし、かつ給付総額800万円以内を対象とする。 ⑥前年度の成績が、GPA2.5以上で標準単位数以上修得済みの者。	給付奨学金	年額20万円(後期納金に充当)	年度内1回限り、複数年度で申請でき、対象となった場合は最大3回まで給付される。	40名程度	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用不可	併用可
	教学支援センター学生支援課	3人以上の学者奨学金	入学後		学費支援 その他	本学園に6名以上の兄弟姉妹が同時に在籍している期間が対象。3歳以上隔年の入学者に給付。	給付奨学金	授業料の半額	在籍している間	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	認定留學生奨学金	在学中		学費支援	私費認定留學生のうち留學先(正課科目)の修得する学生対象	給付奨学金	所属学科の授業料相当額	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可
	教学支援センター学生支援課	種別奨励基金	在学中		その他	学業以外のクラブ・サークル等の課外活動や学生個人の自主活動で優れた業績をあげた学生、または団体に対する支援。	給付奨学金	活動の実績による(5万円・10万円目安)	年度内1回限り、複数年度で申請でき、対象となった場合は複数回給付される。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	水と奨励基金	在学中		その他	日本語日本文学に在籍する学生で、日本文化と関わりのある領域において優れた活動あるいは業績を示した学生、または団体に対する支援。	給付奨学金	活動の実績による(3万円・5万円・10万円目安)	年度内1回限り、複数年度で申請でき、対象となった場合は複数回給付される。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	教学支援センター学生支援課	光葉奨励基金	在学中	2年生～4年生	その他	北海道、四国、九州、沖縄地方の出身の2年生、3年生、4年生の学生で、勉学と人格形成に励んでいると認められた者(編入生初年度は対象外) 成績はGPA2.5以上。	給付奨学金	5万円	年度内1回限り、複数年度で申請でき、対象となった場合は最大3回まで給付される。	年間20名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
教学支援センター学生支援課	光葉同窓会長賞(親子三代賞)	入学後		その他	本学の教育方針に賛同する家族を称えることを目的とする支援。	給付奨学金	5万円	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可	
教学支援センター学生支援課	小島海外留学支援基金	在学中		留学費用支援制度		給付奨学金	30万円もしくは20万円(留学先免除の場合)	1回限り	年間1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可	
教学支援センター学生支援課	石岡奨励基金	在学中	4年生	学費支援	経済的困難により卒業が困難な者。 ①卒業前まで卒業前まで、成績または大学院進学が決定しており、卒業に要する単位を110単位以上修得している者。 ②日本学生支援機構第一種奨学金の累計基準を満たしていること。	給付奨学金	年額30万円	1回限り	年間1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可	
教学支援センター学生支援課	MAKOTO奨学金	在学中	1年生(継続条件を満たしている場合年間給付される)	学費支援	学納1年生、経済的理由により、修学が困難な者、家族支援者の年収(合計)が400万円以下の者、1年前年度の成績が所属学科・学年の上位1/2以内の順位である者。	給付奨学金	4年間の学費相当額(留学者の必須の学科は別途ボストン留學費用(セメスター分))	4年間(進級の際、成績などの審査あり)	1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	条件有りで併用可	併用不可	
昭和薬科大学	入試課	東田奨励基金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	①種別 第一種(無科目) 対象 品行方正、学業優秀で経済事情が困難な者 ②種別 第二種 対象 品行方正、前年度までの学業成績が平均水準以上で、5年度後期以降に家族急変により就学継続が困難となった者 ③種別 第三種 対象 品行方正、前年度の学業成績が上位20%以内で、4年度以降に家族急変により就学継続が困難となった者	貸付奨学金	①学部 年額最大40万円、6万円×12回(月給4万5千円から選択) ②学納 年額 50万円以内(1回貸付)、学生納付金に充当、2回まで貸付。 ③学部 1回の納付金額を上限とし、年1回貸付し、学生納付金に充当、3回まで貸付。	①専修科修学期間 ②2年度後期以降2回まで ③4年度以降3回まで	①人数制限なし ②10名程度 ③3～9名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
	入試課	特待生制度	在学中	1年生～5年生	特待生・成績優秀者	新入生(1年次)～5年次 ①新入生(1年次) 入試課上位者 ②2年次から5年次 成績上位者 4年生の卒業生が学生対象。	免除・減免	①1年間授業料全額免除 ②1年間授業料半額免除	①1年間 ②1年間	①入学試験の成績上位者(指定科目5位、公開科目10位、方式別の位、方式別の位、方式別の位)の9人中入試上位者(指定科目は入学試験とは別の特待生選考試験) ②毎学年成績上位2名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
女子栄養大学	学生生活課	野口医学研究所奨学金	在学中	3年生後期	学費支援 入学費・授業料免除	英国財団法人野口医学研究所・NPO野口医学研究所(漢野ファン)と学校法人香川栄養学園との連携協力に基づき創設された奨学金。 修学意欲がありながら経済的理由によって修学を続けることが困難な学生に対し月額2万円(1年間)を学納金に充当する形で給付。年に1回前期に募集。	給付奨学金 免除・減免	24万円	年1回、4年生後期	14名	地域の制限なし	坂戸教務学生部 学生生活課	併用可	併用可
	学生生活課	北都子奨学金奨励会	在学中	1年生後期、2年生前期-後期	学費支援 入学費・授業料免除	女子栄養短期大学と女子栄養大学の卒業生で平成11年7月に逝去された故北都子さんの「経済的困窮のため進学が困難で諦めたことがないこと、若い力や才能を遺憾なく発揮し、思いやりの意志を継いだ奨学金創設です。」 継いだこと、給付の可否については審議委員・面接等により決定されます。	給付奨学金 免除・減免	20万円	1年生後期、2年生前期-後期	前期4名以内、後期8名以内	地域の制限なし	坂戸教務学生部 学生生活課	併用可	併用可
	学生生活課	DNP奨学金	在学中	4年生	用途を定めない経済的支援	株式会社DNPフロンティアと学校法人香川栄養学園との連携協力に基づき、DNP奨学金が設立されました。3年生までの学業成績が優秀な学生を募集し、授与式で奨学金を給付します。(募集は行いません。)	給付奨学金	10万円	4年生	10名以内	地域の制限なし	坂戸教務学生部 学生生活課	併用可	併用可
	学生生活課	香友会わかば奨学金	在学中	4年生	その他	①香川栄養学園に在籍する学生 ②専門性をいかした社会活動に貢献することを目指す学生 ③専業主業従事者 ④家族力向上を目指す学生 ⑤書籍・論文による第1次選考、面接による第2次選考を経て決定する	給付奨学金	10万円	年1回	応募人数により変動	地域の制限なし	香友会事務局	併用可	併用可
	学生生活課	入試成績優秀者特待制度	入学手続時		特待生・成績優秀者	総合選抜「大スカラーシップ」での入試成績優秀者で次の条件を満たす者 ①本学への入学意思がある ②次期入学までに入学志願書、入学試験成績表を提出する ③入試成績優秀者特待制度の申請を行う。	給付奨学金	①1年次の授業料全額 ②1年次の授業料半額	1年間	①5名以内 ②10名以内	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	女子美術大学	広報グループ	女子美術奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	全学年対象、留學生除く ①経済困難者 ②学業優秀・学業継続意思のあること	給付奨学金	2023年度以前の入学者400万円 2024年度入学者300万円	1年間	2022年度以前の入学者60名(大卒・短大) 2024年度入学者15名(大卒・短大)	地域の制限なし	学生支援センター	併用不可
広報グループ		女子美術大学・女子美術大学短期大学部アリス奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	全学年対象、留學生除く ①経済困難者 ②学業優秀・学業継続意思のあること	給付奨学金	年額 10万円、単年度	1年間	10名(併給短大生除く)	地域の制限なし	学生支援センター	併用不可	条件有り併用可
広報グループ		女子美術同窓会奨学金	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者	2年次以上または専攻科生対象 ①学業優良かつ経済困難者	給付奨学金	年額 10万円、単年度	1年間	20名(大卒・短大・専攻科含む)内留學生2名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用不可	条件有り併用可
広報グループ		学校法人女子美術大学教職員による学生・生徒支援奨学金	在学中	卒業年次対象	卒業年次対象	①家計急変による学費納入困難 ②学業優秀者	免除・減免	上限60万円以内、未納学納金に充当。	1年間	大学院・大卒・専攻科合わせて3名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
広報グループ		女子美術海外留学奨学金	随時		留学費用支援制度	協定海外留學生または認定海外留學生として留學する学生。	給付奨学金	金額は期間・地域により異なる(上限20万円)	①1年間	③3年度により異なる(大短合計)	地域の制限なし	国際センター	併用可	併用可
広報グループ		大規模自然災害被災学生授業料等減免	その他		被災者資金支援	全学年、大規模自然災害による被災学生、入学希望者、入学決定者、授業料等の減免支援。	免除・減免	災害前まで定める。			地域の制限なし	学生支援センター		
広報グループ		二つの星女子美術予約奨学金	その他	高校3年生(11月上旬)	学費支援	女子美術大学又は女子美術大学短期大学部に入学を強く希望する学業成績が優秀で経済的支援が必要な者 ※詳細は本学WEBサイト「二つの星女子美術予約奨学金募集要項」をご確認ください	給付奨学金	年額40万円	1年間	40名	地域の制限なし	学生支援センター	併用不可	併用不可
広報グループ		女子美術外国人留學生奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	1年～4年生の留學生対象 ①本学に在学する私費負担留學生で、学業が優秀で経済困難な者 ※学費負担額は学費へ充当	給付奨学金	①年額40万円	①1年間	①8名(大卒・短大含む)	地域の制限なし	国際センター	併用可	併用可



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・学科・専攻の 内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
白百合女子大学	入試広報課	白百合女子大学奨学金	在学中	2~4年	学費支援	学業品行ともに優秀で、経済的に学業の継続が困難と認められる学生(正規課程)の支援を目的とする単年度の給付奨学金。学部生は2年次から申込み可能で、後援修業年限までが対象。	給付奨学金	250,000円	1回	40名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	入試広報課	白百合女子大学同窓会奨学金	在学中	全年次	学費支援	学業・品行ともに優秀で、家計支持者の死亡・障害・倒産・失業及び災害などによる家計の急変が原因で、経済的に学業の継続が困難となった学生(正規生)の援助を目的とする給付奨学金。経済的困難の発生した1回を原則とする。	給付奨学金	350,000円	1回	7名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	入試広報課	白百合女子大学外国語課程内閣に基づく奨学金	在学中	2~4年	学費支援 留学期間費用支援制度	本学が協定又は認定した学位取得者を持つ外国の大学、またはこれに相当する高等教育機関へ留学し、所定の単位を修得した学生(正規生)に奨学金を給付するもの。留学期間は留学し、1学期間以上継続し、連続して1年間留学した者には授業料の1/2相当額を給付し、連続して9ヶ月以上1年未満留学した者には授業料の1/4相当額を給付する。	給付奨学金	※留学期間により異なる 留学期間が1年未満の場合： 授業料の1/2の額 留学期間が9ヶ月以上1年未満の場合： 授業料の1/4の額	1回	制限なし	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	入試広報課	被災者支援特別措置	在学中	全年次	被災者資金支援	大規模自然災害により被災した学生に対する制度。以下のすべてにあてはまる者を対象とする。 (1)本市の正規課程の在籍生(災害援入学生を含む)であること (2)家計支持者が対象の災害に係る災害救助法適用地域に居住し被災したこと (3)災害状況(家計支持者が所有する自宅家屋等への罹災等)を証明できること	免除・減免	授業料、施設設備費、維持費および入学金(入学者)の半額~全額免除	1回	制限なし	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	入試広報課	白百合女子大学同窓会特別奨学金	在学中	2~4年	特待生・成績優秀者	本学に在学する2年生以上の学部生であり、学業成績、人物ともに優秀であること。	給付奨学金	150,000円	1回	20名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
成蹊大学	学生部	成蹊大学地方出身学生予約型奨学金(成蹊大学吉祥寺プリ リアント奨学金)	その他	出願前(第1回:6月~7月、第2回:11月~12 月、第3回:1月)	学費支援 用途を定めない経済的支援	-AOMアルプス入学試験、一般選抜の入学試験を奨励する者 -学業成績・人物ともに優秀であり、学費の援助を必要とする地方出身者(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外が対象)	給付奨学金	-年間45万円	4年間(※2年次以降は継続審査あり)	300名(採用候補者数)	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部	成蹊大学給付奨学金	在学中	1年次生~4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	-全学部1年次生~4年次生対象 -学業成績・人物ともに優秀であり、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	-年間30万円	1年間	1年次生:50名 2年次生以上:100名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部	視野奨学金	在学中	2年次生~4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	-全学部2年次生以上対象 -学業成績、人物ともに優秀であり、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	-年間9万円	1年間	10名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部	原野美奨学金	在学中	2年次生~4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	-主として電気、原子力関係等を専攻する理工学部2年次生~4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	-年間12万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部	清水建設奨学金	その他	学制推薦制のため、申請不要	特待生・成績優秀者	-全学部3年次生、4年次生対象 -前年度の学業成績、人物ともに極めて優秀であり、奨学金を給付することにより、学業の進捗を期待することができる者。学部推薦による。	給付奨学金	-20万円	1年間	28名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生部	成蹊大学入学試験特別奨学金	その他	3方式に合格した方全員が対象となる。対象 者には大学から必要書類を送付予定。	学費支援 用途を定めない経済的支援	-一般選抜の入学試験(5方式)合格者全員が対象	給付奨学金	-授業料の2分の1の額	1年間	3方式合格者全員	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生部	成蹊大学学業成績優秀者奨励奨学金	その他	学制推薦制のため、申請不要	特待生・成績優秀者	-全学部2年次生~4年次生の学業成績上位者が対象	給付奨学金	-年間10万円	1年間	120名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	
	学生部	成蹊大学社会人入学奨励奨学金	その他	3年次生~4年次生(該当者には大学から通 知予定)	学費支援 用途を定めない経済的支援	-AOMアルプス入試社会人特別選抜に合格した全学部2年次生~4年次生対象 -前年度の学業成績・人物ともに優秀であり、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	-年間30万円	1年間	15名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部	成蹊会育英奨学金(貸与)	在学中	2年次生~4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	-全学部2年次生~4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な者	貸与奨学金	-月額5万円(地方出身者に対して月額3万円を給付する生活支援制度あり)	最大3年間	15名	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可	
	学生部	成蹊会育英奨学金(給付)	在学中	2年次生~4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	-全学部2年次生~4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	-月額4万円	最大3年間	10名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有りで併用可	
学生部	大規模自然災害被災における給付金減免	在学中	1年次生~4年次生	入学金・授業料減免 被災者資金支援	-本学在学期間中に発生した災害により、保証人の居住地が災害救助法の適用を受け、当該被災により経済上教学が著しく困難になった本 学部生等のうち、次のいずれかの条件に該当している者 ①次のいずれかの条件に該当する者 -罹災証明書において、保証人の居住する家屋が半壊、中壊程度、大規模半壊又は全壊と記載がある場合 -仮入居する経緯等において、保証人が暫くの間入居を要する緊急避難 -警戒区域に保証人の居住する家屋があり、避難所又は他の地域での生活を余儀なくされている場合 ②罹災証明書において、保証人の居住する家屋の一部が被災又は半壊と記載がある場合	免除・減免	①給付金全額減免 ②給付金2分の1の額を減免	①当該学期限り、ただし、保証人のその他の 経済及び状況を改めて確認し、半期に限り減 免人数制限なし ②人数制限なし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可			
成城大学	入学センター	成城大学応急奨学金	在学中	前期:6月上旬 後期:11月上旬	学費支援 入学金・授業料減免	成城大学の学部2年次に在籍し、家計の急変により学業の継続が困難となった者。	免除・減免	申請年度授業料の半額相当額	申請年度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	入学センター	成城大学奨励奨学金	在学中	11月上旬	学費支援 入学金・授業料減免	成城大学の学部2年次に在籍し、経済的理由により修学に困難がある者。	免除・減免	申請年度授業料の半額相当額	申請年度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	入学センター	成城大学学業成績優秀者奨励奨学金	在学中	新規種入前に対して12月頃に案内	その他	成城大学の学部、大学院に在籍し、経済的理由により、成城大学の提携教育ローンを利用し、授業料その他の納納金または大学で単位修 得を認める短期給付奨励修業費等を収めた者。	給付奨学金	在学中に支払った利息(年利率5%)を減免	修業年限に相当する年数上限として年1回 給付	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	入学センター	大規模自然災害被災者への特別措置	その他	選考委員会による特別措置対象者の認定後	学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援	成城大学の新生(入学志願者および入学試験合格者)はくは学部、大学院に在籍し、その授業料等負担者が、日本国内の大規模な災害 及びその他の災害等により被災し、経済的に入学又は学業の継続が困難となった者。	免除・減免	学校法人成城学園が決定した特別措置の内容による。	学制法人成城学園が決定した特別措置の内 容による。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	入学センター	成城大学準特待奨学金(在学特待生)	その他	大学が対象者を決定	学費支援 入学金・授業料減免	成城大学の2年次以上に在籍する学生(大学院生を除く)であり、人物・学業共に優秀な者。	免除・減免	特待生となった年度の授業料の全額または一部に相当する額	選出された年度	72名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
聖心女子大学	学生生活課	聖心女子大学奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援	学部又は大学院に在学し、家計の都合その他の理由により、授業料の納入が困難と認められる者。	貸与奨学金	授業料等の全額もしくはその一部とする。但し、特設の事由が認められる場合は、 予算の範囲内で授業料等の2倍を限度として貸与	1年間	学部の学生は40名以内、大学院の学生は1 5人以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用可	
	学生生活課	聖心女子大学奨励基金奨学支援奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学部1~4年次(外国人留学生を除く)に在学し、経済的な支援が必要と判断される者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	5名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
	学生生活課	聖心女子大学奨励基金奨学	在学中	2年生	特待生・成績優秀者	学部2年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	3名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	条件有りで併用可	
	学生生活課	聖心女子大学特別奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者	学部3年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	3名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	条件有りで併用可	
	学生生活課	大規模自然災害及び感染症等の影響に關わる学費減免	在学中	1年生~4年生	学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援	本学の学部又は大学院に在学し、大規模自然災害や感染症等の影響で家計が急変した者のうち、大学に認められた者。	免除・減免	当該年度の学費相当額以内の額	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	学生部 学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	学生生活課	一般選抜(教科方式)成績優秀者奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般選抜(3教科方式)の入学試験の成績が特に優秀な者。	給付奨学金	授業料の一部または全部	4年間 ※1年毎成績などの審査あり	授業料全額の者は毎年度10名以内、授業 料一部の者は毎年度50名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課 / 学生部 入試課	条件有りで併用可	併用不可	
	学生生活課	エリザベス・ブリッジ基金奨学金(同窓会給付)	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	学部2~4年次(新編入生・外国人留学生を除く)に在学し、成績優秀で、経済的な支援が必要と判断される者。	給付奨学金	授業料全額	1年間	2名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
	学生生活課	恵代会特別奨学金(同窓会給付)	在学中	4年生	特待生・成績優秀者	学部4年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	30万円	1年間	3名	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
学生生活課	聖心女子大学奨励基金留學支援奨学金	在学中	2年生~4年生	留學費用支援制度	学部2~4年次に在学し、本学規定による特定の留學許可を得た者。	給付奨学金	当該留學に係る旅費(往復)及び滞在費の一部	留學渡航前に1回に全額支給	若干名	地域の制限なし	学生部 国際連携課	併用可	併用可		
清泉女子大学	学生課	清泉女子大学奨学金	入学後		学費支援	1~4年生・経済的にその必要ありと認められ、向学心を有する者に対しての貸与。	貸与奨学金	授業料の全額又は半額。	1年間	授業料全額20名/半額6名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	視覚協力会奨学金	入学後		学費支援	1~4年生・経済的にその必要ありと認められ、向学心を有する者に対しての貸与。	貸与奨学金	授業料の全額。	年度ごと	7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	養育奨学金	入学後		学費支援	1~4年生・経済的にその必要ありと認められ、向学心を有する者に対しての貸与。	貸与奨学金	授業料の全額	年度ごと	春季20名/秋季7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	顕英会奨学金	在学中	4年	学費支援	4年生・経済的にその必要ありと認められ、その卒業が促されるもの。	貸与奨学金	当該年度の授業料未納額の範囲内	4年次	4名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	エルネステ・ラマロ記念奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	人物・向学心にすぐれ、経済的にその必要ありと認められる者に対して給付。	給付奨学金	授業料の範囲内(300000円)	年度ごと	5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	中島太郎教授記念奨学金	在学中	3年次	資格取得支援制度	教職課程を履修している学生で、強く教職につくことを希望し、学業品行ともに優れたもので、経済的に必要ありと認められる者に対して給 付	給付奨学金	教職課程履修費	3年次	5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	国際交流基金国際留學生奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 留學費用支援制度	海外留學制度に基づき海外大学に留學する学生で、学業成績が優秀であり、母国国際社会に寄与すると認められる者に対して給与	給付奨学金	当該大学の授業料の一部	留學時	5名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	学生課	入試特別奨学生・入試奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者	入試特別奨学生・入試奨学生として、認められた者。年1回に成績優秀の成績確認あり。	免除・減免	授業料、施設費の全額又は半額	年度ごと	20名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
学生課	興國協会会費成績優秀者表彰	在学中	3年次	特待生・成績優秀者	2年次迄の成績優秀者	給付奨学金	10万円	3年次	各学年2名合計10名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
専修大学	学生生活課	スカラシップ入試奨学生	学校出願時	特待生・成績優秀者 その他	学術奨励等	スカラシップ入試試験の成績優秀者で、本学への入学を強く希望する人物受賞者。	免除・減免	授業料相当額および施設費相当額。	原則4年間継続支給	最大100名	地域の制限なし	入学課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	学生生活課	新入生特別奨学生	その他	特待生・成績優秀者 その他	学術奨励等	外国人留学生入試試験、公募制推薦入試試験、総合型選抜の成績優秀者で、優れた実質と進学意欲に優れた者。	給付奨学金	授業料の半額相当額	原則3年間継続支給	最大16名	地域の制限なし	入学課	併用可	条件有りで使用可	
	学生生活課	新入生学術奨学生	その他	文字解はレポートと面接で選考し、採用者を決定。それ以外の学部は1年次前期の学業成績と面接で採用者を決定するため、いずれも申請が行わない。	学術奨励等	1年次生が対象。入学後、各学部において実施する試験の結果が特に優秀な者。	給付奨学金	法学部・文学部・人間科学部は30万円、それ以外の学部は15万円。	1年間	最大130名	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りで使用可	
	学生生活課	学術奨学生	その他	前年度の学業成績と面接で採用者を決定するため、申請は行わない。	学術奨励等	2,3,4年次生が対象。前年度の学業成績が特に優秀な者。	給付奨学金	30万円	2,3,4年次の当該年度1年間	最大239名	地域の制限なし	教務課	併用可	条件有りで使用可	
	学生生活課	自己啓発奨学生	随時		学術奨励等	在学中で、学術、文芸、スポーツ、自治・社会活動などに明確な目的を有し、その分野で優れた業績を達成し、さらに高い目標に挑戦する個人またはその団体。	給付奨学金	個人20万円、団体50万円を限度額として活動状況に応じて支給額を定める。採用時一括支給。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
	学生生活課	指定試験奨学生	在学中	毎年11月1日頃募集	学術奨励等	在学中で、公認会計士の指定試験、または当該試験の論文試験に合格した者。	給付奨学金	短答式試験合格者に10万円、論文式試験合格者に30万円を一括支給する。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
	学生生活課	利子補給奨学生	在学中	毎年6月、12月頃募集	学術奨励等	在学中で、進学意欲があるにもかかわらず、経済的理由により入学または修学の継続が困難なために金融機関からの教育ローンを組んでいる者。	給付奨学金	金融機関の教育ローン通商者に対して、授業料など学費を借り入れに對する当該年度の利子分の一部を一括支給する。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
	学生生活課	家計急変奨学生	その他	事由発生より3ヶ月以内に出願。ただし長期療養は6ヶ月を経過してからの出願。	学術奨励等	在学中で、進学意欲があるにもかかわらず、在学中に主たる家計支持者の死亡、失業(解雇・倒産)、長期療養(6か月以上療養)などに基づく経済的困難により、修学の継続が難しくなった者。	給付奨学金	授業料の40%相当額を一括支給する。ただし、在学中一度のみ申請可能。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
	学生生活課	災害復興奨学生	その他	事由発生より3ヶ月以内に出願。	学術奨励等	在学中で、当該学生が居住している家屋または主たる家計支持者が生活の本拠として居住している家屋その他の建築物などが火災、風水害、地震などに被災し、損害を受けたことにより経済的困窮度が高くなった者。	給付奨学金	20万円を限度額として一括支給する。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
	学生生活課	育友会奨学生	その他	分納による直近の学費の納入期限日	学術奨励等	在学中で、学費の工面について努力を行ったにもかかわらず学費の納入が困難であり、継続して在学を強く希望する者。	給付奨学金	分納による直近の学費1期分に相当する額を一括支給する。ただし、在学中一度のみ申請可能。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可
学生生活課	専修大学進学サポート奨学生	学校出願時		学術奨励等	以下の1～7の全ての条件を満たしている者。 1. 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外にある国内の高等学校および中等教育学校の出身者(通称除く)。かつ家計支持者(父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人)が上記1都5県以外に居住し(単身赴任者除く)、入学後は本学に自宅外から通学する者。 2. 日本国籍を有する者、または、永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者・子。 3. 令和7年3月卒業見込みまたは令和6年3月以降に卒業した者。 4. 讀書書の発行が受けられるまで、全体の学習成績の状況が1.5以上の者 ・中等教育学校の場合は後期課程におけるすべての教科・科目の学習成績の状況 ・普通進み者は、最終学年(学習または前期までの最終)に申請の場合は学期末までのもので可 ・定住者は、最終学年(学習または前期までの最終) 5. 令和6年度大学入試共通テスト利用入試試験(前期・後期)・一般選抜(全学・前期・後期)入試試験のいずれかで本学を受賞する者。 6. 父(母)が「最前(令和4年度)の所得証明書」記載の収入・所得金額を合計した金額が以下の者。 ・給付・卒業収入金額(課税後)800万円未満 ・その他、専業主婦世帯350万円未満 ※複数世帯の収入・所得がある場合は、合計して総合的に判断。 7. 本制度申請時点で、国の「高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構の給付奨学金)の採用候補者になっていない者。 第1回申請期間 令和6年11月上旬～下旬 第2回申請期間 令和6年12月上旬～令和7年1月上旬 いずれも当日消印有効。	給付奨学金	授業料の半額相当額4年間(1回継続支給。(毎年度、学業成績状況等により継続の可否の審査を行い、給付を取り止ることある))	原則4年間継続支給	200名	宮城県	学生生活課	併用不可	条件有りで使用可		
学生生活課	校友会奨学生	随時		学術奨励等	在学中で、経済的支援を必要とし、継続して在学を強く希望する者。	給付奨学金	20万円を上乗額とし、採用時一括支給。	1年間		制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで使用可	
大正大学	学生支援部	人材育成奨学金	在学中	1～4年生	特待生・成績優秀者 その他	学業成績及び人物ともに優秀で進学意欲があり、将来に期待できる者に対する奨学金	給付奨学金	20万円	採用時	最大88名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	グローバル奨学金(英検体験奨学金)	在学中	1～4年生	その他	大正大学グローバルプロジェクトにコア学生として参加する学生に対する奨学金	給付奨学金	上層月6万円	プロジェクト実施中		対象者に準拠	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可
	学生支援部	チャレンジ支援奨学金	在学中	1～4年生	その他	①自ら新しいことにチャレンジする意思を持ち、自己の企画の実現を通じて社会に新しい「価値」の創造を志す者 ②卒業後の進路・将来の職業と関連付け、社会や地域の活動への参加を通じて自己の成長を促進し、夢の実現を志す者	給付奨学金	上層10万円	採用時	若干名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	海外特別留学奨学金	在学中	1年生～4年生	入学・授業料減免	1～4年生の全学新生対象 「大正大学学生留学奨励」に準拠して海外留学を認定された者 ※海外留学期間中の本学における学費等については、当該納期授業料を免除するが、諸費は金額を納入するものとする。	免除・減免	留学期間の本学授業料を免除	採用時	若干名	地域の制限なし	教務部	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	海外語学研修奨励金	在学中	1年生～4年生	研修支援制度 留学費用支援制度	1～4年生の全学新生対象 ・海外語学研修選考試験に合格し研修に参加する者	給付奨学金	2万円/1名	採用時	若干名	地域の制限なし	教務部	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	大正大学授業料特別減免制度	随時		学費支援 その他	対象学年:1～4年生 学部:全学部 資格:(1)保証人(学費支給責任者)が、自然災害又は火災等の非常災害により、甚大な被害を受け経済状況が急変し学生の修学継続が困難になった場合。 (2)保証人の死亡等により、差し支障が生じ学生の修学継続が困難になった場合。 条件:給付所得者の場合、年収収入金額47万円以下 ・給付所得者以外の場合は、年間所得金額35万円以下	免除・減免	年間授業料の10～100%以内	審査により決定		審査により決定	地域の制限なし	学生支援部学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可
	学生支援部	学術文化奨励制度(アカミックコンテスト)	在学中	学部全学年	その他	学内アカデミックコンテスト受賞者に対する奨励金 (ただし、8月卒業の学生、大学院生、大学院研究生、私立短期大学生は除く)	給付奨学金	審査により決定	採用時	審査により決定	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	古本募金奨学金制度	在学中	学部4年生	研究費支援	対象:学部4年生で卒業論文、卒業研究、卒業制作を執筆、制作する者 既に卒業論文・卒業研究・卒業制作の執筆、制作を終了した者(除く) (令和9年9月卒業予定者は除く)	給付奨学金	上層2万円	採用時	若干名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	奨学生チャレンジ入試奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学業成績 入学・授業料減免	1学年100名 奨学生チャレンジ入試の成績優秀者	免除・減免	奨学生チャレンジ入試成績上位から以下の3種類の奨学金を付与(給付型)。 1～20位(20名)120万円 21～40位(20名)60万円 41～100位(60名)30万円	1年次～4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	100名 (内訳) 20名、120万円 20名、60万円 60名、30万円	地域の制限なし	学生支援部学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	学生支援部	地域戦略人材育成入試奨学金	学校出願時		入学・授業料減免	地域戦略人材育成入試の合格者	給付奨学金	50万円	1年次～4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1学年8名	地域の制限なし	学生支援部学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
大東文化大学	学生支援課	入学前予約採用奨学金(桐門の翼)	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	【条件】 「進学対象となる入試試験に出願した者」 「対象の入試試験において優秀な成績を収めた者」	免除・減免	【4年間】授業料全額免除	原則4年間 指定試験に学業成績等を含めた総合審査あり。	100名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	学生支援課	温故知新奨励金	その他	学部推薦	特待生・成績優秀者	【条件】 「学業成績が特に優秀と認められる者」 「最短期学生課内である者」 「休学中の者は対象外とする。」	給付奨学金	20万円	毎年度		各学部各学科の2年生以上の各学年あたり11名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生支援課	教育ローン利子補給金	入学後	学費支援 その他	教育ローン利子補給金	【条件】 「本学が提供する金融機関の教育ローンを利用し、学費を納入した学生(科目等履修生・奨励研修生・交流学生は除く)を対象に、在学中の利息分を給付する。」 給付対象:大学院、スポーツ奨学金のいずれかを給付されている者、休学中の者および給付申請の翌年度に1年以上の海外留学が決定している予定されている者は対象外とする。	給付奨学金	5万円以内	毎年度		80名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可
	学生支援課	特別修学支援金	随時	学費支援 その他	審判委員会による経済的支援	【条件】 「主たる家計支持者または学費支弁者が死亡・離亡・障害・倒産(自己都合不可)するが、または準しい収入の減少が認められる者」 給付奨学金(大学院)、スポーツ奨学金のいずれかを給付されている者は対象外とする。	給付奨学金	50万円	毎年度		学部生および大学院生合わせて30名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可
	学生支援課	学生災害見舞金	随時	学費支援 入学・授業料減免 給付奨学金	学費支援 給付奨学金	【条件】 「本学の学生または主たる学費支弁者が災害に罹り修学継続が困難になった者」 給付奨学金(大学院)、スポーツ奨学金、特別修学支援金のいずれかを給付されている者、奨学金留学者により海外留学中の者、休学中の者は対象外とする。	給付奨学金 免除・減免	被災状況に応じて1万円から学業成績相当額まで	毎年度		地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可	
	高千穂大学	入試広報部 入試課	学費等免除奨学金制度	随時	学費支援	1～4年生 全学部 入学後に発生した経済状況の急変により修学が困難となった学生で、所定の単位を取得している者	免除・減免	830,000円～1,100,000円(該当年度授業料・施設設備費・教育充実費)	1年間		上限なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可
入試広報部 入試課		学業成績優秀者奨学金	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 学費支援	2年生以上 全学部 前年度の学業成績、かつ人物とともにより優秀な者(学業成績については別途条件あり)	免除・減免	680,000～880,000円(該当年度授業料相当額)	1年間		上限なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可
入試広報部 入試課		小池隆之助賞	その他	申請不要	特待生・成績優秀者	2～4年生 全学部 在学生の学業成績上位で人物優良な者(学業成績については別途条件あり)	給付奨学金	50,000円	一時金		地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可	
入試広報部 入試課		海外短期・中期留学奨学金	その他	申請不要	留学費用支援制度	高千穂大学で実施している海外留学プログラムに合格した者。	給付奨学金	留学先大学の授業料	留学実施時期		各留学プログラム定員まで	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可
入試広報部 入試課		海外長期留学奨学金	その他	申請不要	留学費用支援制度	高千穂大学で実施している海外留学プログラムに合格した者	給付奨学金	留学先大学の授業料	留学実施時期		留学プログラムの定員まで	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可
入試広報部 入試課		公的資格取得支援奨学金	その他	4月・10月	資格取得支援制度	「大学が指定する前記資格を保有する者」 「所定の単位を取得済みの者」 「上位資格取得のため専門学校等の進学講座を受講し、8割以上出席した者」	給付奨学金	受講料の半額(上限10万円)	申請が承認された後一括で支給		若干名	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可
入試広報部 入試課		特待生制度	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	英語・国語(1期)、ペスト2教科、大学入試共通テスト利用(期2教科)、大学入試共通テスト利用(期3教科)の各合格者の中で、得点率80%以上の成績上位5名ずつ合計20名を特待生として認定。	免除・減免	1年次の授業料68万円(経営学部起業・事業承継コースは78万円)を、全額免除。	入学時のみ		20名	地域の制限なし	入試広報部 入試課	併用可	併用可
入試広報部 入試課		被災された方に対する入学検定料及び入学者に対する授業料に係る特別措置	学校出願時		入学・授業料減免	東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故及び、激甚災害で被災された方の経済的負担の軽減を図るため、被災者等の進学支援を促進するために、①被災状況による授業料の減免制度、②入学検定料の免除を所定としています。	免除・減免	①入学年度春学期の授業料を減免する ②入学検定料を全額免除する	①春学期 ②1回限り		①人数制限なし ②人数制限あり	教務部 総務課	併用可	併用可	
入試広報部 入試課		チャレンジ特待生制度	入学申請時		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	学校推薦型選抜(指定校制・公募制)および総合型選抜(スクーリング型1～3回/エニア試験型)の合格者の3分の5の希望者に対し、一般選抜(英語・国語書類)を受験し、得点率80%以上の成績上位5名を特待生として認定。	免除・減免	1年次の授業料68万円(経営学部起業・事業承継コースは78万円)を、全額免除。	入学時のみ		5名	地域の制限なし	入試広報部 入試課	併用可	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
拓殖大学	入学課	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者		入学試験にて特待生制度を設け、学部が定める資格の優秀者や一般選抜での成績上位合格者(得点率80%以上の者)から選抜を対象に特待生を募集	免除・減免	3,188,000円～4,000,000円※学部により免除額異なります。	4年間 ※継続審査あり	採用枠50名	地域の制限なし	入学支援センター事務部入学課	併用不可	併用不可	
	入学課	学習奨励金・学友会学習奨励金	その他		学習支援		1年から4年生の学部生対象 修学の意欲が多少にかかわらず、経済的理由により学業の継続が困難な学生	給付奨学金	年額10万円(一括支給)	1年間(1回)	年間400名(前期200名、後期200名)	地域の制限なし	学生部学生生活課	併用可	併用可	
	入学課	拓殖大学海外留学プログラム長期研修第一種奨学金及び第二種奨学金	在学中	1年生～3年生	留学費用支援制度		資格 学部2,3,4年生で、前年度に実施する当該留学制度の選抜に合格した学生 条件 TOEFL/TOEFL等の検定試験で所定スコアを取得した学生 派遣先 カナダ、豪州、米国、英国、中国、台湾、スペイン、メキシコ 期間 6か月から8か月の留学期間。	免除・減免	各校の学部相当額(金額または8割)	留学期間中1回	人数制限なし(ただし選抜選考等あり)	地域の制限なし	国際部八王子国際課	併用可	併用可	
	入学課	資格取得表彰制度	在学中	1年生～4年生	資格取得支援制度		本学指定の資格試験を取得(合格)し、申請した学部学生を対象としている。	給付奨学金	[学長賞]10万円、[学部長賞(優秀賞)]3万円、[学部長賞(努力賞)]1万円	年度末1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学長事務室	併用可	併用可	
	入学課	拓殖大学学部奨学生	その他		奨学生・成績優秀者 派遣先のない経済的支援		・高学学部奨学生(2年生以上、公募制) ① 高学部に入学した目的が明確であり、その目的達成のための勉強計画が具体的に実行され、かつ、留学奨励が認められる者 ② 学部2～3・3～4年生、合計で15名以内 ・政経学部奨学生(2年生以上、公募制) 政経学部の学生として、人物・学業成績ともに優秀な者 ※学部2～3・3～4年生、合計で15名以内 ・外国語学部奨学生(2年生以上、非公募制) 外国語学部の学生として、人物・学業成績ともに優秀な者 ※学部2～3・3～4年生、合計で15名以内 ・工学部奨学生(2年生以上、非公募制) 工学部学部の学生として、人物・学業成績ともに優秀な者 ※学部2～3・3～4年生、合計で15名以内 ・国際学部奨学生(2年生以上、非公募制) 国際学部の学生として、人物・学業成績ともに優秀な者 ※学部2～3・3～4年生、合計で15名以内	給付奨学金	各学部20万円	1年間(1回)	高学部:31名以内 政経学部:34名以内 外国語学部:18名以内 工学部:18名以内 国際学部:17名以内	地域の制限なし	学部学務課	併用可	併用可	
	入学課	拓殖大学海外留学プログラム後入研修奨学金	在学中	2年生～4年生	留学費用支援制度		履修している第2外国語の研修(語・地域への語学研修制度。 資格 学部2,3,4年生に在籍する学生 研修期間 夏期休暇期間の3週間から8週間	給付奨学金	選抜された学生には国・地域に応じて15万円から25万円の奨学金を支給	留学期間中1回	人数制限なし(ただし選抜選考等あり)	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可	
	入学課	拓殖大学海外留学プログラム交換留学奨学金	在学中	1年生～3年生	留学費用支援制度		派遣時の対象学年 学部2, 3, 4年生、大学院1,2年 資格 GPA3.0以上 条件 派遣先大学による留学要件を満たしていること 派遣先 提携校15大学	給付奨学金 免除・減免	現地校の学費相当額および生活費補助として月額4万円支給	留学期間中1回限り、生活費補助は1ヶ月あたり	人数制限なし(ただし選抜選考等あり)	地域の制限なし	国際部八王子国際課	条件有りでの併用可	条件有りでの併用可	
	入学課	奨学論文奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者		各学部(商学部・政経学部・外国語学部・工学部・国際学部)毎、学部生を対象に奨学論文の募集を行っている。	給付奨学金	商学部・政経学部:20万円 外国語学部・工学部・国際学部:10万円	年度内1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学長事務室	併用可	併用可	
	入学課	GPA表彰	在学中	2年生、4年生	特待生・成績優秀者		2年生及び4年生において、異種GPAが各学部に上位10名を対象としている。	給付奨学金	国庫カード(20000円分)	年度末1回限り	各学部2,4年生 各10名 計100名 (商学部・政経学部・外国語学部・工学部・国際学部)	地域の制限なし	学部学長事務室	併用可	併用可	
	多摩美術大学	多摩美術大学 学生部 学生課	創立80周年記念奨学金	在学中	学部2～4学年・大学院博士前期課程2学年	特待生・成績優秀者		美術学部および博士前期課程 前年度学内成績優秀者(入学年度は除く) 各学科・専攻・コースで原則1名	給付奨学金	300,000円	1年間	約30名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
多摩美術大学 学生部 学生課		学業成績優秀者奨学金	在学中	学部2～4学年・大学院博士前期課程2学年	特待生・成績優秀者		美術学部および博士前期課程 前年度学内成績優秀者(入学年度は除く) 各学科・専攻・コース、学年別	給付奨学金	200,000円	1年間	約230名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
多摩美術大学 学生部 学生課		特別優秀顕彰奨学金	在学中	学部2～4学年・大学院博士前期課程2学年	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		美術学部および博士前期課程 学内外活動等で顕著な業績をあげた者(入学年度は除く) 各学科・専攻・コースで原則1名	給付奨学金	100,000円	1年間	約30名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
多摩美術大学 学生部 学生課		交換留学生奨学金	その他	交換留学決定時	留学費用支援制度		本学から海外協定校へ交換留学する者(学部1年生は除く)	給付奨学金	200,000円		20名程度	地域の制限なし	国際交流センター	併用可		
多摩美術大学 学生部 学生課		ワークスタディ奨学金	その他	4月に説明会を実施	学習支援 用途を定めない経済的支援		経済的に修学困難な学生で、JASSO等の貸付型奨学金を貸与中もしくは申請中、またはJASSO給付奨学金を奨給中もしくは申請中であり、授業の空き時間や休学期間(計画的に一定時間以上、作業に従事できる者(博士後期課程は除く)等)に時間短縮の作業あり	給付奨学金	200,000円 (前後期2分額)	1年間※半期毎に給付	約40名	地域の制限なし	学生課	併用可		
多摩美術大学 学生部 学生課		緊急支援制度	随時		学習支援 入学費・授業料減免		・主たる養育費の滞りや給付滞りによる欠陥等 ・主たる養育費の滞りや給付滞りによる欠陥等を受けた場合 いずれの場合もJASSO等の奨学金を貸与中もしくは申請中であること ※入学後滞りや滞り発生、在学学長賞、在学優秀賞および学業奨励賞は除く) ※9月以降は、半期授業料の半額減免	免除・減免	年間授業料の半額 2023年度までの入学者 593,500円(後期～296,750円) 2024年度からの入学者 623,500円(後期～311,750円)	在学中1回のみ	20名を限度	地域の制限なし	学生課	併用不可		
多摩美術大学 学生部 学生課		激進奨励特別支援制度	随時		学習支援 入学費・授業料減免 課外活動支援		激進奨励により ・主たる養育費が滞りや滞りによる滞り発生が全額、大規模半額、半額、流失した場合 ・主たる養育費が滞りや滞りによる滞り発生が全額、大規模半額、半額、流失した場合 学費の半額～全額減免	免除・減免	[学費]の半額～全額			地域の制限なし	学生課			
多摩美術大学 学生部 学生課		兄弟姉妹授業料減免制度	在学中	学部1～4学年・大学院博士前期課程1～2学年	学習支援 入学費・授業料減免		本学の正規課程に同時に兄弟姉妹が在籍する場合 (一方が休学・留校した場合および休学延長者は除く) それぞれ年間授業料の20%減免	免除・減免	年間授業料の20% 2023年度までの入学者 237,400円 2024年度からの入学者 249,400円	1年間	約50名	地域の制限なし	学生課	併用不可		
多摩美術大学 学生部 学生課		短期語学学習プログラム奨学金	その他	プログラム採用時	留学費用支援制度		美術学部1～3学年、大学院修士1学年	給付奨学金	100,000円			10名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
津田塾大学	学生生活課/国際センター	橋子スカラシップ(学業)	その他	学科から推薦	特待生・成績優秀者 その他	上記回答の中の「特待生」は除外	-2年生以上 -学力・人柄に優れている者	給付奨学金	100,000円	1年間11度	約20名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	学生生活課/国際センター	Atsuko Onda Craft & Yasuko Onda Chikada Scholarship	在学中	学部生	特待生・成績優秀者 学費支援 その他	上記回答の中の「特待生」は除外	①学部生 ②大学院生は含まない ③学業成績優秀者 ④経済的理由により授業料の支弁が困難である者	給付奨学金	年額100万円	1年間	最大3名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	学生生活課/国際センター	海外活動奨励金	その他	出願締切:6月中旬	課外活動支援制度		-団体が6名以上の津田塾大学生により構成されている -団体の活動実績が1年以上ある(或いは新規サークル立ち上げ)		給付奨学金		①1年間 ②1回限り	団体数制限なし	地域の制限なし			
	学生生活課/国際センター	津田カレッジローンA	学校出願時		学費支援		-学力が優秀でありながら、経済的理由で修学が困難な学生 -短期、日本学生支援機構奨学金の推薦に選ばれた者	貸与奨学金	授業料相当額				地域の制限なし			
	学生生活課/国際センター	津田カレッジローンB	学校出願時		学費支援		-日本学生支援機構奨学金の推薦に選ばれた者	貸与奨学金	30万円				地域の制限なし			
	学生生活課/国際センター	津田スプリット	その他	学校出願前	学費支援 その他	上記回答の中の「特待生」は除外	【申請資格】 以下の1~4の条件、すべてを満たす必要があります。 1.2024年度一般入学試験(小・中方式)で津田塾大学を受験する者。 ※推薦の方式を併用する場合は、申請は一度で構いません。 ※医学部・総合教育学部、両学部を併願する場合でも申請は一度で構いません。 ※他大学の併願は可能です。 2.都道府県(東京都・神奈川県・埼玉県)以外に設置された通信制を除く国内高等学校もしくは中等教育学校の出身者。(通信制高等学校出身者および卒業認定の者も、(動員以外居住者)上記の学校を2024年3月卒業込みの者または2023年3月以降に卒業した者 (高校卒業生は2024年4月1日以後生まれの者) 3.令和5年度所得証明書(令和5年度の収入・所得がわかるもの)に記載の収入・所得を父(母がいない場合は代わって家計を支えている人)を合算した金額が、以下の者 1)給付所得の場合→所得証明書等における収入金額(控除前) 650万円未満 2)給付以外の場合→所得証明書等における所得金額 260万円未満 ※上記2)双方の収入・所得がある場合は、合算して総合的に判断します。 ※上記金額は目安となります。 4.日本国籍を有する者、特別永住者又は永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者・子	給付奨学金	60万円/年間	1年間11度	上限30名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	学生生活課/国際センター	緊急時対応奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		① 親計維持者が会社の制度・解雇等により失職した場合(定年退職、自己都合退職を除く)。 ② 親計維持者が死亡または長期入院した場合。 ③ 親計維持者が病倒した場合。 ④ 病気、事故その他の事情による急激な支出の増大もしくは収入の減少が生じた場合。 ⑤ 火災、洪水等、震災等の災害により、住居・自動車、家具等が被害を受け、被災者またはこれらの災害に準ずる被害を受けたことによる急激な支出の増大もしくは収入の減少が生じた場合。	給付奨学金 貸与奨学金	40万円、ただし、350万円を給付奨学金、20万円を貸与奨学金とする。		①1年間 ②1回限り	人数制限なし	地域の制限なし		併用可	併用可
	学生生活課/国際センター	海外留学(派遣・受入)奨学金	その他	派遣:5~6月および11~12月 受入:入学許可書発行後、留学開始前	留学費用支援制度		派遣: -学部2年生以上で留学期間が1年以上の本学学生(学部生・大学院生) 受入: -大学協定校からの受入交換留学生 なお、派遣、受入ともに、JASSO給付型奨学金(海外留学支援制度)との併給不可、他の留学のための奨学金(月額万円以上)との併給不可 ※受入は2024年度については、応募可能なJASSO給付型奨学金(海外留学支援制度)なし。	給付奨学金	50万円/人を上限とする。		派遣生→一時金 受入生→支給合計金額を月割りにして支給。 支給(=留学)期間は1年もしくは半期のいずれか。		地域の制限なし	国際センター事務局	併用不可	条件有りて併用可
	学生生活課/国際センター	海外活動奨励金	在学中	5~6月および11~12月	課外活動支援制度		●対象学年:前期募集は1~4年生を対象、後期募集は1~3年生を対象 ●対象学部:全学部 ●条件:長期休暇期間中に海外でのボランティア活動(フィールドワーク、インターシップ等)へ参加する本学学生 ●注釈:在学中の受給は1回のみ。1年生優先枠あり。 ※応募プログラムや応募に関する資格は、募集要項にて確認のこと。 なお、本学の学生が行う海外活動については、応募対象となるJASSO給付型奨学金(海外留学支援制度)は無い。従い、下記「質問(13) JASSO給付型奨学金対象校」では、「併給不可」を選択している。	給付奨学金	6万円/回を上限とする。		一時金。	年間を通しての募集人数は50名としているが、予算状況による。	地域の制限なし	国際センター事務局	併用不可	併用不可
	学生生活課/国際センター	海外語学研修奨学金	在学中	5~6月および11~12月	研修支援制度		●対象学年:前期募集は2~4年生を対象、後期募集は1~3年生を対象 ●対象学部:全学部 ●資格:長期休暇期間中に海外での短期語学研修等へ参加する本学学生 ●注釈:在学中の受給は1回のみ。 対象言語や、その他対象となるプログラムの条件は、募集要項にて確認のこと。 なお、海外語学研修については、本学主催の1プログラムを除き、応募可能なJASSO給付型奨学金(海外留学支援制度)はない。上記1プログラムに限り、本奨学金とJASSO給付型奨学金との併給は不可となる。従い、下記「質問(13) JASSO給付型奨学金対象校」では、「併給不可」を選択している。	給付奨学金	6万円/回を上限とする。		一時金。	年間を通しての募集人数は60名としているが、予算状況による。	地域の制限なし	国際センター事務局	併用不可	併用不可
	学生生活課/国際センター	開発途上国奨学金	在学中	5~6月	研究費支援		●対象学年:全学年における学部生・大学院生 ●対象学部:全学部 ●資格:開発途上国の人々の生活向上および「well-being」のための活動・研究・プロジェクトに参加する本学学生 ●条件:開校後、毎年1万円を4年間で返還すること。 なお、本奨学金の対象となる活動を本学が、応募可能なJASSO給付型奨学金(海外留学支援制度)はない。従い、下記「質問(13) JASSO給付型奨学金対象校」では、「併給不可」を選択している。	貸与奨学金	20万円		一時金。	毎年1名を募集人数としている。	地域の制限なし	国際センター事務局	併用不可	併用可
	学生生活課/国際センター	一時貸付金	在学中	1年生~4年生	用途を定めない経済的支援		-1か月以内に返還	貸与奨学金	上限3万円/回(一時金)				地域の制限なし			
	学生生活課/国際センター	卒業生の寄付による派遣留学奨学金	在学中	6~12月	留学費用支援制度			●対象学年:学部2年生以上および大学院生 ●海外の学位授与機関への留学を計画している、もしくは海外の学位授与機関からの入学許可をとり、次年度の新学期までに留学を開始できる本学学生	給付奨学金	100万円/人を上限とする。		一時金。	若干名	地域の制限なし	国際センター事務局	条件有りて併用可
学生生活課/国際センター	経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の授業料減免措置	その他	毎年度ごとに申請(毎年5月上旬頃を申請締切とする)	その他	授業料減免	津田塾大学及び津田塾大学大学院の正規の課程(以下「本学の正規課程」という。)に在学中、かつ、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」の在留資格(年度途中に、「家族滞在」等から「留学」に変更する者を含む。)を有する者とし、国費外国人留学生制度に定める国費外国留学生及び外国政府の派遣する留学生以外の者を対象とする。 ただし、 -当該学生の修業年限を上限とする。 -休学期間は修業年限中の学費減免措置を適用し、本規程を重複して適用しないものとする。 授業料減免を申し出る学生は、本学が定める申請書類を期日までに提出する。 本人の経済的理由(所定の経済的條件を満たすこと)に加え、学業成績並びに学問研究への熱意等を考慮して選考を行う。 詳細は募集要項にて確認のこと。	免除・減免	授業料の半額を減免する。			申請が認められた当該年度について減免を行う(申請は年度ごとに行う)。	人数制限なし。	地域の制限なし	国際センター事務局	条件有りて併用可	条件有りて併用可
学生生活課/国際センター	バイオニア・スカラシップ	在学中		学部2年生以上、大学院生	留学費用支援制度		(1)本学学部2年生以上または大学院生(交換留学生、科目等履修生、研究生を除く)で、海外の学士以上の学位授与機関へ1学期以上の留学をする者 (2)学業成績に優れ、行動力、創造性、発信力等の卓越した力を持つ者 (3)出身年度及びそれ以前に本学学生生活支援課に定める推薦状を受けしていない者 (4)留学に際しては、原則として「留学期」後本学に帰国し、本学の卒業まで、学位を取得する者 (5)海外の学位授与機関から入学許可を得ており、かつ海外における実証的な活動(インターンシップ、ボランティアなど)を計画している者	給付奨学金	上限20万円/人		一時金	年度につき2名程度	地域の制限なし	国際センター事務局	併用不可	条件有りて併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
帝京大学	本学	奨学金特待生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学・授業料免除		対象学年：法学部・文学部・外国語学部・教育学部・理工学部・福岡歯学部 ※進学奨励 奨学金特待生選抜を受験し、奨学金特待として入学を認められた者 -募集人数 100名	免除・減免	-入学金全額免除 -前期4年間の授業料・施設拡充費・実験実習費全額免除 ※2年次以降、毎年継続審査を実施	-前期4年間の授業料・施設拡充費・実験実習費全額免除 ※2年次以降、毎年継続審査を実施	100名	地域の制限なし					
	本学	"自分流"奨学金	在学中	1~4年次(夏・真・1~4年次)	特待生・成績優秀者 学費支援	入学後定数が変更し、経済的に修学が困難となった、医・薬・経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術・福岡歯学部生、海外からの留学生は対象外。	免除・減免	10万円減免。	1年間		地域の制限なし					
	本学	後援会奨学金	在学中	1~4年次	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	家計が急変し経済的に修学が困難となった経済・法・文・外国語・教育・理工(データサイエンス学科・情報科学科通信教育課程を除く)・医療技術学部(スポーツ医療学科健康スポーツコース・トピアスコース・薬造製薬学科)の学部生。	給付奨学金	経済(経済学科・国際経済学科・経営学科・観光経営学科)・法・文・外国語・教育・医療技術学部(スポーツ医療学科健康スポーツコース・トピアスコース)は30万円以内。 経済(地域経済学科)・理工(データサイエンス学科・情報科学科通信教育課程を除く)・医療技術学部(薬造製薬学科)は40万円以内。	1年間		地域の制限なし					
	本学	帝京大学医療部海外臨床実習奨学金	在学中	3年次	留学費用支援制度	医学部6年次(選考は25年次)で選択制臨床実習において海外臨床実習の派遣が決定した者。	給付奨学金	海外臨床実習にかかる費用(旅費、宿泊費、実習参加費等)を実習終了後に最大20万円支給。	6年次	3名	地域の制限なし					
	本学	帝京大学成績優秀者奨学金制度 第一種奨学生	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者 学費支援	2年次以降の医・経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術・福岡歯学部生で成績上位者。	免除・減免	学納金額のうち20万円減免	1年間			地域の制限なし				
	本学	帝京大学成績優秀者奨学金制度 第二種奨学生	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者 学費支援	2年次以降の経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術学部(スポーツ医療学科健康スポーツコース・トピアスコース)生で成績上位者。	免除・減免	学納金額のうち10万円減免。	1年間			地域の制限なし				
	本学	帝京大学入学金返還制度(兄弟姉妹)	入学後		入学金・授業料免除	兄弟姉妹に帝京大学の学部在学を待つ入学者で、医・経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術・福岡歯学部生。ただし、入学者と入れ替わりで在学が卒業する場合は対象としない。 兄弟姉妹が同一年度に入学する場合は、1名分の入学金を返還の対象となる。	その他	納入済入学金を全額返還。				地域の制限なし				
	本学	資格取得支援制度	随時		資格取得支援制度	全学部対象。在学中に対象となる資格を取得した者。	給付奨学金	資格により異なる。				地域の制限なし				
	本学	帝京大学地域医療連携推進奨学金	在学中	1年次後期	学費支援 就職支援	医学部が対象。 ①~③の条件を兼ね備える者(出身地不問) ①福島県、千葉県、茨城県、群馬県、新潟県(本学と連携している病院勤務)の医師特待生申請し、本学を卒業後、自身が指定する医療機関に指定された期間を勤務する意思のある者。または帝京大学医学部附属病院に指定された期間、勤務する意思のある者。 ②実業学校(私立中等教育学校を2020年度に卒業した者。若しくは2021年度卒業見込みの者。 ③成績優秀にして、かつ心身健全である者。 入学後の学業成績、出席、出席書類などを総合して1年次後期に選考する。	貸与奨学金	初年度・入学金全額、授業料半額、医学教育特待初年度納入金の合計額相当 2年次以降・入学時の授業料半額、医学教育特待費相当年度納入金の合計額相当	学期に定める正規の在学期間の範囲(6年)	4名程度		地域の制限なし				
	本学	帝京大学公衆衛生学研究医養成奨学金	在学中		研究費支援 就職支援	医学部が対象。 本学医学部・大学院医学研究科一貫プログラムによる公衆衛生学研究医養成コースに専修し、コースとして設定した専攻科目に専攻し、本学を卒業後、自身が指定する医療機関に指定された期間を勤務する意思のある者。または帝京大学医学部附属病院に指定された期間、勤務する意思のある者。 ②実業学校(私立中等教育学校を2020年度に卒業した者。若しくは2021年度卒業見込みの者。 ③成績優秀にして、かつ心身健全である者。 入学後の学業成績、出席、出席書類などを総合して1年次後期に選考する。	貸与奨学金	貸付額：1年~3年次(月額5万円)・4年~6年次(月額10万円)・大学院博士課程4年制(月額5万円)・初期臨床研修2年間(月額10万円)			地域の制限なし					
	本学	帝京大学入学金返還制度(卒業生子女)	入学後		入学金・授業料免除	両親のいずれかに帝京大学の卒業生を持つ医・経済・法・文・外国語・教育・理工・医療技術・福岡歯学部生入学者。なお、両親とは入学後の親や身元または養父母を指す。本学以外の大学等を卒業し本学大学院を修了した者、本学グループ内の他の大学・短期大学・専門学校または職業学校などを卒業したものは対象外。	その他	納入済入学金を全額返還				地域の制限なし				
	本学	キャリアアップ奨学金(八王子キャンパス)	随時		資格取得支援制度	経済学部(経済学科・国際経済学科・経営学科・観光経営学科)・法学部・文学部・外国語学部・教育学部・医療技術学部(スポーツ医療学科健康スポーツコース、トピアスコース)	給付奨学金	該当資格および奨学金支給額以下のとおり 「日商簿記検定(2級)」2,850円 MSIT「マイコン・システム・エンジニア」5,000円/名 Word/Excel/PowerPoint				地域の制限なし				
本学	帝京大学ちば総合医療センター看護学生奨学金	在学中		用途を定めない経済的支援 就職支援	医療技術学部看護学科、福岡歯学部歯学部が対象。 卒業後、帝京大学ちば総合医療センター看護科、勤務先に勤務する者。	貸与奨学金	貸付額：月額3万円 ※本学卒業後、看護科、助産科の免許を取得し、奨学金の貸付を受けた期間、帝京大学ちば総合医療センターに勤務した場合、返還を免除。	学期に定める正規の在学期間(1年次から4年次)			千葉県					
東京家政大学	東京家政大学学生支援課	長期留学生に対する授業料免除	在学中	1~4年生	入学金・授業料免除	対象学年：1~4年 学部：全学部 資格・条件：本学主催の6か月以上の長期留学に参加する学生	免除・減免	6か月は半期分の授業料、10か月は1年分の授業料	留学期間以降		制限なし	グローバル教育センター	併用可	併用可		
	東京家政大学学生支援課	在学生特待生奨学金	在学中	2~4年生	特待生・成績優秀者 学費支援	2年生以上の学生であり、学業・人物に優れた者。一度選出された奨学生であっても、次年度以降の選考を続ける。	給付奨学金	後期授業料分	採用年次の後期授業料1回		各学科・科により異なる(1~3名)	学生支援課	併用可	併用可		
	東京家政大学学生支援課	課外学習奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学年・学部は問わない 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給		2名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可	
	東京家政大学学生支援課	通学奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学年・学部は問わない 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			2名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	木曾山奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学年・学部は問わない 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			2名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	土居奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学年・学部は問わない 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			2名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	横口奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学年・学部は問わない 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			2名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	緑谷会奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	各学科から1名 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			18名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	後援会奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	各学年・学科・専攻ごとに1名 学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	12万円	一括支給			64名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可
	東京家政大学学生支援課	石川梅子(心)奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	服飾美術学科の学生1名各5名 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	5万円	一括支給			6名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	霞野奨学金	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	家政学部栄養学科及び栄養学部栄養学科・管理栄養学科より1名 就学に十分耐えうると思われる健康状態にある者のうち、学業・人物ともに優秀で奨学金支援が必要であると認められる者	給付奨学金	5万円	一括支給			1名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	中地・阿部奨学金	在学中	3年生	その他	図書カード2万円	図書カード2万円	図書カード2万円	一括支給			4名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可
	東京家政大学学生支援課	140周年記念・中里善子奨学金	在学中	2年生~3年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	服飾美術学科、3年生より2名 看護学科、1~4年次生より2名、子ども支援学科2、3年生より各1名 学業・人物ともに優秀で、「自主自律」を具現化する強い意志を併せ持つ者	給付奨学金	12万円	一括支給			5名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	東京家政大学学生支援課	藤井愛子奨学金	在学中	1年生~4年生	入学金・授業料免除	学年・学部は問わない 成績基準を満たす者 経済的理由により修学が困難かつ、給付支援が必要であると認められる者	免除・減免	後期授業料より24万円減免	採用年次の後期		25名	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	東京家政大学学生支援課	緑谷会・学生支援奨学金	在学中	1年生~4年生	入学金・授業料免除	学年・学部は問わない 経済的理由により修学が困難かつ、家計・学業・人物基準の条件により選考	免除・減免	年間授業料及び年間施設設備充実費の半額	採用年次の後期		年間30名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	東京家政大学学生支援課	後援会ドリームプラン奨学金	在学中	1~4年生	課外活動支援制度	社会的に有意義でオリジナリティにあふれるユニークな計画を持つ個人またはグループに対して、資金の一部または全額を奨学金として給付	給付奨学金	1つの計画につき上限30万円とし、在学中一回まで支給可能とする	一括支給			応募者の人数やプランによる	後援会事務局	併用可	併用可	
	東京家政大学学生支援課	予約給付型奨学金(名称検討中)	その他	出願前(奨学金申請受付期間、9/10~9/30)	特待生・成績優秀者		【学年】全学年(毎年継続可否を要す) 【学部】全学科・科 【資格・条件】 ①本学を第一志望として、知識・技能総合入試を受験し、2025年4月に本学に入学する者 ②入学後に幅広く学業に励み、所定の結果を修める者 ③入学後に本学の授業以外の課外活動および学内のイベントなどの活動に積極的に貢献する意思のある者。	給付奨学金	年間40万円(大学は4年間継続で160万円、短期大学部は2年間継続で80万円)	大学4年間、短期大学部：2年間(毎年継続可否を要す)	28名(大学24名、短期大学部2名)	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	(4)「その他の具体的な内容」	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
東京経済大学	広報課(学生課)	東京経済大学奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援	2年次以上で人物・学業ともに優れ、かつ、学費の支弁が困難な学生。 2年次:60単位以上(前年度に同等以上の単位数) GPA選算2.20以上 3年次:70単位以上、GPA選算2.20以上 4年次:105単位以上、GPA選算2.20以上	給付奨学金	月額30,000円(年間36万円)	1年間	最大106名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで併用可		
	広報課(学生課)	東京経済大学英友会大学奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援	2年次以上で人物・学業ともに優れ、かつ、学費の支弁が困難な学生。 大学の指定領域で学業成績が優秀な学生(学部等学生及び大学院生(休学中の学生を除く。)) 本学入学者にTOEIC®Pテスト・公開テスト等を奨励し、スコアの提示ができる者。 2年次:60単位以上(前年度に同等以上の単位数) GPA選算2.20以上 3年次:70単位以上、GPA選算2.20以上 4年次:105単位以上、GPA選算2.20以上	給付奨学金	月額35,000円(年間42万円)	1年間	9名	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有りで併用可		
	広報課(学生課)	TKU選一賞	入学後			-学芸部門:学術論文や文芸作品等を作成する本学に在学する学部等学生(大学院および休学中の学生を除く) -運動部等部門:本学の指定領域に在籍した本学の学部等学生及び大学院生(休学中の学生を除く。) -課外活動部門:体育会・文化会・その他の学生活動で活躍し本学に在学する学部等学生及び大学院生(団体を含む。休学中の学生を除く。) -ゼミ外活動部門:本学のゼミナールに所属し活動する本学の学部学生(休学中の学生を除く。)	給付奨学金	学芸部門:特賞100,000円～奨励賞5,000円(図書券ード) 資格取得部門:100,000円～3,000円(図書券ード) 課外活動部門:体育会・文化会・その他それぞれ、最優秀団体賞 300,000円以内 優秀個人賞 100,000円以内 ゼミ外活動部門:最優秀団体賞(優秀団体賞) 300,000円以内 最優秀個人賞(優秀個人賞) 150,000円以内	詳細は7月頃に掲載される募集要項に記載	詳細は7月頃に掲載される募集要項に記載	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	広報課(学生課)	安城(あんじょう)記念奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 その他	公務員試験合格や大学院進学支援	各種の国家試験・難関資格等に挑戦する。進取の気持を持つ。学業成績優秀な学生(新入生を除く)。 順位は基準は、2年次48単位以上、3年次75単位以上、4年次105単位以上。 -公務員試験:「GPA」評議が、応募時に全学年選算「2.3」以上であること。次のいずれかに該当する者。公務員士試験の指定試験に合格した者。または日商簿記検定試験1級に合格した者。 -税理士試験:「GPA」評議が、応募時に全学年選算「2.3」以上であること。次のいずれかに該当する者。税理士試験科目の一部に合格した者。または日商簿記検定試験1級に合格した者。 -司法試験:「GPA」評議が、応募時に全学年選算「2.3」以上であること。次のa～cいずれかに該当する者。(大学院生はののみ) a.本学キリア・サポート講座の「法学検定スタジアー」講座を受講し、3年次までに講座内で実施する模擬テストの上位10名以内または上位30名以内の成績を得た者。b.司法検定スタジアーに、正答率70%以上で在学中合格した者。c.司法書士試験、行政書士試験または宅地建物取引士に、在学中合格した者。 -司法書士試験:「GPA」評議が、応募時に全学年選算「2.3」以上であること。次のa～cいずれかに該当する者。(大学院生はののみ) a.本学キリア・サポート講座の「法学検定スタジアー」講座を受講し、3年次までに講座内で実施する模擬テストの上位10名以内または上位30名以内の成績を得た者。b.司法検定スタジアーに、正答率70%以上で在学中合格した者。c.行政書士試験または宅地建物取引士に、在学中合格した者。 -公務員試験:「GPA」評議が、応募時に全学年選算「3.0」以上であること。応募3年次以上で、公務員試験の模擬試験を受講または受講済みの者。 -大学院進学(法科大学院は除く):応募時に全学年選算「3.0」以上であること。次のいずれかに該当する者。a.学部3年生で大学院院員編入学制度を認められた者。b.学部4年生で大学院院員入試試験を受験し合格した者。	給付奨学金	奨学金採用者には、最長50万円を限度として奨学金を支給(支給金額は申請内容に応じて選考委員会が決定)。	第1次応募の決定受12月、第2次応募の決定受1月を予定	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	広報課(学生課)	入試特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 その他	授業料免除	一般選抜・共通テスト利用選抜での上位合格者(各学部等に条件あり、計200名。)、スカラシップ選抜での合格者等が対象。第2年次以降は、前年次終了時の学業成績が所定の基準を満たせば、最長4年間継続可能。	免除・減免	第1年次の授業料免除。第1年次の資格取得支援のキリア・サポート講座が無料(同時に2講座まで)。最長4年間継続可能。	最長4年間	計200名	地域の制限なし	学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	広報課(学生課)	学生緊急経済支援制度	在学中	1年生～4年生	学費支援		本入学後、災害または経済的困窮により緊急に学費の支弁が困難になった学生(事由発生から6ヶ月以内)。	給付奨学金	事由内容により学費の一部を給付(50万円、25万円、10万円)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
東京慈恵医科大学	大学事務部学事課(入試事務課)	学校法人慈恵医科大学	在学中	1年生以上	学費支援	①後援科の1年～6年の学生(若年者)。学納金(入学金・授業料・施設施設費)の全額または半額を貸与。または、修学支援新制度授業料減免額の差額を貸与。学納金(入学金・授業料・施設施設費)の全額または半額を貸与。または、修学支援新制度授業料減免額との差額を貸与。卒業後に返済義務あり。	貸与奨学金	①後援科1年生350万円または17万円。後援科2～6年生380万円または19万円。または、修学支援新制度授業料減免額との差額。②看護学部の1年～4年の学生(若年者)。学納金(入学金・授業料)の全額または半額を貸与。または、修学支援新制度授業料減免額との差額を貸与。卒業後に返済義務あり。	年度ごと申請		地域の制限なし	学事課	併用可	併用可		
	大学事務部学事課(入試事務課)	東京慈恵医科大学保健委員会助成奨学金(貸与)	在学中	医学科1年生以上	学費支援	医学科1年～6年の若年者。学費に充当するものとし、卒業までの義務あり。	貸与奨学金	50万円以上10万円単位	年度ごと申請		地域の制限なし	学事課	併用可	併用可		
	大学事務部学事課(入試事務課)	本多友彦庶民医学教育奨励基金	在学中	医学科1年生から	学費支援	医学科 在学中1回のみ。	給付奨学金	50万円	年間10名程度		地域の制限なし	学事課	併用可	併用可		
	大学事務部学事課(入試事務課)	特待生制度	在学中	1年生から	特待生・成績優秀者		免除・減免	①医学科入学者のうち入学試験の成績上位5名を特待生とし、初年度の授業料の全額を免除する。 ②医学科は2年次から3年次までの成績上位5名を特待生とし、当該年度の授業料の全額を免除する。 ③看護学科入学者のうち、入学試験の成績上位5名を特待生とし、初年度授業料の全額を免除する。 ④看護学科2年次からは前年度の成績上位2名を特待生とし、当該年度の授業料の半額を免除する。	年度ごと申請		地域の制限なし	学事課	併用可	併用可		
	大学事務部学事課(入試事務課)	慈恵医師会海外選抜実習奨学金	在学中	医学科5～6年生	留学費用支援制度	医学科 5～6年次に海外の医療施設で実習する学生10名程度に支給。	給付奨学金	海外実習先に応じた金額 KCL(英国):30万円、アジア圏:10万円、欧米:20万円			地域の制限なし	併用可	併用可			
	大学事務部学事課(入試事務課)	東京慈恵医科大学保護者会互助助成奨学金(給付)	在学中	医学科1年生から	学費支援	医学科 在学中1回のみ。	給付奨学金	50万円	年間10名程度		地域の制限なし	学事課	併用可	併用可		
東京女子大学	広報課	東京女子大学予助給付奨学金	その他	一般選抜の出願前(11月)	用途を定めない経済的支援	以下の条件をすべて満たす者 ①本学への入学希望者。一般選抜で本学を受験する者 ②日本国内の高等学校または中等教育学校(いずれも普通科)に在籍した者または卒業見込みの者 ③学業成績優秀な者 ④経済的に援助が必要なる者	給付奨学金	入学金相当額	1年間	50名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	広報課	東京女子大学給付奨学金	在学中	1～4年次	用途を定めない経済的支援	学業成績優秀であり、かつ、経済的に援助を必要とする者。支給期間は1年間。継続を希望する場合は毎年申請する。	給付奨学金	1年次20万円、2～4年次40万円	1年間	約40名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	広報課	安井てつ給付奨学金	在学中	2～4年次	用途を定めない経済的支援	東京女子大学給付奨学金に申請した2～4年次のうち、各学年最も成績が優秀な者。	給付奨学金	50万円	1年間	3名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	広報課	東京女子大学同窓会奨学金	入学後		学費支援	人物・学業成績が優秀であり、経済的理由により学業継続が困難な事情にある者(1年次)。支給期間は最長修業年限。	貸与奨学金	年間授業料相当額	最長修業年限		地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可		
	広報課	「挑戦する知性」奨学金	学校出願時		学費支援 入学・授業料減免 奨励金 留学費用支援制度 その他	入学前教育にかかる費用	給付奨学金	以下の条件をすべて満たす者 ①東京女子大学を第一志望として、他の大学は入学試験に合格し入学する者 ②中学校の推薦を受けた者(1校につき1名) ③推薦状に学業成績優秀な者 ④推薦期間は4年間だが、毎年学業成績等による継続審査を行う。都府県別の採用制度あり。	4年間	約10名	地域の制限なし	学生生活課	条件有りで併用可	併用可		
	広報課	新藤戸清通国際奨学金	在学中	2年次、3年次、4年次	学費支援 留学費用支援制度	人物・学業成績が優秀であり、本学の留学制度で、世界大学ランキング上位100位までの大学に1年間留学する者。	給付奨学金	2024年度は留学先大学授業料、滞欧費用、準備金の一部	その他(留学期間中)		若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可	
	広報課	東京女子大学国際交流奨学金	在学中	1年次、2年次、3年次、4年次	学費支援	成績・人物ともに優秀であり、外国の大学に授業料相互免除の適用を受けたい本学の留学制度で留学する者。	給付奨学金	留学期間により、半額320,000円または250,000円。オンライン留学の場合は留学期間により、半額180,000円または150,000円。	留学期間中		人数制限なし	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可	
	広報課	小林裕子留学期奨学金	在学中	1年生	特待生・成績優秀者	2年生 世界トップクラスの大学に学部留学する英語力・学力と、多様な地球市民をつなぐかけがえのない地球の持続可能な未来に貢献するという高い使命感をそなえた学生	給付奨学金	200万円	留学期間(1年間、支給開始から1年以内に限る)		3名	地域の制限なし	英語センター	併用可	併用不可	
	広報課	北村文晴留学期奨学金	在学中	1年生	特待生・成績優秀者	2年生 世界トップクラスの大学に学部留学する英語力・学力と、多様な地球市民をつなぐかけがえのない地球の持続可能な未来に貢献するという高い使命感をそなえた学生	給付奨学金	100万円	留学期間(1年間、支給開始から1年以内に限る)		3名	地域の制限なし	英語センター	併用可	併用不可	
	広報課	東京女子大学同窓会太田給付奨学金	在学中	2～4年次	用途を定めない経済的支援	学業成績優秀であり、かつ、経済的に援助を必要とする者。支給期間は1年間。継続を希望する場合は毎年申請する。	給付奨学金	2～4年次40万円	1年間	3名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
東京女子体育大学	学生課	藤村学園音楽奨学生	入学後		学費支援	経済的支援の必要のある学生で、学業成績と学業以外の活動において、優れた貢献、実質を有し、実際に実績を積み重ねている将来有望な学生に対し、学費を支援する制度。世帯の収入総額が100万円未満	給付奨学金	3つのランク(最長20万円～最長35万円)で支給。			①年間30名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学生課	スポーツ奨学生	その他	年度末	課外活動支援制度	スポーツ活動において優秀な成績を収めた学生に対し奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する制度。	給付奨学金	A(15万円)・B(10万円)・C(5万円)の3つのランクで支給。			①年間30名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生課	藤村学園入スポーツ特別奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免 その他	施設設備費減免	建学の精神及び教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に貢献しつづける学生で、国際大会・国民体育大会・全国大会において、優秀な成績を収め、将来が期待できる学生を支援する制度。	給付奨学金 免除・減免	ランク別に以下の金額を免除する 【Aランク】(初年度)① 入学金50万円 ② 授業料78万円 ③ 施設設備費30万円 (2年次)④ 授業料10万円 【Bランク】(初年度)① 入学金30万円 ② 施設設備費30万円 【Cランク】(初年度)① 入学金30万円		①年間20名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有りで併用可	
	学生課	藤村学園スカラシップ奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援	一般選抜および共通テスト利用選抜において優秀な成績を挙げた学生に対し、奨学金として学費の一部を給付する。	給付奨学金	入学初年度授業料の半額程度			若干名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	学生課	藤村ト田奨励金	在学中	年度末	特待生・成績優秀者	学業成績その他の活動を含め、建学の精神に則り模範となる学生に対し、表彰し奨励金を授与する制度。	給付奨学金	5万円				①年間10名程度 ②人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	学生課	養育免除	学校出願時		養育制度	経済的支援の必要のある学生で、学業成績と学業以外の活動において、優れた貢献、実質を有し、実際に実績を積み重ねている将来有望な学生等に対して、学費を支援する制度。世帯の収入総額が100万円未満	免除・減免	養育36万円/1年免除			若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
東京神学大学	学生課	入学特奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	資格:本学の入学にあたって、本奨学金受給者として本学授業の認められ、対象:全学年。但し、前期は新入生・新編入生を除く。選考基準:経済的に困窮な学生で、本奨学金委員会の認められた者。条件:教職者になることなど卒業、進学、学業喪失する場合には、全額返還の義務あり。	給付奨学金	平均支給額:270,000円(2024年度実績)			入学時のみ1回。	非公表	地域の制限なし	学生課	併用可	
	学生課	一般奨学金	在学中		入学金・授業料減免	対象:全学年。但し、前期は新入生・新編入生を除く。選考基準:経済的に困窮な学生で、本奨学金委員会の認められた者。条件:教職者になることなど卒業、進学、学業喪失する場合には、全額返還の義務あり。	給付奨学金	平均支給額:130,000円(2024年度実績)			非公表	地域の制限なし	学生課	併用可		
	学生課	指定奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	対象:全学年。選考基準:経済的に困窮な学生で、本奨学金委員会の認められた者。	給付奨学金	平均支給額:年額270,000円(2024年度実績)	1年間		非公表	地域の制限なし	学生課	併用可		
	学生課	災害救助法適用地域出身学生への支援措置	随時		被災者資金支援	災害救助法適用地域出身学生	免除・減免	被災状況の審査により、減免等の支援を決定する			被災期間は当該年度	非公表	地域の制限なし	経理財務課		
東京造形大学	連絡支援課	東京造形大学一般奨学生	在学中	2～4年次	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	2年次以上で、経済的理由により学費を納入することが困難で、学業成績、人物ともに優秀であること	給付奨学金	年間授業料相当額を上限とし、その範囲内で本学が決定する			2022年度25名	地域の制限なし	学生生活課			
	連絡支援課	派遣留学期奨学金	在学中	学内推薦(2～4年次)	海外協定校へ派遣される学生	給付奨学金	20万円	留学期			2017年度7名	地域の制限なし	学生生活課			
	連絡支援課	年間優秀奨学金	在学中	学内推薦(2～4年次)	特待生・成績優秀者	2～4年次で、各学年・専攻領域において、前年度の成績が最も優秀であった学生	給付奨学金	20万円	1年間		2022年度30名	地域の制限なし	学生生活課			
	連絡支援課	緊急奨学金	在学中	4年次	学費支援 用途を定めない経済的支援	緊急事態等により学費の納入が困難になった4年次生。該当年度内に卒業に必要な単位取得が可能であること	給付奨学金	年間授業料を上限とし、その範囲内で本学が決定する	1年間		非公表	地域の制限なし	学生生活課			
	連絡支援課	外国人留学期一般奨学金	在学中	2～4年次	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	2年次以上で経済的理由により学費を納入することが困難で、学業成績、人物共に優秀であること	給付奨学金	年間授業料相当額を上限とし、その範囲内で本学が決定する。	1年間		2022年度5名	地域の制限なし	学生生活課			
	入学センター	特待生	その他		特待生・成績優秀者 入学・授業料減免 その他	毎年6月頃決定(人物・学業・成績として優秀なもの)	2～4年次	免除・減免	授業料半額	1年間		大学定員の2%未満	地域の制限なし	学生課	併用可	
入学センター	特待生	その他		一般選抜日程の時点にて決定(申請は必要なし)	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	1年次	免除・減免	授業料全額	1年間		一般選抜日程合格者の中で得点上位の者(学科入学生定員の3%)	地域の制限なし	入学センター	併用可		
入学センター	特待生	その他		大学入学共通テスト利用選抜前期4科目型の得点にて決定(申請は必要なし)	特待生・成績優秀者 入学・授業料減免	1年次	免除・減免	年間学費等相当額	1年間		大学入学共通テスト利用選抜前期4科目型合格者の中で得点上位の者(学科入学生定員の2%)	地域の制限なし	入学センター	併用可		
入学センター	私費外国人留学期奨学金	在学中	全学年	入学・授業料減免		[対象]全学年(1年生9月以降)・全学部【条件】次のいずれかに該当する場合は応募できない。1)原籍又は留年した者。2)他機関の奨学金支給月額が70,000円以上の者。3)本国からの仕送(金額)が月額30,000円を超える者。4)在留資格が「留学」ではない者。	給付奨学金	学費年額495,000円	1年間		予算に応じて決定(2024年度学生実務18名)	地域の制限なし	グローバル連携センター	条件有りで併用可	条件有りで併用可	



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
東洋大学	学生部学生支援課	東洋大学学業成績優秀者奨学金	その他	出願時ではありません。	特待生・成績優秀者	2年～4年生、学業成績及び人物ともに優秀な学生。学業成績等に基つて各学部で選考の上、6月～7月頃、対象者に通知。	給付奨学金	30万円。	採用年度1年間のみ、支給は一括。	採用人数は各学部の2年生以上の各学年に2名。ただし、学部の入学定員が10名を超えないことにより1名を追加、合計28名程度。	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学経済的困難者奨学金「エール」	在学中	7月頃に申請受付予定	学費支援	1年～4年生、修学意欲があるにもかかわらず、経済的に修学が困難な者。	給付奨学金	学部・学科に応じて10万円～25万円	採用年度1年間のみ、支給は一括。	500名程度	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用不可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学生計維持者の進退に伴う奨学金	随時		学費支援	1年～4年生、修学意欲があるにもかかわらず、生計維持者の進退に伴い生計急変に見舞われた者。	給付奨学金	1年間の授業料の半額相当額。	採用年度1年間のみ、支給は一括。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学特待奨学金	随時		特待生・成績優秀者	被災者支援	被災状況に応じて当該学期授業の1/3～全額相当額	給付奨学金	被災状況に応じて当該学期授業の1/3～全額相当額	1つの災害につき1回限り。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可
	学生部学生支援課	東洋大学生計維持者の失職に伴う奨学金	随時		その他	生計維持者の失職に伴い生計急変に見舞われた学生に対する学費支援。	給付奨学金	所属学部・学科に応じて10万円～25万円。	採用年度1年間のみ、支給は一括。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学独立自治支援奨学金	学校出願時		その他	「独立自治」支援推薦入試合格者の第2回・インビテーション(仮)の学生、学校法人東洋大学事務局等で勤務し、成績基準を充足し、人物が優良である者。	給付奨学金	入学検定免除、年間の授業料及び一般施設設備費の半額相当額を給付。	最終修業年度(4年間)、ただし、毎年、成績基準充足の書書あり。	毎年度8名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学交換留学奨学金	在学中	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度	交換留学生選考試験に合格した者、対象学年は認定留学に届出後に準じる。	給付奨学金	①1年間留学の場合：年間授業料相当額、②1学期間留学の場合：年間授業料半額相当額	①1年間留学の場合：2回(留学開始の前月および留学終了後にそれぞれ半額ずつ)、②1学期間留学の場合：1回(留学開始の前月)	交換留学生全員(東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー」・「トップ大学型」奨学金および国際学部グローバル・インベシジョン)学生を数)	地域の制限なし	国際創国際課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学認定留学奨学金	在学中	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度	認定留学生選考に合格した者、対象学年は認定留学に届出後に準じる。	給付奨学金	①1年間留学の場合：年間授業料相当額、②1学期間留学の場合：年間授業料半額相当額	①1年間留学の場合：2回(留学開始の前月および留学終了後にそれぞれ半額ずつ)、②1学期間留学の場合：1回(留学開始の前月)	認定留学生全員(東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー」・「トップ大学型」奨学金を数)	地域の制限なし	国際創国際課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学協定校語学留学奨学金	在学中	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度	協定校語学留学出願時に別に定める語学能力試験の得点を満たしている者、対象学年は協定校語学留学出願時に準じる。	給付奨学金	年間授業料の4分の1相当額	1回(留学開始の前月)	人数制限なし	地域の制限なし	国際創国際課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学海外留進学奨学金	在学中	奨学金タイプにより異なる	留学費用支援制度	チャレンジ型、アクティブ型、グローバルリーダー型、トップ大学型の4つのタイプがあり、申請時期や選考方法は異なる。出願時の過去1年～2年以内(奨学金により異なる)に所定の語学試験のいずれかを受試し、基準のスコアを取得していること。	給付奨学金	7万円～300万円	在籍期間中2回まで(単年度給付は1回まで)	奨学金タイプにより異なる	地域の制限なし	国際創国際課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	東洋大学私立外国人留学生授業料減免	入学後		入学会・授業料減免	1年～4年生の在留資格「留学」かつ所定の経済要件及び学業要件を満たした私立外国人留学生対象	免除・減免	1年次は授業料の30%、2～4年次は学業成績に応じて授業料の20%～40%。	学期ごと	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	学生部学生支援課	塩川正十郎奨学金	その他	出願性ではなく入学選抜。	特待生・成績優秀者	在留資格「留学」かつ学業成績、人物ともに傑出しており、母国の発展に寄与する有学2年生以上の私立外国人留学生。	給付奨学金	月額10万円。	1年間	各学年2名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用不可	
	学生部学生支援課	東洋大学SDGs留学生アンバサダー制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料減免 資格制度	外国人留学生オンライン利用入試試験<イプム>及び<タイプB>の合格者のうち、出願時に本制度の利用を希望し、以下の認定条件等を満たし、かつSDGs行動計画書の内容が特に優れていると認められた学生。 <認定条件> ①在留資格「留学」で入学予定の私立外国人留学生。 ②以下の実能力の基準のうちいずれかを満たす者。 ・TOEFL iBT(R) (Home Edition含む)タイプA34点以上 / タイプB39点以上 ・IELTS(TM) (Academic Module)タイプA6.5以上 / タイプB7.0以上 ・TOEFL(R) タイプA141(物品なし)かつTOEFLiBT 80点以上 / タイプA138 780点以上 ③出願書類「SDGs行動計画書」の内容が特に優れている者。	免除・減免	入学会・学部の以下の費用を減免する。 (1)入学会の費用 (2)授業料 +1年次・SDGs留進学奨学金の適用により、授業料の70%相当額 +2～4年次・SDGs留進学奨学金の適用により、授業料の60%相当額 (3)奨学金費の全額 (4)一般施設設備費の全額	1年まで3回まで更新可とする。 毎年度基準・SDGsの活動実績(年次活動報告)	年間最大10名	地域の制限なし	国際創国際課	併用不可	併用可	
	二松学舎大学	学生支援課	二松学舎奨学生	在学中	9月～10月頃	特待生・成績優秀者 学費支援	①対象学年：本学に継続して1年以上在学する学生 ②資格・条件：人物、学業成績等の総合評価が良好であり、学費の支弁が困難な学生に対し、選考により年度ごとに決定。	給付奨学金	授業料半額相当額	1年(該当年度)	最大20名	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	併用可
学生支援課		二松学舎校友会成長支援型奨学金	在学中	11月頃 1～4年生	資格取得支援制度	1～4年生 公立学校教員採用試験合格者、公務員試験合格者および父母が指定した資格取得者に対して、選考による決定	給付奨学金	支給額：資格の種類により異なる。30,000円～150,000円。	1年(当該年度)	制限なし(ただし、予算の範囲内を旨とする)	地域の制限なし	学生支援課(父母会)	併用可	併用可	
学生支援課		特待生	その他	卒業時	特待生・成績優秀者	卒業予定であり、各学科における通算GPAの成績が最優秀な学生より決定	給付奨学金	当該年度授業料相当額	4年次生	5名(各学科1名)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
学生支援課		二松学舎サービス株式会社奨学金	在学中	年度末	特待生・成績優秀者	成績優秀な学生(画対してGPAが各学年・各学科で最上位の学生)に対し、選考(画対)により年度ごとに決定	給付奨学金	当該年度授業料相当額	1年(当該年度)	各学年・各学科1名ずつ	地域の制限なし	学生支援課(二松学舎サービス)	併用可	条件有り併用可	
学生支援課		奨学生選抜付入試試験制度	入学手続き時		特待生・成績優秀者	1年次は奨学生選抜入試の成績で最上位合格者より選抜し、2年次以降は毎年度、成績による審査により継続を決定	免除・減免	当該年度の授業料および施設費を免除	資格継続期間内(単年度ごと)に審査)	各学年、最大文学部30名、国際政治経済学部20名	地域の制限なし	入試・学生支援課	併用可	条件有り併用可	
学生支援課		二松学舎協会奨学金	在学中	4年生	学費支援	画対として学部4年次生	給付奨学金	当該年度学納金(授業料および施設費)の2分の1以内の金額	1回限り	3名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
学生支援課		二松学舎賞与奨学生	在学中	外国人留学生を限らず正規課程に在籍する2年生以上	学費支援	外国人留学生を除く正規課程に在籍する2年生以上	育学奨学金	当該年度学納金(授業料及び施設費)相当額の2分の1以内	1年間(当該年度)	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
学生部学生課		日本大学特待生	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者	【全学部生対象】 学業成績・人物ともに優秀な2年次以上の学生	給付奨学金	甲種 授業料1年分相当額の40% 乙種 授業料1年分相当額の半額	1年間	甲種 72名 乙種 391名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	各学部教授課			
学生部学生課		日本大学創立130周年記念奨学金	入学後		学費支援	【全学部生対象】 第2種 経済的理由により学費等の支弁が困難であり、修学意志が堅固で優秀な資質を持っている者	給付奨学金	年額30万円	1年間	314名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	本館学生部学生課			
学生部学生課		日本大学小澤奨学金	入学後		資格取得支援制度 就職支援	【法学部・経済学部・商学部生対象】 国家試験受験希望者	給付奨学金	年額12万円	1年間	12名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	各学部学生課			
学生部学生課	日本大学オリジナル設計奨学金	入学後		就職支援	【理工学部・生産工学部・工学部生対象】 国家公務員採用総合職試験受験希望者	給付奨学金	年額20万円	1年間	6名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	各学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度	【法学部生対象】 第1種 学業成績が特に優秀であり、人物が優れている者 第2種 優秀な資質をもちながら経済的理由により学費が困難な者 第3種 学業及び人物がともに優秀で、協定校等へ正定生として海外留學し、専門的研究者を志す者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の40% 第2種 第一年生30万円、第二年生15万円 第3種 往復航空運賃(エコノミークラス)以上	1年間	第1種 12名 第2種 12名 第3種 8名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部永田奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 就職支援	【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	4名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部山岡奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 就職支援	【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	7名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部杉林奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 就職支援	【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、弁理士試験の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	7名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部枝及奨学金	入学後		学費支援	【法学部生対象】 第1種 経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 年額30万円(第二部の学生は年額16万円)	1年間	第1種 7名(うち2名は第二部の学生) (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学法学部後援委員会奨学生	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	【法学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀で、経済的な理由により学費の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の半額	1年間	第1種 20名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課				
学生部学生課	日本大学文理学部奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援	【文理学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀な者 第3種 修学意志が堅固な者で、不測の事態発生等の経済的事由により、学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 年額24万円 第3種 学費相当額を限度	1年間	第1種 54名 第3種 0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課				
学生部学生課	日本大学文理学部後援委員会奨学金	入学後		学費支援	【文理学部生対象】 経済的な理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	100名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課				
学生部学生課	日本大学文理学部枝及奨学金	入学後		学費支援	【文理学部生対象】 経済的事由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	15名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課				
学生部学生課	日本大学経済学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	【経済学部生対象】 第1種 経済的理由により修学が困難で入学時の成績が特に優秀な者 第2種 第1種奨学生であった者で経済的理由により修学が困難を引き続き学業成績が優秀な者 第4種 経済的理由により修学が困難で学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額 第2種 授業料1年分相当額の半額 第4種 年額48万円(後学期採用者は年額24万円)	1年間	第1種 0名 第2種 0名 第4種 8名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課				
学生部学生課	日本大学経済学部後援委員会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	【経済学部生対象】 後援会費を納入していること 第1種 学業及び人物が優秀で経済的理由により修学が困難な者 第2種 諸般の事情により特に支計が急変し修学が困難且つ学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第1種 年額30万円(後学期採用者は年額16万円) 第2種 年額48万円	1年間	第1種 96名 第2種 0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課				
学生部学生課	日本大学経済学部枝及奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者	【経済学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額12万円	1年間	9名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課				
学生部学生課	日本大学経済学部枝及奨学金等取得奨学金	入学後		資格取得支援制度	【経済学部生対象】 経済学部で指定した各種資格を取得した者	給付奨学金	資格ごとに設定	1年間	188名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課				
学生部学生課	日本大学商学部後援委員会奨学金	入学後		学費支援	【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	7名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課				
学生部学生課	日本大学商学部枝及奨学金	入学後		学費支援	【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課				
学生部学生課	日本大学商学部枝及奨学金	入学後		学費支援	【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額16万円または30万円	1年間	17名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課				
学生部学生課	日本大学商学部奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者	【商学部生対象】 学業成績が特に優秀な学生	給付奨学金	授業料1年分相当額の半額	1年間	9名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課				
学生部学生課	日本大学商学部資格取得奨学金	入学後		資格取得支援制度	【商学部生対象】 商学部で指定した各種資格等を取った者	給付奨学金	資格ごとに設定	1年間	159名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課				



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・学科・専攻・専攻の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
日本大学	学生部学生課	日本大学芸術学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 給付奨学金支援 留学費用支援制度		【芸術学部生対象】 第1種 優秀な資質をもちながら経済的理由により修学が困難である者 第2種 専攻分野において特に優れた業績を認められた者 第3種 災害に罹りし重大な被害を受けた場合、もしくは不慮の理由で家計が急変し学費等の支弁が困難である者 第4種 留学等により修学困難な者	給付奨学金	第1種 年額30万円6限 第2種 年額30万円・60万円 第3種 授業料1年分相当額を限度 第4種 年額20万円を限度	1年間	第1種 15名 第2種 2名 第3種 3名 第4種 0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	芸術学部学生課		
	学生部学生課	日本大学国際関係学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【国際関係学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀な学生(2年次以上を対象) 第2種 緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者(全学年対象)	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の半額 第2種 授業料1年分相当額の半額	1年間	第1種 3名 第2種 1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	学生部学生課	日本大学国際関係学部柳川海外交流奨学金	入学後		研修支援制度 研究費支援 留学費用支援制度		【国際関係学部生対象】 ドイツにおいて研究・研修する者	給付奨学金	留学在籍料1年相当額	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	学生部学生課	日本大学三島後援会奨学金	入学後		留学費用支援制度 その他	通学費用補助会・家賃補助	【国際関係学部生対象】 第1種 自宅通学不可能な者または遠隔地からの新幹線定期券通学者 第2種 派遣交換留学生、フェーレンツ・インターナショナル・プログラム派遣留学生、ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学生、中継留学生	給付奨学金	第1種 新幹線定期券通学補助 12万円(半額) アルバイト補助 12万円(半額) 第2種 プログラムにより異なる	半年又は1年間	第1種 34名 アルバイト補助 65名 第2種 10名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	学生部学生課	日本大学国際関係学部校友会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【国際関係学部生対象】 第1種 人物が優れ、2年次以上に在学中で学業成績が優秀な者 第2種 人物が優れ、1年次に在学中で入学時成績及び最終学校の学業成績が優秀な者	給付奨学金	第1種 年額25万円 第2種 年額25万円	1年間	第1種 9名 第2種 1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	学生部学生課	日本大学三島同窓会奨学金	入学後		課外活動支援制度 奨励支援		【国際関係学部生対象】 語学試験(外務省専門職員試験・国家公務員試験)合格者または学術・文化・スポーツ・社会活動等において顕著な成果を収め、著しく大学の名誉を高めた者	給付奨学金	年額2~6万円	1年間	0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	学生部学生課	日本大学理工学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【理工学部2年次以上の学生対象】 第1種 学業及び人物が優秀で、学費支弁が困難な者	給付奨学金	年額40万円	1年間	第1種 30名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学理工学部後援会奨学金	入学後		学費支援		【理工学部生対象】 学費支弁が困難な者 後援会費が納入済みである者	給付奨学金	年額50万円	1年間	48名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学理工学部校友会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【理工学部生対象】 学業成績及び人物ともに優秀で、貸与奨学金を受けている卒業見込者	給付奨学金	年額20万円	1年間	8名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学理工学部校友特別奨学金	入学後		学費支援 給付奨学金支援		【理工学部生対象】 自然災害等の罹災あるいは家計急変等のために学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額50万円	1年間	若干名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学生産工学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【生産工学部生対象】 第1種 特に出発し、2年次に在学中で学業成績が優秀な者 第2種 優秀な資質をもちながら、経済的理由など諸般の事情により学業継続が困難な者	給付奨学金	第1種 年額50万円 第2種 前学期30万円・後学期30万円	1年間	第1種 9名 第2種 1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生産工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学生産工学部校友会奨学金	入学後		学費支援		【生産工学部生対象】 経済的理由から修学困難な者	給付奨学金	年額10・20・30万円	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生産工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学工学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【工学部生対象】 第2種 1年次生のうち、入学時の成績が優秀な者 第4種 学業成績及び人物が優秀な者	給付奨学金	第2種 授業料1年分相当額 第4種 年額10万円	1年間	第2種 1名 第4種 30名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学工学部後援会奨学金	入学後		学費支援		【工学部生対象】 経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	前学期25万円・後学期25万円	1年間	40名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学工学部五十嵐奨学金	在学中	4年次生	特待生・成績優秀者		【工学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額10万円	1年間	12名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学工学部北沢奨学金	入学後		学費支援		【工学部生対象】 緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	9名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	学生部学生課	日本大学医学部土岐奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【医学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	学生部学生課	日本大学医学部永澤奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【医学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	学生部学生課	日本大学医学部同窓会60周年記念奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【医学部生対象】 学業及び人物ともに優秀で、入学後第一保証人の事故等により経済的に修学困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	学生部学生課	日本大学医学部同窓会新奨学金	入学後		学費支援		【医学部0・6年次の学生対象】 給付 学部指定の金融機関と教育ローン契約を締結し、また学費等の支弁が困難であり、学業及び人物ともに優れている者 貸与 不測の事態により学費等の支弁が困難であり、学業及び人物ともに優れている者	給付奨学金 貸与奨学金	給付 科目相当額 貸与 9名 貸与 学費相当額	1年間	給付 0名 貸与 0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	学生部学生課	日本大学医学部特定医療奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【医学部0・6年次の学生対象】 学業及び人物が優秀で、臨床研修後、医学部付属病院又は日本大学病院において特定診療を担当する診療科(小児科・産科・救急科など)の医師を志す者(返済免除)	貸与奨学金	年額60万円(返済免除制度)	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	学生部学生課	日本大学歯学部佐藤奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度		【歯学部生対象】 第1種 2年次以上の学生で学業及び人物が優秀な者 第2種 2年次以上の学生で課外活動・学校行事等に顕著な功績がある者 貸与 高学年の学生で学費の支弁が困難で、学業及び人物が優れている者	給付奨学金 貸与奨学金	第1種 10万円・20万円 第2種 10万円 貸与 授業料1年分相当額以内	1年間	第1種 10万円・25名、20万円・5名 第2種 5名 貸与 0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	歯学部学生課		
	学生部学生課	日本大学歯学部同窓会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		【歯学部2年次以上の学生対象】 学業及び人物が優秀な者または課外活動に顕著な成果を収めた者	給付奨学金	年額5・10万円	1年間	5万円・1名、10万円・0名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	歯学部学生課		
	学生部学生課	日本大学松戸歯学部鈴木奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度		【松戸歯学部生対象】 第1種 2年次以上の学生で学業及び人物が優秀な者 第2種 経済的理由により、学費の支弁が困難であり、学業成績が優秀で人物が優れている者	給付奨学金	第1種 年額10万円 第2種 年額24万円	1年間	第1種 30名 第2種 2名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	松戸歯学部学生課		
	学生部学生課	日本大学松戸歯学部大竹奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		【松戸歯学部生対象】 学業成績・人物が優秀な者、または課外活動において顕著な成果を収め、学部等の奨励に貢献したと認められる者	給付奨学金	年額10万円	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	松戸歯学部学生課		
	学生部学生課	日本大学生物資源科学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【生物資源科学部生対象】 入学試験の成績並びに高等学校在学時の学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	授業料・施設設備資金相当額	1年間	7名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課		
学生部学生課	日本大学生物資源科学部大森奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		【生物資源科学部生対象】 最終学年のうち学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	12名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課			
学生部学生課	日本大学生物資源科学部後援会奨学金	入学後		学費支援		【生物資源科学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額25万円以上60万円以内	1年間	14名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課			
学生部学生課	日本大学生物資源科学部校友会奨学金	入学後		学費支援		【生物資源科学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額25万円以上60万円以内	1年間	8名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課			
学生部学生課	日本大学薬学部奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 第2種 経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第2種 年額30万円	1年間	5名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課			
学生部学生課	日本大学薬学部校友会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業及び人物が優秀で、学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	2名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課			
学生部学生課	日本大学薬学部校友会委員会奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 経済的理由で学費の支弁が困難であり、学業成績及び人物が優れている者	給付奨学金	年額30万円	1年間	7名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課			
学生部学生課	日本大学薬学部校友会(保潔会)奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業成績優秀で学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	3名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課			
学生部学生課	日本大学薬学部マツモトキヨシ奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業及び人物が優秀で、学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間	6名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課			
学生部学生課	日本大学通信教育部奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者 学費支援		【通信教育部2年次以上の正科生の学生対象】 学業及び人物が優秀で経済的理由から修学困難な者	給付奨学金	授業料1年分相当額を上限	1年間	15名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	通信教育部学生課			
学生部学生課	日本大学通信教育部坂東奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者		【通信教育部2年次以上の正科生の学生対象】 学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	授業料1年分相当額の半額を上限	1年間	1名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	通信教育部学生課			
学生部学生課	日本大学工学部校友会奨学金	入学後		学費支援		【工学部生対象】 経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額25万円	1年間	8名 (2023年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課			

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって②(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
日本医科大学	学事部教務課	日本医科大学新入奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	対象 本学医学部学生 第1学年(入学後に申請)  申請資格・条件等 -学生の学業及び研究、医師及び研究者として医療に貢献する優秀な人材の育成に資することを目的として、学業その他において他の機関と同等の成績を挙げ、奨学金に相当する。 -奨学生として採用された際、要件を満たす連帯保証人及び保証人を選任できること。 奨学生の選考は、委員会において次に掲げる事項について審査して行う。 (1) 学業成績 (2) 家庭の経済事情 (3) 人物査定	貸与奨学金	学費相当額を上限とし、学内審査において決定する。	1年間		10名程度(令和6年度)	地域の制限なし	武蔵野校事務室	併用可	併用可	
	学事部教務課	特待生制度	その他	入学時のみ	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜の成績上位者(前期3名、後期3名)のうち入学した者を特待生とし、1年次と2年次の授業料を免除する。 ※地域枠受験者は本学特待制度に該当しない。	免除・減免	①一般選抜の成績上位者(前期3名、後期3名) ②グローバル特別選抜成績上位者10名、2年間	①一般選抜の成績上位者(前期3名、後期3名) 1年間 ②グローバル特別選抜成績上位者10名、2年間		10名程度(令和6年度)	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	学事部教務課	日本医科大学奨学金	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 貸与希望年度の前年度中に申請する	特待生・成績優秀者 学費支援	申請資格・条件等 -学生の学業及び研究、医師及び研究者として医療に貢献する優秀な人材の育成に資することを目的として、学業その他において他の機関と同等の成績を挙げ、奨学金に相当する。 -奨学生として採用された際、要件を満たす連帯保証人及び保証人を選任できること。 奨学生の選考は、委員会において次に掲げる事項について審査して行う。 (1) 学業成績 (2) 家庭の経済事情 (3) 人物査定	貸与奨学金	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間		25名程度(令和6年度)	地域の制限なし	学事部教務課	併用可	併用可	
	学事部教務課	日本医科大学父母奨学金	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 貸与希望年度の前年度中に申請する	特待生・成績優秀者 学費支援	対象 第2学年～第6学年(貸与希望年度の前年度中に申請)  申請資格・条件等 -学生の学業及び研究、医師及び研究者として医療に貢献する優秀な人材の育成に資することを目的として、学業その他において他の機関と同等の成績を挙げ、奨学金に相当する。 -奨学生として採用された際、要件を満たす連帯保証人及び保証人を選任できること。 奨学生の選考は、委員会において次に掲げる事項について審査して行う。 (1) 学業成績 (2) 家庭の経済事情 (3) 人物査定	貸与奨学金	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間		15名程度(令和6年度)	地域の制限なし	学事部教務課、父母会事務局	併用可	併用可	
	学事部教務課	日本医科大学特別奨学金ローン制度	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 借付希望年度の前年度中に申請	学費支援	対象 第2学年～第6学年(借付希望年度の前年度中に申請)  本学が保証人となることにより、学費相当額を上限として金融機関から融資を受けることができる。 学生の選考については、次に定める基準に基づき審査委員会及び面接を行う。 (1) 家庭の経済状況 (2) 学業成績 (3) 授業の出席状況	その他	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間		5名程度(令和6年度)	地域の制限なし	学事部教務課	併用可	併用可	
日本社会事業大学	入試広報課	障害学生奨学金給付制度	学校出願時		学費支援	対象 身体障害が学生対象。 身体等の障がいに応じて、修学上特別な経済的支出を必要とする学生を対象に、その費用の一部を奨学金として給付する	給付奨学金	年間教育充実費相当額。				地域の制限なし		学生支援課		
	入試広報課	障害学生に対する学習環境支援等経費	学校出願時		学費支援	対象 全学年障がい学生対象。 視覚障害1級、聴覚障害2級で援助を必要とする者。	給付奨学金	別途定める年間実支給額相当額。				地域の制限なし		学生支援課		
	入試広報課	学生寮	入学手続時		寮制度	対象 社会福祉学部全学年が対象。 入寮希望者。入寮費に限り、必要書類を添えて申し込むこと。 希望者多数の場合、選考あり。	その他	「松窓寮」(男子・女子)がある。 寮費については、問い合わせください。				地域の制限なし		学生支援課		
日本獣医生命科学大学	事務局事務部教務課	日本獣医生命科学大学貸与給付奨学金	在学中	卒業年次を除く(学部生)、卒業後に応募受付を開始する。	特待生・成績優秀者 学費支援 奨励賞金支援	本学では、以下のような内容の奨学金制度を設けています。給付と貸与の2種類があります。詳細は教務課奨学金支援係に相談してください。 ◎対象学年 全学年(全学部学科の学部生) ◎応募資格 -在学中に連帯保証人(学費負担者)が死亡・廃病・失業等に遭い、経済的に著しく困難となった者。 -災害(地震・風水害・火災等)に遭い、経済的に著しく困難となった者。 -親族の急変その他の理由により経済的に著しく困難となった者。 -その他成績等を考慮して選考します。	給付奨学金 貸与奨学金	授業料の年額2分の1の金額を支援	1年間、在学中2回まで申請可		若干名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	事務局事務部教務課	武蔵野賞	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 卒業希望年度の前年度中に申請する	特待生・成績優秀者	対象 第2学年～第6学年(貸与希望年度の前年度中に申請)  医学部は第1年次から第5年次、獣医保健看護学科、動物科学科及び食品科学科は第1年次から第3年次の各年次終了時において、学業成績が特に優秀な人物に授けられ、各学科各年次3名(計15名)とされる。	給付奨学金 免除・減免	各学科年次の首席1名は授業料の半額を免除、次席2名には修学支援金の授与	1回限り		賞学生…各学科年次1名 次席学生…各学科年次2名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	事務局事務部教務課	日本獣医生命科学大学後援会 学生の学業等学術活動支援	在学中		研修支援制度	全学科全学年対象(大学院生は対象外)	その他	1名につき、参加費(入会費、講演費宿泊代金を含む)および交通費の滞費、宿泊費の半額 8,000 円を上限として算定した費用の合計金額が 1 万円以上のものについて支援の対象とし、支援金額の上限を 5 万円とする。(交通費の精算は、滞費発生後に行なう。同じオンライン参加については、支援金額の上限は滞費、旅費支援する。また支援金額が予算額を超えた場合は、発表者(申請者に限る)は原則滞費支給とし、それ以外の対象者は予算の範囲に応じて滞費を支給する。	1回限り			予算額と応募人数により変動(具体的な数値は要しない)	地域の制限なし	事務局事務部教務課	併用可	併用可
日本赤十字看護大学	学務課学生係	日本赤十字看護大学伊藤・有馬記念基金学生外国留学奨励金	入学後		留学費用支援制度 課外活動支援制度	大学が主催する海外留学、海外研修、ボランティア、クラブ等の課外活動の他、個人で海外活動を計画しているもの(但し観光が目的の活動は除く)	給付奨学金	年額10万円以内	1年間		若干名	地域の制限なし		併用可		
	学務課学生係	日本赤十字看護大学大槻康子記念奨学金	入学後		学費支援	経済的理由により修学が困難なもの	給付奨学金	年額20万円を限度として給付する	1年間		年間10名程度	地域の制限なし		併用可		
	学務課学生係	日本赤十字看護大学後援会奨励奨学金	入学後		学費支援	経済的理由により修学が困難なもの	給付奨学金	年額20万円を限度として給付	1年間		若干名	地域の制限なし		併用可		
	学務課学生係	日本赤十字看護大学保護者会海外留学奨学金	入学後		留学費用支援制度 課外活動支援制度	大学が主催する海外留学・研修参加学生	給付奨学金	年額5万円を限度として給付	1年間			若干名	地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	特待生制度B	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2～4年次の各年度の成績優秀上位者(看護学部上位3名、さいたま看護学部上位3名)	免除・減免	当該年度の年間授業料の半額を免除する。	1年間				地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	日本赤十字看護大学松下清子記念奨学金(海外研修・国際文化交流支援)	入学後		留学費用支援制度 課外活動支援制度	①本学及び学外団体主催の各種海外研修プログラム、海外ボランティア、インターンシップ、セミナー参加などの海外活動に参加するもの(但し観光が目的の活動は除く) ②当該年度に選出する者で目的及び計画が明確で、効果が期待できるもの ③経済的理由により修学が困難なもの	給付奨学金	年額20万円以内					地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	大規模災害被災学生奨学金	在学中		入学金・授業料減免	被災学生は学費負担者が入学した年度の前半3か月間から年度の前日まで、在学生においては年度の申請日まで、学費負担者が災害救助法適用地域において被災し、その影響で学費に支障が生じたため修学が困難な者。	免除・減免	半期授業料					地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	特待生制度A	その他	申請不要(一般選抜の受験者全員が対象)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般入学者選抜試験の成績が上位者(看護学部上位3名、さいたま看護学部上位2名)	免除・減免	1年次の年間授業料の全額を免除する。	1年間				地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	日本赤十字看護大学同窓会奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学困難なもの	貸与奨学金	50万円	在学中1回限り			12名	地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	一般財団法人日本赤十字社看護部同窓会奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	経済的理由により修学困難なもの	貸与奨学金	月額3万円				10名	地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	日本赤十字社奨学金制度	入学後		用途を定めない経済的支援	卒業後就職先として当該病院(貸与を受けた病院)に専らに勤務する意思のあるもの	貸与奨学金	各支部・病院により異なる	各支部・病院により異なる				地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	日本赤十字看護大学保護者会奨学金学業成績優秀奨学金	その他	申請不要	用途を定めない経済的支援	2～4年生の成績優秀者上位5名以内(当該年度の特待生及び編入生除く)	給付奨学金	年額3万円					地域の制限なし		併用可	
	学務課学生係	日本赤十字看護大学伊藤・有馬記念基金学生奨学金	入学後		学費支援	経済的理由により修学が困難な学生	給付奨学金	年額20万円以内	1年間			年間10名程度	地域の制限なし		併用可	
日本体育大学	学生支援センター生活支援部門	学費減免制度(公費)	在学中	申請締切:7月上旬	その他	後学期施設整備費、教育充実費の免除	対象学年:2年～4年生 学部:全学部 資格:日本学生支援機構奨、奨学金の貸与を受けてもなお学費納入が困難で学業成績が平均水準以上の者	免除・減免	後学期施設整備費、教育充実費の免除	単年度		年間60名程度	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	学生支援センター生活支援部門	一般奨学生	その他	申請不要 ①1年次は前学期中に該当者に通知 ②2年次以降は学費納付時に該当者に通知	特待生・成績優秀者	対象学年:①1年生 ②2～4年生 学部:全学部(②2次以降) 資格:学業成績が特に優秀かつ心身ともに健康な者で、大学の卒業を経て指定された者(①②共通)	免除・減免	①入学金、施設整備費の全額 ②施設整備費、教育充実費の全額	1年間		50名程度	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター生活支援部門	同一家族複数在校生の学費一部免除	その他	申請締切:入学した年度の6月まで	入学金・授業料減免	対象学年:1年生 学部:全学部 資格:同一の保護者により扶養されている兄弟姉妹が本学に在学する入学生(双子入学の場合はどちらか一方)	免除・減免	入学金金額	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター生活支援部門	メイド・MCS・長谷川奨学金	その他	申請締切:前年度後学期	課外活動支援制度	対象学年:2～4年生 学部:全学部 資格:学友会団体に所属し、課外活動等の大学生生活において目標に向けて強い志を持って取り組んでいる者。	給付奨学金	年額25万円	1年間			原則8名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有りて併用可
	学生支援センター生活支援部門	健康奨学金	在学中	申請締切:10月中旬	用途を定めない経済的支援	対象学年:全学年 学部:全学部 資格:奨学金の貸与を受けている者で、かつ経済的に困窮し修学困難な者	給付奨学金	年額20万円	1年間			45名以内	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	条件有りて併用可
	学生支援センター生活支援部門	学費減免制度(家計急変)	随時		その他	施設整備費、教育充実費の免除(該当学期)	対象学年:全学年 学部:全学部 注1:1回限り(注1)に家計に急変があり日本学生支援機構貸与奨学金を併用(注2)してもなお学費納入が困難な者 注2:貸与一額と貸与二額の併用、貸与一額が併給調整で月額0円となる場合は給付と貸与の2種でも可	免除・減免	施設整備費、教育充実費(該当学期)	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	入試広報課	特待生 留学生入試1期	その他	受検生からの申請不要。合格者の中から、受検結果により「特待生合格者」を決定します。	特待生・成績優秀者	留学生入試1期において成績優秀な者	免除・減免	入学金半額を免除。2年次以降については、前年度の成績などに基づいて年間授業料の半額を免除とします。(適用期間:入学生年度から、連続して4年間を指します)	入学年度から、連続して4年間(毎年継続審査があります)			各学科若干名	地域の制限なし	入試広報課	併用不可	条件有りて併用可
	入試広報課	文化学術大学奨学金	在学中		全学年	人物・学業ともに優れ、かつ経済的理由により修学が困難な学生。 全学年が対象。ただし、大学院生および在籍資格「留学」を有している外国人留学生、他の奨学金や授業料減免を受けている学生、特待生の資格を有している学生を除く。	免除・減免	年間授業料の半額を免除	1年間			15名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
入試広報課	文化学術大学宗友奨学金	在学中		卒業年次生	人物・学業ともに優れ、かつ経済的理由により修学が困難な学生。 卒業年次生が対象。ただし、大学院生および文化学術大学奨学金や授業料減免を受けている学生、特待生の資格を有している学生を除く。	免除・減免	100,000円	1年間			10名まで	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可	
入試広報課	学修奨励金	在学中	申請不要 大学3年生対象	その他	学修奨励金を支給	前年度までの成績評価においてGPAポイントが各学科最上位の大学3年生	給付奨学金	奨励金の額は、年度ごとに学長が定める(2024年度実績 100,000円)	1回限り		該当者全員	地域の制限なし	大学事務局教務部教務課	併用可	併用可	
入試広報課	留学奨励金	在学中	2年生～3年生	留学費用支援制度	本学海外提携校とのプログラムによる留学をする学生に	給付奨学金	1年間留学 100,000円 半年間留学 50,000円	1回限り			該当者全員	地域の制限なし	大学事務局教務部教務課	併用可	併用可	
入試広報課	特待生 AO入試1期(総合型選抜)	その他	受検生からの申請不要。合格者の中から、受検結果により「特待生合格者」を決定します。	特待生・成績優秀者	AO入試1期において成績優秀な者	免除・減免	入学金半額を免除。2年次以降については、前年度の成績などに基づいて年間授業料の半額を免除とします。(適用期間:入学生年度から、連続して4年間を指します)	入学年度から、連続して4年間(毎年継続審査があります)			各学科若干名	地域の制限なし	入試広報課	併用不可	条件有りて併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他の」具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
		入試広報課	特待生 一般入試A日程(一般選抜)-共通テスト利用入試A日程(一般選抜)	その他	特待生・成績優秀者	一般入試A日程、または共通テスト利用入試(期)において成績優秀な者	免除・減免		前年度授業料半額を免除、2年次以降については、前年度の成績などに基づいて有期授業料半額免除とします。(適用期間:入学年度から、連続して4年間を毎年試験審査の要があります)	入学年度から、連続して4年間(毎年試験審査の要があります)	各学科若干名	入試広報課	併用不可	条件有りで使用可		
法政大学		入学センター	チャレンジ法政奨学金(入試出願前予約型奨給付奨学金)	その他	入試出願前(1月)		給付奨学金	文系学部入学時50万円(2年次以降20万円/年(年額)) 理系学部入学時43万円(2年次以降25万円/年(年額))	4年間(継続条件あり)	200名	地域の制限なし		併用可	併用可		
		入学センター	新・法政大学100周年記念奨学金	入学後	入学後	1~4年生で、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	文系学部20万円(年額) 理工系学部25万円(年額)	1年間	170名程度	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「開かれた法政大」スポーツ奨励金	在学中	在学中	1~4年生で、スポーツの分野において優秀な成績をおさめた認められる者(原則として体育会に所属している者が対象)、すべてのスポーツに該当するとは限りません。	給付奨学金	年額20万円/40万円	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	保健体育センター	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「開かれた法政大」学術・文化奨励金	在学中	在学中	1~4年生で、学術・研究・ボランティア活動・文化・芸術・芸術・スポーツ等の分野で秀でた業績を挙げた者は団体。	給付奨学金	30万円上限(年額)	1年間	20名(団体)以内	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「開かれた法政大」指定試験合格者奨励金	その他	指定試験に合格した年度	各分野で優秀な学生を奨励する制度	給付奨学金	40万円	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「L」奨学金(L)キャリア・アップ奨励金	その他	在学中	各分野で優秀な学生を奨励する制度	給付奨学金	3万円(年額)	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「L」奨学金(団体スポーツ奨励金)	在学中	在学中	各分野で優秀な学生を奨励する制度	給付奨学金	25万円、50万円、100万円(年額)	1年間	採用条件を満たす団体	地域の制限なし	保健体育センター	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	派遣留學奨学金	在学中	在学中	留学費用支援制度	給付奨学金	派遣先により70万円または100万円、半期留學は半額	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	法政大学学友会奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	文系学部20万円(上限)年額) 理工系学部30万円(上限)年額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	前木橋奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	50万円(年額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「開かれた法政大」成績優秀者奨学金	入学後	入学後	特待生・成績優秀者	給付奨学金	各学部の2~4年生の前年度成績上位者、指名制。	1年間	300名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	「開かれた法政大」認定海外留學奨学金	在学中	在学中	留学費用支援制度	給付奨学金	認定海外留學制度による留學生として許可された者。	1年間または半年	15名以内	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留學支援奨励金	在学中	在学中	留学費用支援制度	給付奨学金	認定海外留學に決定した者のうち、海外一流大学の正規課程に入学可能/条件付入学許可を受けた者。	1年間	若干名	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	法政大学吉田育英会奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	帰国生のための入試に入学した者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	SA(スタンディ・アプロード)奨学金	入学後	入学後	留学費用支援制度	給付奨学金	SA参加者(詳細は学部により異なる)	1年間	留學生1回	学部及び留學生等により異なる	地域の制限なし	それぞれの学部事務担当	併用可	条件有りで使用可	
		入学センター	株式会社エイチ・ユー-奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れて、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	40名程度	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	福田明彦奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れて、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	一般社団法人法政大学校友会奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れて、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	法政大学後援会クラブ奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れて、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可		
		入学センター	法政大学サポーターズ奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れ、経済的援助が必要な者。	1年間	20万円(上限)年額)	1年間	50名程度	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可
		入学センター	法政大学評議員・監事奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	1年次入学者で親類(1親以外)の出身の経済的援助が必要な自宅外通学生。	1年間	25万円(上限)年額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可
		入学センター	公益財団法人日本厚生文化振興財団記念奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	1年次入学者で経済的援助が必要な者。	1年間	25万円(上限)年額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可
		入学センター	桑田道子奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	2~4年生で、学業成績が優れて、教育上経済的援助が必要な者。	1年間	25万円(上限)年額)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター-厚生課	併用可	条件有りで使用可
		入学センター	法政大学後援会共済会出身学生支援奨学金	入学後	入学後	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	1年次入学者で保証人の居住所が(都)3県(東京・神奈川・埼玉・千葉)以外(海外に在住するものを除く)の経済的援助が必要なもの(留學生を除く)	1年間	年額25万円(上限)とする	採用期間は1年間で、給付年額を前期・後期の2回に分けて給付する。	若干名	地域の制限なし			
		入学センター	大成建設株式会社奨学金	在学中	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	給付奨学金	対象学年は1~4年生です。 学業成績が優れて、経済的援助を必要とする留學生が対象です。	1年間	若干名	地域の制限なし				
		入学センター	法政大学海外留學ファースト・チャレンジ奨励金	在学中	在学中	1年生~2年生	留学費用支援制度	給付奨学金	夏季、冬季および春季休業期間中に学外機関主催の海外留學・研修プログラム(オンライン形式含む)に参加/修了した者	1年間	3万円(上限)	40名程度	地域の制限なし			
		入学センター	文学部哲学科「国際思想科」層別に特設海外留學支援奨励金	在学中	在学中	2年生~4年生	留学費用支援制度	給付奨学金	哲学科生のうち、「国際思想科」海外研修参加者	1年間	①5万円(上限) ②実費などの25%まで	地域の制限なし				
		入学センター	経営学教育・研究振興基金成績優秀者奨励金	在学中	在学中	4年生	特待生・成績優秀者	給付奨学金	3年次修了時点で120単位以上(教職・資格科目を除く)を修得した東京府、埼玉県、神奈川県、千葉県以外の道府県出身の業績成績優秀者(指名制)経営学学生	1年間	10万円	3名	地域の制限なし			
		入学センター	人間健康学部海外フィールドスタディ奨励金	在学中	在学中	海外FS参加時の学年	研修支援制度	給付奨学金	1年~4年生の人間健康学部学生対象	1年間	①3万円(上限)とし、研修費等の50%まで	在学中、1回限り	55名程度	地域の制限なし		
		入学センター	キャリアデザイン学部キャリアアップ奨励金	在学中	在学中	2年生~4年生	研修支援制度	給付奨学金	1~4年生のキャリアデザイン学部学生対象 ①組付対象となる履修・資格等を修了しはは取得したもの	1年間	20万円(上限)とし、実習費の50パーセントまで	上記の範囲内で一部または全額を補助	40名程度	地域の制限なし		
		入学センター	キャリアデザイン学部「海外キャリア体験学習」実習費補助金	在学中	在学中	2年生~4年生	研修支援制度	給付奨学金	2年~4年生のキャリアデザイン学部生で「キャリア体験学習(国際)」履修者対象	1年間	20万円(上限)とし、実習費の50パーセントまで	各コース10名	地域の制限なし			
		入学センター	キャリアデザイン学部体験型実習科目に係る実習費補助金	在学中	在学中	2年生~4年生	学費支援	給付奨学金	①1~4年生のキャリアデザイン学部生対象 ②「キャリア体験学習」「キャリアサポート実習」「地域学習支援Ⅱ」履修者	1年間	①10万円	100名程度	地域の制限なし			
		入学センター	現代福祉学部国内研修奨励金	在学中	在学中	2年生~4年生	研修支援制度	給付奨学金	1年~4年生の現代福祉学部生対象 研修計画が学部審査を通過したもの	1年間	①3万円(上限)に交通費などの相当額	25名程度	地域の制限なし			
		入学センター	現代福祉学部海外研修制度	在学中	在学中	2年生~4年生	研修支援制度	給付奨学金	1年~4年生の現代福祉学部生対象 研修参加への強い意思を持つ者のうち、学業成績がすぐれ、選考試験により参加が決定した者	1年間	20万円(上限)に研修費等の60%まで	30名程度	地域の制限なし			
		入学センター	理工系学部教育・研究振興基金奨励金	在学中	在学中	3年生	特待生・成績優秀者	給付奨学金	理工系学部生対象 3年次までの業績成績優秀者(指名制)	1年間	5万円	各学科1名	地域の制限なし			
		入学センター	法政大学飛行訓練センター奨学金	在学中	在学中	3年生~4年生	その他	給付奨学金	事業用操縦士課程(高等操縦実習1)修了者	1年間	①20万円 ※必要状況や選考結果により変動	25名程度	地域の制限なし			
		入学センター	スポーツ健康学海外演習奨励金	在学中	在学中	2年生~3年生	その他	給付奨学金	スポーツ健康科学部学生2年生のうち、スポーツ健康学海外演習修業者	1年間	教養総額の30%程度	22名以内	地域の制限なし			
		入学センター	牧野奨学金	在学中	在学中	2年生~4年生	その他	給付奨学金	文学部哲学科林野実二教授及び牧野年義氏ご夫妻の寄付および遺贈により創設された文部省の奨学金制度で、遺贈不要の奨学金です。	1年間	250,000円	若干名	地域の制限なし			
		入学センター	法政大学経営学部新卒奨励金	在学中	在学中	2年生~4年生	その他	給付奨学金	非正規雇用のご寄付により創設された制度で、遺贈不要の奨学金です。	1年間	250,000円	若干名	地域の制限なし			
		入学センター	和ちゃん奨学金	在学中	在学中	2年生~3年生	その他	給付奨学金	実野橋と志、実野橋正良ならびに実野橋義典のご寄付により創設された現代福祉学部のための制度で、遺贈不要の奨学金です。本奨学金の名称は、実野橋氏の敬称で、贈りがいを持ち昇進された佐藤和実(さとうかずみ)さんの仮名前(旧)名に由来しています。	1年間	150,000円	若干名	地域の制限なし			
		入学センター	株式会社エイチ・ユー-航空操縦学専修奨学金	在学中	在学中	3年生	学費支援	給付奨学金	理工学部機械工学科航空操縦学専修3年生で、事業用課程の訓練を受ける教育ローンを利用している者	1年間	350,000円	6名程度	地域の制限なし			
		入学センター	林 忠昭奨学金	在学中	在学中	2年生~4年生	学費支援	給付奨学金	*留學生(休学・留学者、通信教育課程、科目等履修生は除く)であり、家計急変(事由発生から1年以内)のため当該期間の学費の支払が困難な人(納入済の人は対象とはなりません) *過去に本奨学金の給付を受けたことのない人 *教育上、経済的援助が必要と認められること *学業成績が優れていること	1回限り	文系学部30,000円(上限) 理工系学部30,000円(上限)	地域の制限なし				
		入学センター	法政大学後援会奨学金	在学中	在学中	1年生~4年生	学費支援	給付奨学金	*留學生(休学・留学者、通信教育課程、科目等履修生は除く)であり、家計急変(事由発生から1年以内)のため当該期間の学費の支払が困難な人(納入済の人は対象とはなりません) *過去に本奨学金の給付を受けたことのない人 *教育上、経済的援助が必要と認められること *学業成績が優れていること	1回限り	当該期間の大学納付金相当額(専修学生または秋学期の授業料、実験実習料、教科書費)を上限とする	地域の制限なし				
		入学センター	法政大学生生活協同組合奨学金	在学中	在学中	1年生~4年生	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	*留學生(休学・留学者、通信教育課程、科目等履修生は除く)であり、家計急変(事由発生から1年以内)のため当該期間の学費の支払が困難な人(納入済の人は対象とはなりません) *過去に本奨学金の給付を受けたことのない人 *教育上、経済的援助が必要と認められること *学業成績が優れていること	1回限り	200,000円(上限)	地域の制限なし				
		入学センター	法政大学家計急変学生支援奨学金	在学中	在学中	1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	給付奨学金	*留學生(休学・留学者、通信教育課程、科目等履修生は除く)であり、家計急変(事由発生から1年以内)のため当該期間の学費の支払が困難な人(納入済の人は対象とはなりません) *過去に本奨学金の給付を受けたことのない人 *教育上、経済的援助が必要と認められること *学業成績が優れていること	1回限り	250,000円(上限)	地域の制限なし				
		入学センター	新谷 豊実奨学金	在学中	在学中	2~最終学年	学費支援 用途を定めない経済的支援	給付奨学金	*留學生(休学・留学者、通信教育課程、科目等履修生は除く)であり、家計急変(事由発生から1年以内)のため当該期間の学費の支払が困難な人(納入済の人は対象とはなりません) *過去に本奨学金の給付を受けたことのない人 *教育上、経済的援助が必要と認められること *給付年額	1回限り	150,000円(上限)	地域の制限なし				
夏葉科大学	学生支援部	夏葉科大学特別奨学金	在学中	在学中	2~最終学年	特待生・成績優秀者	免除・減免	最大25万円	年1回	留學生(休学・留学者)10名以内 留學学生のうち、2名程度(留學学生2名以内)に、4年 度 まで	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
	学生支援部	星薬科大学奨学金	在学中	1～最終学年	用途を定めない経済的支援	本学在籍中で ・人物、学業ともに優れている者 ・経済的理由で修学が困難な者		貸付奨学金	自宅通学者は独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金の7割に相当する額 37,800円 自宅外通学者は 独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金の7割に相当する額 44,800円	履修修業有届の修業まで	特に定めなし	地域の制限なし	学生支援部	併用不可	併用不可	
	学生支援部	入試成績優秀者の授業料全額免除	入学手続時		入学会・授業料減免	薬学部の薬学科・創薬科学科の受験生において、学校推薦型選抜B、一般選抜(A方式、B方式、S方式)の入試試験成績優秀者に対し、初年度授業料を全額免除する。		免除・減免	授業料 薬学科1,200,000円 創薬科学科1,000,000円	入学時のみ	学校推薦型選抜B 5名 一般選抜(A方式) 10名 一般選抜(B方式) 20名 一般選抜(S方式) 10名	地域の制限なし	アドミッションオフィス	併用可	併用可	
	学生支援部	奨奨学金	在学中	1～最終学年	用途を定めない経済的支援	本学の在籍を未来に引き継ぎ、医療に貢献する意欲のある学生		給付奨学金	月2万円・年間36万円	採用年度1年間(年2回)	1名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用不可	
武蔵大学	広報部	武蔵大学特別奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 その他	既定の修得単位を満たし、かつ成績・人物優秀な者	2～4年次	給付奨学金	年額12万円	1年間	55名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学給付奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 その他	成績・人物優秀で経済的援助の必要な家計急変者	1～4年次	給付奨学金	春学期10万円 秋学期10万円	1年間・再出願可	上限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学学生国外留學奨学金	入学後		入学会・授業料減免 留學費用支援制度 その他	協定留學生	2～4年次	給付奨学金	年間授業料相当額(限度額) ・1年間留學の場合、本学の授業料相当額の2分の1を限度に奨学金を給付。留學生の授業料が本学の授業料を超える場合は、本学の授業料の2分の1を上乗しして、その差額分をさらに給付する。 ・セメスター制(1学期)の協定留學生には、1年留學の場合の奨学金の2分の1を限度とする奨学金が給付されます		30名程度	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学学生海外研修奨学金	入学後		学費支援 その他	知識の習得と国際的視野を広げたい学生	1～4年次	給付奨学金	30万円(限度額)		5名程度	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学地方学生奨助奨学金	入学後		学費支援 その他	地方出身で既定の修得単位を満たし、かつ成績・人物優秀な者(同窓会の寄付を一部受けた奨学金です)	2～4年次	給付奨学金	年額10万円		各学年15名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学課外活動奨助奨学金	入学後		研修支援制度 研究費支援 課外活動支援制度 その他	A大学に公認されている課外活動団体の構成員であつて、課外活動において国際的活躍・文化を伝播し、発信する者 B自主的な研究活動または社会貢献活動等を企画し、実施する者 C大学に公認されている課外活動団体の構成員であつて、課外活動において顕著な活躍が認められる者	1～4年次	給付奨学金	A年額20万円(限度額) B年額5万円(限度額) C年額5～10万円以内		A2件 B20件 C10件	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	広報部	武蔵大学白雉奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援 その他	ひとし職等者で、既定の修得単位を満たし、成績・人物優秀で経済的援助が必要な者	2～4年次	給付奨学金	年額20万円		10名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	東京都立大学	入試センター	五島育英基金奨学金	在学中	学部2～4年生 4月締切	特待生・成績優秀者		2年次以上の学生で、学業成績・人物ともに優秀な学生(公募せず)	給付奨学金	100,000円	1回/年	各学科、各学年毎 1名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
入試センター		東京都立大学黒澤敏・廣子奨学金	在学中	学部1年生～4年生 前学期4月締切 後学期1月締切	学費支援		在学中に授業料負担者が病気や災害等により死亡、あるいはその事故が原因で厳しい経済障害により、授業料納付に十分な収入が得られず修学が困難な学生	給付奨学金	半期授業料全額または一部相当額	①1回/半期 ②申請は2回限り ③授業料へ充当するため本人支給なし	若干名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
入試センター		東京都立大学海外研修支援資金貸付制度	在学中	学部1年生～4年生 1月締切	研修支援制度		海外での学業・研修等へ参加意欲は旺盛だが、経済的にその費用の給出が困難である学生	貸付奨学金	必要経費一部相当額、審査あり(上限30万円)	海外での学業・研修等参加時	若干名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
入試センター		東京都立大学後援会奨励奨学金制度	在学中	学部1年生～4年生 前学期6月締切、後学期1月締切	学費支援		後援委員会(家計支持者)の不慮の死亡等により家計が急変し、学業を継続することが困難な学生	貸付奨学金	半期授業料全額	①1回/半期 ②6月、10月(募集説明会出席必須)	若干名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
入試センター		地震等災害における学費等減免	随時		入学会・授業料減免		授業料負担者が地震等の大規模自然災害を受け、学費等の納入が困難な学生 なお、事由発生から1年以内	免除・減免	授業料全額もしくは半額免除(被災状況による。期間は1年限り)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
入試センター		東京都立大学学部特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般入試(前期)の各学部の成績上位者	免除・減免	1年次から4年間の授業料を全額免除(入学金、後援会費および校友会幹事会費分納金は除く)	4年間(審査あり)	若干名	地域の制限なし	入試センター	条件有りでの併用可	併用可	
入試センター		東京都立大学構想奨励奨学金	在学中	学部1年生～4年生 6月締切	学費支援		都市生活学部および人間科学部に在学する1年生～4年生のうち、勉学意欲があり、かつ経済的事由により修学が困難な学生	給付奨学金	授業料一部相当額	①1回/年 ②申請は2回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
入試センター		東京都立大学オーソリアプログラム(TAP)奨励奨学金制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 留學費用支援制度		一般入試(前期)の成績が極めて優秀で本学へ入学し、かつ東京都立大学オーソリアプログラム(TAP)に参加する学生。	給付奨学金	TAP参加費用(90万円)全額免除	1回限り(参加費用免除の扱い)	年間 入学者のうち20名程度	地域の制限なし	国際支援センター	併用可	併用可	
入試センター		五島育英基金に顕る奨学金	在学中	入学後(TAP参加により対象者となる)	特待生・成績優秀者 その他	TAP参加者	TAP留學中の成績、英語能力テスト結果等による成績上位者	給付奨学金	30万円	1回限り	年間 最大20名	地域の制限なし	国際支援センター	併用可	併用可	
入試センター		高等専門学校からの編入学生の授業料減免	学校出願時		入学会・授業料減免		本学において実施する、指定した高等専門学校を対象とした編入入学試験で合格した者のうち、国公立高等専門学校からの編入学生	免除・減免	4年次までの授業料を70%減免(入学金、後援会費および校友会幹事会費分納金は除く)	3年次および4年次	人数制限なし	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
武蔵野音楽大学	広報室	災害の場合の授業料減額	随時		入学会・授業料減免			給付奨学金				地域の制限なし	学生・教職課			
	広報室	入学会相当額免除	入学手続時		その他	同一年度に2名以上の兄弟姉妹が本学園の大学院、大学、短期大学等学校、幼稚園に在籍する場合は、その新入生の入学会相当額を免除する。また、兄弟姉妹が同時に入学した場合は、原則としてそのうち1名の入学会相当額を免除する。		給付奨学金				地域の制限なし	学生・教職課			
	広報室	福井直秋記念奨学金 給費奨学生	その他	申込不実	特待生・成績優秀者		学部2～4年次	給付奨学金	年額15万円		30名程度	地域の制限なし	学生・教職課			
	広報室	福井直秋記念奨学金 特別給費奨学金(特待生)	その他	申込不実	特待生・成績優秀者		学部2～4年次	給付奨学金	年間授業料全額相当(内3名は施設費全額相当も給付) 年間授業料半額相当 年間授業料1/4相当		17名	地域の制限なし	学生・教職課			
	広報室	福井直秋記念奨学金 特別成績給費奨学金	入学後		特待生・成績優秀者		全学年	給付奨学金	年額30万円		若干名	地域の制限なし	学生・教職課			
	広報室	福井直秋記念奨学金 給費奨学金	その他	申込不実	特待生・成績優秀者		新入学生(1年次)	給付奨学金	入学会相当額			22名程度	地域の制限なし	学生・教職課		
	広報室	福井直秋記念奨学金 緊急給費奨学金	入学後		その他	滞りの急変により、学業継続が困難になった学生	全学年・全学部	給付奨学金	最高20万円			数名	地域の制限なし	学生・教職課		
	広報室	福井直秋記念奨学金 特別給費奨学金(特待生)	その他	申込不実	特待生・成績優秀者		新入学生(1年次)	給付奨学金	年間授業料全額相当(内1名は施設費全額相当も給付) 年間授業料半額相当 年間授業料1/4相当			8名	地域の制限なし	学生・教職課		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を定めている場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	「その他の具体的な内容」	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
武蔵野大学	大学入試部入試広報課	武蔵野大学成績優秀奨学金	入学後	特待生・成績優秀者 学費支援		【目的】 学業成績が特に優秀な者に対し、学業の継続を支援することを目的とし、給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部2年生以上に在籍する者 ②前年度の取得単位数が20単位以上の者 ③前期、各学部科学部における前年度の年度GPAが上位2位までの者。ただし、前年度の年度GPAについて、同順位者が複数いた場合、前年度までの総合GPAが上位2位までの者とする ④所属する学部の教授会から推薦のある者		給付奨学金	200,000円		121名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学沼田奨学金	入学後	学費支援		【目的】 武蔵野大学の建学の理念である仏教精神を体し、海外及び国内において仏教伝道を志す学業人物ともに優秀な学生にその学費を補助し、将来の大成を助成するために給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部又は大学院に当該年度まで在籍する者 ②選考時に、論文の提出及び面接を受けることができる者 ③採用後に、大学に在籍中の1年以上在籍できる者 ④採用後に、日経講演会への出席が1回以上できる者 ⑤採用後に、仏教文化研究所が主催する公開講座等への出席が2回以上できる者 ⑥採用後に、仏教伝道施設で待機する修学支援対象となる者 ⑦採用後に、年度末に活動報告書の提出ができる者		給付奨学金	500,000円以内		26名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学高橋大藏記念奨学金	入学後	学費支援		【目的】 武蔵野大学の建学の理念である仏教精神を体し、学業人物ともに優秀な学生にその学費を補助し、将来の大成を助成するために給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部2年生以上の者 ②選考時に、論文の提出及び面接を受けることができる者		給付奨学金	240,000円以内		1名(2023年度実績)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学教育ローン補助奨学金	入学後	学費支援		【目的】 経済的理由により本学が指定する金融機関が取り扱う教育ローンを利用して学納金を完結した学生に対して、その利息の全部又は一部を奨学金として給付し、学業の継続を支援する。 【資格】 武蔵野大学の学部又は大学院研究科に在籍する学生とし、本学が指定する金融機関の教育ローンを利用して、学納金の全額を納入した者とする。ただし、教育ローンの契約者は、生計維持者(学部の場合は原則父母、父兄ともいない場合は生計を維持している主たる者)とする。		給付奨学金	教育ローンの利息の年度の合計額(年間50,000円を上限とする)		1名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学後援会家計委員会奨学金	入学後	学費支援		【目的】 生計維持者(原則父母、父兄ともいない場合は代わって生計を維持している主たる人。)が死去、離職、病気及び震災等(以下「死去等」という。)により、家計の事情が急変し、修学が難しく困難となった学生(以下「奨学生」という。)に対して学費を給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部2年生以上の者 ②前期推薦入試又は学費減額制度適用済の者 ③生計維持者の家計急変事由発生日が、当該年度の前年4月1日以降である者 ④生計維持者の家計急変事由が、死亡、失業、離職、病気、震災、事故、その他やむを得ない判断する事由のいずれかに該当し、公的機関が発行した書類又はそれに基づく証明書を提出できる者。ただし、死亡に当該奨学金が適用されたことのある同一人物の同一事由による証明書類は除く ⑤生計維持者の所得証明書に記載されている金額が、給与・年金収入のみの場合は収入額が合計2,000万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計450万円以下である者。留学生の場合は日本円に換算した場合、給与・年金収入のみの場合は収入額が合計2,000万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計450万円以下である者		給付奨学金	前期授業料または前期在籍料の範囲内		17名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学長瀬潤道留学期奨学金	入学後	学費支援 留学期費用支援制度		【目的】 一般奨学金 協定留学生及び認定留学生全員に給付し、長期留学の促進及び経済支援 特別奨学金 協定留学生及び認定留学生のうち成績及び語学の双方において特に優秀な学生に対する経済支援 【資格】 一般奨学金:全ての協定留学生及び認定留学生対象 特別奨学金:協定留学生及び認定留学生のうち、成績基準及び語学基準の双方を満たす者		給付奨学金	留学期間により異なる		一般奨学金:21名(2023年度採用状況) 特別奨学金:7名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学課外活動等奨学金	入学後	学費支援		【目的】 課外活動等の学生の多様な活動と学業との両立を支援するために、当該活動に積極的に取り組んでいる学生に給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部又は大学院に在籍する者 ②本学専任教員からの推薦のある者 ③本学入学以降、申請時点までの自己の活動について実績資料が提出できる者。 ただし、過去に当該奨学金に提出したことのある実績資料は除く		給付奨学金	100,000/300,000円		4名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学中興奨学金制度	学校出願時	学費支援		【目的】 入試成績が優秀な受験生の入学を促進し、入学後の修学意欲の更なる向上に繋げる。 【資格】 本学指定の入試区分への出願時に、申請型奨学金申請書を提出した者の中から入試成績等により審査。 ※採用された場合、年度毎に継続審査あり。		給付奨学金	最大で4年間(実学科は6年間)の授業料全額免除	最大で4年間(実学科は最大6年間) ※年度毎に継続審査あり		64名(2023年度採用状況)	地域の制限なし		
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学予科型奨学金制度「2000年のあなただへ、奨学金」	その他	学費支援		【目的】 経済的理由により入学が困難な官制圏外の高等学校等に在籍する受験生の入学を促進し、入学後の修学意欲の更なる向上に繋げる。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①武蔵野大学が各年度の入学試験要項で指定する入学試験を受験する者 ②日本国籍を有する者。又は日本国籍を有していない者のうち在留中に在籍資格が「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」又は「特定者(日本に在籍する者)」である者 ③埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県以外の、国内の道府県を除く(高等学校又は中等教育学校後期課程を卒業した者又は卒業予定の者) ④①の学部における申請時点で「奨学生」である者 ⑤父母の所得証明書に記載されている金額が、給与及び年金収入のみの場合は収入額が合計800万円以下であること。その他の場合は所得金額が合計500万円以下であること。父母がともにいない場合は、父母に代わって生計を維持している者の収入とする。 ⑥この奨学金と高等教育の修学支援新制度の併用は可能だが、いずれも採用となった場合、本奨学金の採用を拒否し、することを了承する者 ※採用された場合、年度毎に継続審査あり		給付奨学金	500,000円以内		1名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
	大学入試部入試広報課	武蔵野大学家計調査奨学金	入学後	学費支援		【目的】 経済的理由により修学困難な者に対して学費を給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①武蔵野大学の学部又は大学院研究科に在籍する者 ②前年度の総合GPA又は前年度GPAが1.5以上の者。新入生の場合は、本学が設ける入学試験に合格し入学していることをもって、当該年度限り、一定以上の成績を修めている者として取り扱う ③生計維持者(学部の場合は原則として父母、父母がともにいない場合は代わって生計を維持している主たる人。大学院の場合は学生本人及び配偶者)の前年度の所得証明書に記載されている金額が、給与及び年金収入のみの場合は収入額が合計800万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計500万円以下である者 ④留学生の場合は、生計維持者(学部の場合は原則として父母、父母がともにいない場合は代わって生計を維持している主たる人。大学院の場合は学生本人及び配偶者)の合計年収が、日本円に換算した場合、給与及び年金収入のみの場合は収入額が合計800万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計350万円以下である者		給付奨学金	200,000円		27名(2023年度採用状況)	地域の制限なし			
大学入試部入試広報課	武蔵野大学開学記念経済支援奨学金	入学後	学費支援		【目的】 経済的理由により修学困難な者に対して学費を給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①武蔵野大学の学部又は大学院研究科に在籍する者 ②前年度の総合GPA又は前年度GPAが1.5以上の者。新入生の場合は、本学が設ける入学試験に合格し入学していることをもって、当該年度限り、一定以上の成績を修めている者として取り扱う ③生計維持者(学部の場合は原則として父母、父母がともにいない場合は代わって生計を維持している主たる人。大学院の場合は学生本人及び配偶者)の前年度の所得証明書に記載されている金額が、給与及び年金収入のみの場合は収入額が合計800万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計500万円以下である者 ④留学生の場合は、生計維持者(学部の場合は原則として父母、父母がともにいない場合は代わって生計を維持している主たる人。大学院の場合は学生本人及び配偶者)の合計年収が、日本円に換算した場合、給与及び年金収入のみの場合は収入額が合計1,000万円以下である者。その他の場合は所得金額が合計850万円以下である者		給付奨学金	120,000円		19名(2023年度採用状況)	地域の制限なし				
大学入試部入試広報課	昭和三十九年法要記念武蔵野大学奨学金	入学後	学費支援		【目的】 昭和三十九年法要を記念し、武蔵野大学の建学の理念である仏教精神を体し、学業人物に優秀な学生の勉学を奨励するために、その学費を給付する。 【資格】 次のすべてを満たしていること。 ①学部2年生以上の者 ②選考時に、論文の提出及び面接を受けることができる者		給付奨学金	120,000円		1名(2023年度採用状況)	地域の制限なし				
大学入試部入試広報課	武蔵野大学図書給付奨学金	入学後	学費支援		【目的】 特に熱意があるにもかかわらず、災害等による家庭の経済状況急変で学費納入が難しく困難となった学生に対し、学費を給付する。 【資格】 ①学部、大学院研究科、専攻科のいずれかに在籍する者 ②災害等により家庭の経済状況が急変したことを証明できる者		給付奨学金	年間授業料または在籍料の全額を上限とし、授業料の控除をもって給付する。ただし、当該年度の授業料または在籍料を納入している場合には、本人名義の口座に給付する。		なし(2023年度採用状況)	地域の制限なし				
武蔵野美術大学	学生生活チーム	武蔵野美術大学奨学金	入学後	入学金・授業料免除		対象学年:学部、大学院(修士課程) 全学年 資格・条件:人物及び学力が優異であり、かつ経済上の事情により修学することが困難であると認定された者		給付奨学金	学部:30万円または25万円 大学院(修士課程):50万円	1年間	学部:30万円40名、25万円100名 大学院(修士課程):50万円20名	地域の制限なし	学生支援グループ 学生生活チーム	条件ありで併用可	併用可
	学生生活チーム	地方出身学生支援奨学金	入学後	入学金・授業料免除		対象学年:学部、全学年 資格・条件:経済的理由により修学が困難で、かつ出願時点で保証人が過去3年以上継続して、島しょ部を除く(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外の都道府県)に在住している者。		給付奨学金	30万円	1年間	10名	地域の制限なし	学生支援グループ 学生生活チーム	併用可	併用可
	学生生活チーム	武蔵野美術大学校友会奨学金	在学中	学額4年生	その他	卒業制作支援	対象学年:学部4年生 資格・条件:進学に熱意を持つ学部4年生卒業制作企画により選考		給付奨学金	10万円	1年間	16名	地域の制限なし	校友会事務局	併用可

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
明治大学	入試広報事務局	明治大学給費奨学金「お明治奨学金」	その他	入学前(8月10月中旬～11月中旬)	学費支援 教科書 入学費・授業料免除	1 進学 学業優秀でありながら、経済的に困難している奨学生に、入学および入学後の経済的負担を軽減できるように、入学試験出願前に奨学金の採用を決定(内定)します。 2 対象学年 1～4年次(入学時)～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)日本国籍を有する者等 (2)次の2022年度一般選抜に出願予定で本大学への入学を強く希望する者 学部別入試試験、大学入学共通テスト利用入試試験、全学部統一入試試験 (3)次に掲げるア～ウのいずれかを満たしていること。 ア 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を2023年3月31日まで卒業見込みの者または2023年3月1日までに修了見込みの者または2023年3月1日以前に修了した者 ウ 高等学校卒業程度認定試験合格者(見込みを含む)は2002年4月2日以降生まれの者 (4)上記の学校における全体の学習成績の状況(評定平均値)が、5段階評価で4以上の者 (5)保護者(父兄)の収入(所得)を合計した金額が次のとおりであること 首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) 総所得額(課税所得)100万円 首都圏以外 総所得額(課税所得)100万円 総所得額以外の所得額 300万円	給付奨学金 その他	授業料年額分の1相当額	4年間(標準修業年限)※毎年度継続審査あり。	採用候補者数 1,000名以内	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学特別給費奨学金	その他	申請制ではなく、入学時の成績により各学部が決定する。	特待生・成績優秀者	1 進学 本学への入学を強く希望し、入学試験の成績が特に優秀な者に給付します。 2 採用について 学部別入試試験、大学入学共通テスト利用入試試験、全学部統一入試試験の合格者から採用します。 3 対象学年 1～4年次(入学時)～4年次 4 対象学部 法学部、文学部、理工学部、情報コミュニケーション学部	給付奨学金	授業料年額相当額	4年間(標準修業年限)※毎年度継続審査あり。	採用人数は学部により異なりますが、公表はしていません。	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学校友会「つなげ！繋がる「たすき」奨学金	入学後		学費支援 教科書 用途を定めない経済的支援	1 進学 地方出身者の本学への入学を促進するために、明治大学校友会が給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 学部別入試試験、大学入学共通テスト利用入試試験または全学部統一入試試験による新入学者のうち、5 首都圏(東京都・神奈川県・千葉県)以外、および離島に家族住所を有する本学新入生で、自宅外通学としている者。	給付奨学金	入学年度年額50万円、2年次以後は毎年30万円	4年間(標準修業年限)※毎年度継続審査あり。	毎年度20名	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	併用可	
	入試広報事務局	明治大学学業奨励給費奨学金	その他	申請制ではなく、各学部の基準により選考する。	特待生・成績優秀者	1 進学 入学後の学習に精励し、優秀な学業成績を修めた者に給付します。各学部が独自に定める基準により、採用者を決定します。 2 対象学年 1～4年次(入学時)～4年次(学部により異なります。) 3 対象学部 全学部	給付奨学金	授業料年額相当額、授業料年額2分の1相当額、授業料年額4分の1相当額	1年間または半年(学部により異なります。)	学部により採用人数が異なります。	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学給費奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 学業成績が良好で、経済的理由により進学が困難な者にに対して給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)成績について →申請時点で前学期以上の単位数が学業成績基準単位以上(重要要件のものに限る)を修得していること。 →申請時点で判明している学業成績評価が、GPA2.50以上であること。 (2)家計基準について 原則として父母の合計年収が、本学の定める次の家計基準内であること。 ・給与世帯の年収収入 841万円 ・給与世帯以外の所得収入 約450万円 ・給与世帯以外の所得収入 350万円	給付奨学金	年額20万、30万、40万円 ※課税所得及び学部により異なります。	1年間(毎年度申請可)	1,440名以内	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学奨励奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 学業成績が優秀であり、特に奨励が必要であると認められる者にに対して給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)成績について →申請時点で判明している単位数が学業成績基準単位以上(重要要件のものに限る)を修得していること。 →申請時点で判明している学業成績評価が、GPA2.50以上であること。 (2)家計基準について 原則として父母の合計年収が、本学の定める次の家計基準内であること。 ・給与世帯の年収収入 841万円 ・給与世帯以外の所得収入 約450万円 ・給与世帯以外の所得収入 350万円 ※「明治大学給費奨学金」に採用された方の中で、学業成績および履修状況により採用を決定します。	給付奨学金	年額3万円	1年間(毎年度申請可)	若干名	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学連合父母会一般給付奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 連合父母会の資金を原資として経済的理由により進学困難な学生に給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)成績について →一定の学業成績基準単位以上の単位数を修得していること →学業成績評価が、GPA2.20以上であること (2)家計基準について 原則として父母の合計年収が、本学の定める次の家計基準内であること。 ・給与世帯の年収収入 約450万円 ・給与世帯以外の所得収入 約141万円	給付奨学金	年額25万円	1年間(毎年度申請可)	約100名	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学校友会奨学金「前へ！」	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 本学卒業生で構成されている明治大学校友会からの寄付を原資として、経済的理由により進学困難な学部1～3年次の学生に地域性および経済状況を重視し、給付します。 2 対象学年 1～4年次生 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)成績について →一定の学業成績基準単位以上の単位数を修得していること →学業成績評価が、GPA2.20以上であること (2)家計基準について 原則として父母の合計年収が、本学の定める次の家計基準内であること ・給与世帯の年収収入 約450万円 ・給与世帯以外の所得収入 約141万円	給付奨学金	年額20万円	1年間(毎年度申請可)	約100名	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学創立者記念経済支援奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 経済的に困難している学部生で、両親ともおらず自活している者や、身体に障がいのある者に給付します。 2 対象学年 1～4年次生 3 対象学部 全学部 4 申請資格 (1)定められた単位数を修得していること (2)家計支援者が給与収入841万円、給与外所得の場合355万円	給付奨学金	年額24万円又は36万円	1年間(毎年度申請可)	若干名	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学創立者記念課外活動奨励金	入学後		課外活動支援制度	1 進学 本学学部生、学部生により構成されている学生団体が行う課外活動を奨励、支援する。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 奨励金の種類 (1)学業奨励奨励金 文化・芸術、スポーツ等に係る大会、コンクール等において優れた成績を収め若しくは高い社会的評価を受けた学生及び学生団体を対象に募集します。 (2)学業奨励奨励金 国際交流、協力、地域連携、ボランティア等の分野において他の学生の模範となる顕著な活動を実施し、その実践に貢献した学生及び学生団体を対象に募集します。(これから新規活動にチャレンジする学生及び学生団体への支援制度です) (3)交代修習奨励金 国際交流、協力、地域連携、ボランティア等の分野において他の学生の模範となる顕著な活動を行った学生及び学生団体を対象に募集します。(既にに行った活動に対して奨励する制度です)	給付奨学金	年額1万～50万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援事務局(課外担当)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明治大学スポーツ奨励奨学金	その他	新入生は高校在学中に申請、在學生は入学後(毎年7月)に申請する。	学費支援 用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度	1 進学 体育会運動部に所属し、スポーツ活動で卓越した成績を修めた者、文武の両立に専心しつつも、経済的支援を必要とする者に給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 定められた単位数を修得していること	給付奨学金 免除・減免	授業料年額相当額又は授業料年額2分の1相当額	1年間(毎年度申請可)	180名以内	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	条件有り併用可	
	入試広報事務局	明大サポート奨学金～めいじろからのお礼～	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援	1 進学 (家計支援者の失業や大規模な減給などによる)家計急変、継続的に困難し学費の支払いが困難な者に給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 (1)定められた単位数を修得していること (2)家計収入が無収入に近い状態であること	給付奨学金	授業料年額4分の1相当額	1年間(在学中1回限り)	若干名(家計急変者が対象)	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	併用可	
	入試広報事務局	明治大学災害特別給費奨学金	随時		被災者資金支援	1 進学 地震・風水害等の自然災害により被害に遭い家計が急変した者に給付します。 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 主な申請資格 災害等の被災により、一定の被害を受けた者	給付奨学金	授業料年額相当額又は授業料年額2分の1相当額(被害状況による)	1年間	震災証明等の状況証拠を証明する公的な書類に基づき、採否を決定する。	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	併用可	
	入試広報事務局	明治大学連合父母会特別給付奨学金	入学後		その他	1 進学 入学後に主たる家計支援者が死亡した学部生に対し、経済的援助を目的に給付する奨学金 2 対象学年 1～4年次 3 対象学部 全学部 4 申請資格 家計支援者が死亡してから1年以内。ただし、事由発生は、入学後に限ります。	給付奨学金	文系学部:40万円 理系学部:70万円	1年間	具体的な人数上限は設けられていないが、家計支援者が死亡してから1年以内に申請する。	地域の制限なし	学生支援事務局(奨学金係)	併用可	併用可	



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)「その他」の具体的な内容	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
明星大学	学生サポートセンター	明星大学勤労奨学金	在学中	1～3年生	学費支援 その他	人材育成	給付奨学金	年間30万円(月額3万円)	1年間(最長3年間継続可)	2024年度新規採用29名(勤労学生全体で100名程度)	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学防災支援学生等の特別支援措置	在学中	1～4年生 ※事由となる災害が発生してから1年以内の発生に対して適用 ※在学中に発生し、その後卒業した学生等については、卒業の日から1ヶ月以内に申請を行うことを条件に適用	被災者資金支援 学費支援		給付奨学金	申請資格①7か年から該当した場合 ②入学金及び授業料等納付金(1年分相当額) ③入学金及び授業料等納付金(1年分相当額) ④入学金及び授業料等納付金(1年分相当額の5分の1) ⑤入学金及び授業料等納付金(1年分相当額の5分の1) ⑥原則として入学金及び授業料等納付金(1年分相当額の10分の1)。 ※入学金の給付は、既に学校に登録している学生等には適用されない。	原則として半年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学特待生奨学金(学部)	在学中	2～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	50万円	毎年度	30名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学スポーツ・文化活動特別奨学金	その他		学費支援 課外活動支援制度		給付奨学金	20万円または50万円	150万円 4年間(毎年審査あり) 20万円 毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学特別奨学生奨学金	その他	一般選抜1期3教科型・4教科型又は3期3教科型に出席することで自動エントリー	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	180万円 220万円	毎年度	最大30名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学特待生奨学金(4年生特)	在学中	4年生	学費支援		給付奨学金	50万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学特待生奨学金(緊急対応枠)	在学中	1～4年生	学費支援		給付奨学金	50万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学石間奨学金	在学中	4年生	学費支援		給付奨学金	40万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学建築系小佐野奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 特選を定めない経済的支援		給付奨学金	20万円	毎年度	2名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学児童福祉奨学金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料減免		免除・減免	入学金の免除及び年間学費の半額減免	4年間(継続審査あり)	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学明星ファミリー奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援		給付奨学金	申請書を添付、兄弟姉妹1人につき20万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学特待生奨学金(内部選考)	在学中	4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	25万円	毎年度	12名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学スポーツ活動等特別奨学金	入学後		入学金・授業料減免		免除・減免	学費の全額(資格を満たした学年の年度の翌年度の学費)	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学における海外留学の奨学金(交換/語学留学)	在学中	1～4年生	入学金・授業料減免		免除・減免	入学金及び施設維持費を除く学費	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	学生サポートセンター	明星大学における海外留学の奨学金(短期留学)	在学中	1～4年生	留学費用支援制度		給付奨学金	海外留学:最大30万円 国内留学:最大10万円	毎年度	40名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可



大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を定めている場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
立教大学	学生部学生課	自由の学習奨学金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	文系学部 年額50万円 理系学部 年額70万円	原則として4年間給付。ただし、学業成績および収入基準により年度ごとに継続審査を行う。		地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可		
	学生部学生課	GLAP奨学金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	年額120万円	原則として4年間給付。ただし、学業成績および収入基準により年度ごとに継続審査を行う。		地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可		
	学生部学生課	学部給与奨学金	在中	学部1～4年次		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	文系学部 年額50万円 理系学部 年額100万円 GLAP※ 年額60万円 ※グローバルリベラルアーツプログラム	毎年度	年間70名程度	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	大塚利信記念奨学金	在中	学部1～4年次		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	年額50万円	毎年度	6名	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	学業奨励奨学金	在中	学部2～4年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	年額20万円	毎年度	68名以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	GLAP学業奨励奨学金	在中	学部2～4年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	年額20万円	毎年度	各学部2名以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	内藤昌尚奨学金	在中	学部2～4年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	年額30万円	毎年度	各学部1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	緊急給与奨学金	在中	学部1～4年次		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	年額30万円	毎年度	受給資格を満たす学生全員	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	被災地(災害救助法適用地域)の入学者に対する経済支援制度	在中	学部1年次		入学会・授業料免除 被災資金支援		免除・減免	入学会返還および入学年次の入学会を除く年間費の2分の1を減免	毎年度	受給資格を満たす学生全員	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可		
	学生部学生課	松崎三郎記念奨学金	在中	学部2～4年次		課外活動支援制度		給付奨学金	年額40万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	ポール・ラッシュ博士記念奨学金	在中	学部1～4年次		課外活動支援制度		給付奨学金	年額70万円以内	毎年度	若干名	地域の制限なし	ボランティアセンター	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	野口定男記念奨学金	在中	学部1～4年次		課外活動支援制度		給付奨学金	年額5万円程度	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	吉原奨学金	在中	学部1～4年次		課外活動支援制度		給付奨学金	年額5万円程度	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可	
	学生部学生課	大川又三郎記念奨学金	在中	学部3年次		研究支援		給付奨学金	年額30万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	ロザリー・レナード・メッチェル奨学金	在中	学部1～4年次		研究支援		給付奨学金	ジャンルに関わらず活動・研究をした、または計画している学生に対し支給する奨学金。	毎年度	ジャンル・フェーラム年報掲載論文数文 年額5万円または10万円 活動・研究対象 年額20万円以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	グローバル奨学金	在中	学部1～4年次		留学費用支援制度		給付奨学金	経済的理由により立教大学が実施する海外留学プログラムへの参加費用および留学中の学費の納入が困難な学生に対し支給する奨学金。	毎年度	所定の支給基準により、年額10万円～60万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	校友会成績優秀者留学支援奨学金	在中	学部2～4年次		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		給付奨学金	立教大学が実施する海外留学プログラムに参加する学業成績優秀な学生を対象に、留学中の学業を奨励し、卒業後に立教大学校友会の発展に寄与する人材に成長することを目的として支給する奨学金。	毎年度	年額20万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	しょうがいしゃ学業奨励奨学金	在中	学部1～4年次		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	しょうがい、難病等のある学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	毎年度	年額20万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	竹田昭三博士奨励金	在中	学部1～3年次		用途を定めない経済的支援		給付奨学金	立教大学各学部のしょうがいのある学生・生徒・児童を対象として、その学校生活奨励を目的として支給する奨励金。	毎年度	年額10万円程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	高松孝昭記念奨学金	在中	学部3～4年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	学業成績、人物ともに優秀なキリスト教学科の学生に対し支給する奨学金。	毎年度	年額5万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	経済学部開設100周年記念奨学金	在中	学部1～4年次		その他	優れた論文提出者に支給	給付奨学金	学業性のある経済学部学生の研究奨励を目的として、優れた論文提出者に対し支給する奨学金。	毎年度	年額30万円または20万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	東京税理士会奨励金	在中	学部1～4年次		資格取得支援制度		給付奨学金	在学中に税理士試験の受験科目に合格した経済学部の学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	毎年度	年額20万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	理学部創立30周年記念奨学金	在中	学部1～4年次		その他	優れた論文提出者に支給	給付奨学金	著書力、独力論文発表者に対し支給する奨学金。	毎年度	年額30万円、20万円または10万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	真珠奨学金	在中	学部3年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	学業成績が特に優れた、勉学意欲の旺盛な法学部の学生に対し支給する奨学金。	毎年度	年額60万円	2年間給付	学生部学生課	併用可	併用可	
	学生部学生課	藤引賞	在中	学部2年次		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度		給付奨学金	学部3年次において立教大学派遣留学制度により協定校に留学する法学部2年次に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	毎年度	年額50万円	地域の制限なし	法学部	併用可	併用可	
学生部学生課	コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学部「田中孝奨学金(震災)」	在中	学部1～4年次		用途を定めない経済的支援 被災資金支援		給付奨学金	東日本大震災で被災したコミュニティ福祉学部またはスポーツウエルネス学部の学生に対し、経済奨励を目的として支給する奨学金。日本学生支援機構奨学金を受給または出願している者が対象。	毎年度	年額60万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可		
学生部学生課	コミュニティ福祉学部「田中孝奨学金(災害復興)」	学校出願時			学費支援 用途を定めない経済的支援		給付奨学金	自由選抜入試によってコミュニティ福祉学部への入学を希望しながらも経済的理由により入学が困難な受験生に対し、入学後の経済的支援を行うことを目的とした奨学金。	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	条件有りで併用可		
学生部学生課	校友会奨学金	在中	学部3年次		特待生・成績優秀者		給付奨学金	卒業後の目標実現し活躍が期待され、学業成績が優秀である学生、あるいは学業成績が良好かつ課外活動で顕著な成果を収めた学生に対し支給する奨学金。 学部3年次に出願し、4年次に支給する。	毎年度	年額50万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
学生部学生課	田中啓久奨学金	在中	学部2～3年次		課外活動支援制度		給付奨学金	アジア諸国のボランティア活動(NPO/NGOを訪問し、活動または研究を通して疑問を広く深い教養を身につけることを目的とした海外課外活動経験を持ち、かつ学業成績が優秀な学生に対し支給する奨学金。	毎年度	年額40万円	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで併用可		
立正大学	入試センター	立正大学学術経済支援奨学生	入学後	入学後	学費支援		給付奨学金	経済的理由により学費の支弁が困難である勤労な学生に対し学費減免を図ることにより、その学業・研究活動を奨励し、有為な人材を育成することを目的としています。 卒業後の進路確保はありません。 【対象】全学部	1年間1度	人数制限なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	入試センター	立正大学校友会成績優秀奨学金	在中	1年生～3年生	特待生・成績優秀者		給付奨学金	勉学意欲に富み、かつ成績優秀な学生に対して、その学業・研究活動を奨励し、社会の発展に貢献する人材を育成することを目的としています。 当該年度末までに専攻したGPAにおける成績上位者に対し審査します。 卒業後の進路確保はありません。 【対象】全学部	1年につき1回		学部学科により異なる	校友課	併用可	併用可		
	入試センター	立正大学学業継続支援奨学生	在中	1年生～4年生	学費支援		給付奨学金	在学中に発生した新たな経済的事由によって困難し、学費の納入が困難になった勤労な学生に対し学費減免を図ることにより、学業の継続機会を与えることを目的としています。 卒業後の進路の確保はありません。 【対象】全学部	原則在籍期間中1回		指定なし	学生生活課	併用可	併用可		
	入試センター	立正大学特別奨学生	入学後	入学後	特待生・成績優秀者		給付奨学金	勉学意欲に富み、かつ成績優秀な学生に対してその学業・研究活動を奨励し、有為な人材を育成することを目的としています。 卒業後の進路確保はありません。 【対象】所定の試験日に受験した者	1回限り		150名	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可	
	入試センター	立正大学チャレンジ奨学生	学校出願時			学費支援 授業料免除 研究支援 留学費用支援制度 課外活動支援制度		給付奨学金	給付給付は学業奨励と、奨学生が自ら計画する学業、研究、留学やワールドワープなど、様々なチャレンジ活動に使用可能なチャレンジ奨学金の2つからなる。学業やチャレンジプログラムを支援することを目的とした奨学金制度。 【金額】学業奨励金:年額50万円を4年間 チャレンジ奨学金:4年間で合計120万円 【条件】上学部一般選抜(7方式)の試験終了後に行う審査に出席すること。＜7方式＞の成績と選考の詳細に基づき奨学生として審査・採用する。 【対象】全学部	学業奨励金:年額50万円を4年間 チャレンジ奨学金:4年間で合計120万円	学業奨励金:年額50万円を4年間 チャレンジ奨学金:4年間で合計120万円	最大30名を予定	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可
和光大学	学生支援課	特待生試験	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学会・授業料免除		給付奨学金	一般選抜前期(英・国方式)、一般選抜後期(英・国方式)のいずれかの方式で受験し、2科目合計160点以上得点した者全員を特待生とする。	免除・減免	初年度学費90万円免除。2年次以降も優秀な成績をおさめると、4年間で最大360万円免除となる。	年度ごとに審査あり。	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可
	学生支援課	輝け！未来の和光ルビー 和光大学給付奨学金<入学前採用>	その他	1～2月(入試への出願時でも申請可)	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	和光大学に入学する教(外国人留学生を除く)で、学業成績が優秀であるとは関わらず、経済的理由で学費が困難な者	毎年度	授業料半額(後期分充当)		30人以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	学生支援課	輝け！未来の和光サファイア 和光大学給付奨学金(在中)	在中	2,3,4年	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	学力基準 学部3年次末もしくは2学期末までの成績の評定平均値が3.5以上(小数点第2位で四捨五入) 学力基準 総合所得を含む世帯・主たる生計維持者の総収入金額が941万円以下 給与所得を含まない世帯・主たる生計維持者の総所得金額が355万円以下	毎年度	授業料半額(後期分充当)		70人以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	学生支援課	輝け！未来の和光ダイヤモンド 和光大学成績優秀者奨学金(給付制)	在中	2,3,4年	特待生・成績優秀者 学費支援		給付奨学金	学力基準 前年度の修得単位の3/5(5)の単位の合計が25単位以上あること(教職等履修科目を除く)。	毎年度	授業料半額(後期分充当)		8人以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生支援課	授業料免除制度	随時		学費支援 授業料免除 被災資金支援		給付奨学金	以下の1)および2)の基準を満たす大学1～4年次生(留年中の者を含む)および大学院生(3、4年課程生を含む) 1)次の事由のいずれかに該当する者 ・特別特待生の死亡、葬儀または火葬による半年以上の治療、免除(非自発的失業)、確定によって家計が急変し、急変月12か月(急変した月を含む)と急変以降12か月(急変した月を含む)の世帯収入金額を比較したとき、その減少率が50%以上(小数点以下切り捨て)以上であること。 ・大震災あるいは地震、台風等の自然災害により被害を受け、家計が急変した者 2)所定の成績基準を満たす者	免除・減免	授業料半額(申請時充当)		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生支援課	学費延納制度	在中		学費支援		その他	やむを得ない事情により期限までに学費を納入できない全ての在学生	各学期		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	東京純心大学	学生生活課	看護学部 看護学科 特待生制度	その他		特待生・成績優秀者		免除・減免	●当該年度における、一般選抜(第1回)合格者のうち、成績が第1・2・3位の者に対し、 「第1位の者」は、授業料及び教育充実費を全額免除します。 「第2位及び3位の者」は、授業料及び教育充実費の半額を免除します。 ●2～4年次には、それぞれ前年度の成績が以上の在学生に対し、特待生制度があります。	当該年度	人数制限あり	地域の制限なし	受験生・入試課、在学生・学務課	併用可	条件有りで併用可	
学生生活課		東京純心大学後援奨学金	在中	2年以上	学費支援		給付奨学金 免除・減免	後援の授業料のうち200,000円	当該年度	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用不可	条件有りで併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・学科・専攻・専攻の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種別	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
学習院女子大学	事務統括部事務運営課(学生部)	学習院女子大学学費支援給付奨学金	その他	公表していない。	その他	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	給付奨学金	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	地域の制限なし	学生部			
	事務統括部事務運営課(学生部)	学習院女子大学学費優待給付奨学金	その他	公表していない。	その他	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	給付奨学金	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	地域の制限なし	学生部			
	事務統括部事務運営課(学生部)	安倍前総理記念教育基金女子大学部奨学金	その他	公表していない。	その他	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	給付奨学金	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	詳細は学習院女子大学ホームページをご確認ください。	地域の制限なし	学生部			
	事務統括部事務運営課(学生部)	入学試験成績優秀者授業料減免制度	入学手續特		特待生・成績優秀者		免除・減免	(3)参照	1回限り	(3)参照	地域の制限なし	入試係	条件有りで併用可	併用可
	事務統括部事務運営課(学生部)	学習院女子大学入学前予約給付奨学金「やわらぎ奨学金」	学校出願時		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		給付奨学金	給付金額 100万円	入学年度に限り(入学後、2回に分けて給付予定)	採用候補者数 20名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
嘉悦大学	学生支援センター	特待生奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	入学選抜毎、要件によって初年度授業料の全額、初年度授業料半額、入学金の全額または、入学金の半額を免除する制度です。	免除・減免							
	学生支援センター	資格優遇特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	下記資格保有者で、本制度を申請する受験生は資格優遇特待生制度申請書(所定用紙)と取得資格証明書のコピーを出願時に提出する。 -簿記実務検定 -簿記能力検定 -簿記検定 -実用英語技能検定 -秘書検定 -情報処理技術者試験 -実用数学技能検定	免除・減免	①入学金全額免除および初年度の授業料半額免除(550,000円) ②入学金全額免除および初年度の授業料全額免除(900,000円)	免除対象年度は1年次となります。年間の成績が上位10%以内で次年度も継続できます。なお、本学独自の奨学金制度は重複して利用することはできません。	若干名				
	学生支援センター	両立生女子入学金免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	二親等以内(祖父、父、兄弟姉妹、配偶者)の親類に嘉悦大学(大学院、短期大学を含む)または、かつ有明中等教育学校(嘉悦女子中学・嘉悦女子高等学院を含む)の卒業生・在校生がいる受験生は、入学手続きの際、入学金(20万円)が免除になります。	免除・減免	20万円	①1回限り	①人数制限なし				
	学生支援センター	修学支援授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免	経済的理由により修学困難な学生に対し、授業料を減免する制度です。 本学で定めた学費負担者を含む世帯の所得基準、卒業実績等により選考を行います。	免除・減免	減免額については、減免が承認された者の人数に応じて一人当たり年間授業料の2分の1以内としています。	半年間	①人数制限なし	学生支援センター	併用不可	併用不可	
	学生支援センター	優待金制度	在学中	1年生～4年生	資格取得支援制度	1年～4年生対象 在籍する学生の各種資格等の取得を奨励するために、資格を取得した学生に対し奨励金を支給する制度。日簿記検定等本学が推奨する資格取得した学生に対し規定された金額を支給する。	給付奨学金	5万円～30万円	①1つの資格に対して在学中1回限り	①人数制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	後援会奨学金制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	給付対象者 嘉悦大学に在学する2年次以上の学生で、次の各号に該当する者。 (1)人物良好及び成績優秀者で嘉悦大学に貢献した者 (2)嘉悦大学及び他機関の奨学金を給付されていない者	給付奨学金	年間授業料の2分の1相当額	年1回	原則各年4名以内(1年生を除く)	学生支援センター	併用不可	併用不可	
	学生支援センター	後援会学修奨励奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	嘉悦大学に在学する2年次以上の学生で、次の各号に該当する者。 (1)給付対象者(成績優秀者)の推薦書が4名宛宛、各号で推薦しられていて取得単位数が2年次36単位、3年次72単位、4年次108単位以上の者。 推薦書のうち1名以上は推薦単位数が多いもの優先する。 (2)嘉悦大学及び他機関の奨学金を給付されていない者	給付奨学金	年間授業料の2分の1相当額	1回	各学部・学年1名(1年生を除く)	学生支援センター	併用不可	併用不可	
	学生支援センター	長期派遣留学期間奨励金制度	在学中		留学期間支援制度	長期留学する学生が、さらに一層留学に取り組めるよう、留学にかかわる費用の一部を補助金として支給します。 補助対象者：本学と提携している海外の大学に派遣留学学生として認められた者	給付奨学金	15万円	年1回	10名	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	短期派遣留学期間奨励金制度	在学中		留学期間支援制度	短期留学する学生が、さらに一層留学に取り組めるよう、留学にかかわる費用の一部を補助金として支給します。 大学の正規授業として実施される海外短期研修に参加する者を対象とします。	給付奨学金	10万	年1回	8名	学生支援センター	併用可	併用可	
	学生支援センター	後援会会計急ぎに伴う緊急奨学金制度	在学中		用途を定めない経済的支援	家計急ぎにより修学が困難である者が学業に専念できよう、経済的援助を行うために給付します。	給付奨学金	年間授業料の2分の1以内とする	在学中1回限り	①人数制限なし	学生支援センター	併用不可	併用不可	
東京富士大学	入試広報課	TFUスカラシップ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	TFUスカラシップ制度で免除された学費は、一切返還する必要はありません。 A特待は、入学以外の学費(授業料、施設費、教育充実費等)を全額免除(減免額424万円)。 即ち、特待は国立大学並みの費用で学ぶことができます(減免額100万円)。 TFUスカラシップ制度における入学以外の学費免除額は、継続条件を満たしている限り年間限りではありません。 特別待遇のランクと継続条件 A特待 毎年度の成績が上位10%以内 B特待 毎年度の成績が上位20%以内 C特待 毎年度の成績が上位40%以内 どれも原則として毎年度の取得単位数が30単位未満となるとき(4年次を除く)	免除・減免	A特待生 年間106万円免除 B特待生 年間45万円免除 C特待生 22.5万円免除	4年連続(継続条件あり)	若干名		入試広報課	併用可	併用可
東京聖栄大学	入試・広報課	入試成績優秀特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者	入学者選抜試験において優異な成績で合格し入学した者(1年次生対象 8名以内)	給付奨学金	300,000円	①1年間 ②1回限り	8名以内		併用可	併用可	
	入試・広報課	学業成績優秀奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	前年度(1年間)における学業成績が特に優秀で、品行方正かつ心身ともに健全な者(2-3年次生対象 各学年8名以内)	給付奨学金	100,000円	年間でのみ支給	2,3年次生 各6名以内		併用可	併用可	
	入試・広報課	教育ローン補給奨学金	学校出願時		学費支援	保護者が学生納付金等相当額の国の教育ローンの融資を受けた者で、以下の返済基準を満たした者。①本学に在籍している教2.経済的理由により、学習の継続が困難であるため、上記の返済方法で返済すること②学習を継続するといふ強い意思が認められること③学費支援弁済の申請受理時の家計基準が別に定める基準以下であること(全学生対象)	給付奨学金	在学期間中に金融機関等へ支払した学生納付金等相当額の借入金を全額相当額	返済の教育ローンの融資を受けた年度分(入学後の場合は、入学年度分)から本学に在学する期間	人数制限なし		併用可	併用可	
白梅学園大学	学生課	白梅学園大学・白梅学園短期大学 給付奨学金	その他	入学前採用と在学採用を行う。入学前採用は、入学試験要項に定める卒業を行う。在学採用は別に募集する。	学費支援	【目的】学習意欲が高く経済的理由により修学に困難を抱えるものに対して、学納金の一部(施設費)を給付し、修学を奨励することを目的とし【条件】家計基準や学力基準の要件を満たしていること	給付奨学金	年額30万円	1年間、専ら費用のため、年度ごとに申請が必要です。	30名		併用不可	併用可	
	学生課	白梅学園大学・白梅学園短期大学 特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	白梅特待生チャレンジ入試への出願をもって自動エントリーされます。白梅特待生チャレンジ入試の合格者に対して成績上位より、授業料の全額相当額1名、半額相当額3名を最大4年間給付します。	給付奨学金	①授業料全額相当額 1名 ②授業料半額相当額 3名	最大4年間	①授業料全額相当額 1名 ②授業料半額相当額 3名	学生課	条件有りで併用可	併用可	
デジタルハリウッド大学	入試広報グループ	デジタルハリウッド大学派遣留学期間奨学金	入学後		留学期間支援制度		免除・減免	月額10万円	①1年間 ②1回限り	地域の制限なし	入試広報グループ	併用可	併用可	
	入試広報グループ	デジタルハリウッド大学私費外国人学生奨学金制度	随時		学費支援		給付奨学金	月額5万円		地域の制限なし		併用可	併用可	
	入試広報グループ	デジタルハリウッド大学学費減免制度	入学後		学費支援	条件：本学に在籍する日本人及び「留学」の在留資格を有する外国籍の者であり、かつ本学提携の信頼会社の教育ローンを利用できない者	給付奨学金	家計の事情に応じて決定(最大当該年度の学費・雑費用全額)		地域の制限なし		併用可	併用不可	
	入試広報グループ	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	条件：本学特待生入学試験の合格者の中から特に出された者	免除・減免	1種：授業料全額、2種：授業料半額、3種：授業料25%、4種：授業料25%(※初年度のめ)		地域の制限なし		併用可	併用不可	
	入試広報グループ	スカラシップ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	一般入学試験(A方式およびB方式)、大学入試センター試験(旧入試)期の合格者の中から特に優れた者	免除・減免	初年度授業料全額、2年次以降半額(GPAが2.5以上)		地域の制限なし				
東京未来大学	エンrollment・マネジメント局 奨学金担当	特待生制度	入学後		特待生・成績優秀者 奨励制度 入学金・授業料減免	対象学部：こども心理学部、モチベーション行動科学部 対象学年：入学時の新入生 出願資格：特待生対象者の入試基準に準ずる	免除・減免	年額10万円、30万円、50万円のいずれか	最長4年間(毎年度継続審査あり)	若干名	エンrollment・マネジメント局	併用可	併用可	
	エンrollment・マネジメント局 奨学金担当	みらい奨学金	在学中		学費支援	対象学部：こども心理学部、モチベーション行動科学部に在学する2年次～4年生 条件：学業成績が優れていること	給付奨学金 免除・減免	年15万円の授業料減免	1年間(継続審査は実施せず毎年選抜)	若干名	エンrollment・マネジメント局 奨学金担当	併用不可	併用不可	
こども教育宝仙大学	教養・学生課	こども教育宝仙大学奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	(1)学業成績が優秀で、将来就職・進学につくことを希望する2～4年生 (2)大学の活動に積極的に参加し、学業および生活面において他の優遇となる2～4年生 (3)経済的支援を必要とする1～4年生	給付奨学金	原則年間授業料の全額(80万)、1/2相当額(40万円)、1/4相当額(20万円)、1/8相当額(10万円)のいずれか	1年間	若干名	学生生活委員会	併用可	併用可	
東京医療学院大学	入試広報室	東京医療学院大学奨学金貸付制度	在学中	2年次、3年次および4年次	学費支援	2年次から4年次に在籍する東京医療学院大学の学生で、経済的理由により、授業料その他納付金の支弁が困難な学生。	貸付奨学金	貸付金の10万円のいずれか	1年間	若干名	学生課	併用可	併用可	
	入試広報室	東京医療学院大学特待生制度	在学中	2年次、3年次および4年次	特待生・成績優秀者	1年次から5年次の各学年終了時において、リハビリテーション科学部理学療法専攻及び看護学部の学生は各学年の学業成績が第1位、第2位の学生、リハビリテーション科学部薬理学専攻の学生は各学年の学業成績が第1位の学生。	免除・減免	年間授業料の2分の1		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	入試広報室	東京医療学院大学の学費減免給付制度	在学中	3年次以降	学費支援	本学に4年間で在籍した学生で、当該在学期間の授業料、施設費及び施設整備費を完結している者。ただし、その他の履修等により授業料の減免を受けている者は専業主張金の給付対象者にはならない。	給付奨学金	年間授業料の2分の1		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
神奈川大学	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金給費生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学費・授業料減免 用途を定めない経済的支援		【対象者】 給費生試験で給費生合格し、入学した者	給付奨学金	-入学金相当額給付 -法、経済、人間科学部 年額100万円給付 -経済、外国語、国際日本学部 年額110万円給付 -理工学部 年額145万円給付 -自宅外通学者には生活補助金70万円給付	原則として4年間給付(継続審査あり)	人数制限なし	地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金修学支援奨学金	在学中	2-4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 ① 学部2-4年次生 ② 前年度までの修得単位数が、通常標準修得単位数以上 ③ 前年度のGPAが2.0以上 ④ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	給付奨学金	【給付額】 -法、経済、人間科学部 22万円給付 -経済、外国語、国際日本学部 25万円給付 -理、工学部 31万円給付 -建築学部 34万円給付	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金新入生奨学金	在学中	1年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 ① 学部1年次生 ② 出身地の評定平均が2.5以上であること ③ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	給付奨学金	【給付額】 -法、経済、人間科学部 21万円給付 -経済、外国語、国際日本学部 24万円給付 -理、工学部 30万円給付 -建築学部 33万円給付	入学年度一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金地方出身学生支援奨学金	在学中	1年次生	用途を定めない経済的支援		【出願資格】 地方出身奨学金の採用者のうち、東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)・神奈川県を除く地方出身者で自宅外通学をしている者	給付奨学金	【給付額】 15万円	入学年度一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金海外活動支援奨学金	在学中	1-4年次生	留学費用支援制度		【出願資格】 学部1-4年次生 (1)短期海外研修 本学が実施する海外研修プログラム等又は海外インターンシップに参加する者で学業成績、人物ともに優れた者 *標準修得単位数以上であること (2)派遣交換留学 本学の学部在籍し、派遣交換留学生に決定した者	給付奨学金	【給付額】 (1)短期海外研修：5万円 (2)派遣交換留学：月額8~10万円(額と地域による)	(1)一度限り (2)留学期間内		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	
	教育・学生支援部 学生課	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1-4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度		以下の種類について、審判者の意向により募集対象が決定 ①学業成績を極めて極めて優秀な学生 ②学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由により学業の継続が困難な学生 ③ボランティア等各種社会活動や課外活動で活躍する学生	給付奨学金	【給付額】 10万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	条件有りでの併用可	
	教育・学生支援部 学生課	村橋・フロンティア奨学金	在学中	1, 2年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 学部1, 2年次生 日本学生支援機構の第一種選考基準を満たすこと *ただし、特に学業成績と認められる場合はその限りではない。	給付奨学金	【給付額】 文系40万円 理系30万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	
	教育・学生支援部 学生課	神奈川大学後援会給付奨学金	在学中	1-4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 ① 学部1-4年次生 ② 過去に後援会給付奨学金および他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	【給付額】 20万円	一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	
	教育・学生支援部 学生課	神奈川大学召戻会給付奨学金	在学中	原則として卒業年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 ① 学部1-4年次生 ② 卒業後の間の卒業または家計支持者の死亡等により家計が急変した者 ③ 成績・人物ともに優秀で健康な者	給付奨学金	【給付額】 学業単位の50%相当額	一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金指定資格取得・進路支援奨学金	在学中	1-4年次生	資格取得支援制度		【出願資格】 ① 学部1-4年次生 ② 以下のいずれかに該当していること 1. 司法試験、公認会計士試験又は税理士試験に合格した者 2. 税理士試験のうち会計士に属する科目2科目又は税法に属する科目から科目1(所得税法又は法人税法のいずれか1科目を含む)に合格した者 3. 2で奨学生に採用された者で、税理士試験に合格した者 4. 国家公務員採用総合試験、それと同等級度の公務員試験に合格した者 5. TOEFL 得点が95点以上又はTOEIC80点以上を記録した者	給付奨学金	【給付額】 10~30万円(資格・進路による)	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金学業成績優秀者奨学金	その他	申請手続き不実	特待生・成績優秀者 学費支援		「神奈川大学学業成績優秀者表彰制度」により、成績優秀者として表彰された学生	給付奨学金	【給付額】 -最優秀者: 40万円 -優秀者: 20万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金予約型奨学金	その他	出願前11月	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		【出願資格】 入学前予約型 高校を卒業後4月の方で、高校の成績が一定の基準(評定平均4.0以上)を満たす学生 ※主たる家計支持者及び従たる家計支持者(原則父兄)の収入合計700万円以下	給付奨学金	【給付額】 【自宅所在地が神奈川県・東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)以外の学生】 文系: 年額40万円 理系: 年額50万円 【自宅所在地が神奈川県・東京都の学生】 文系: 年額30万円 理系: 年額30万円	原則として4年間給付(継続審査あり)		【自宅所在地が神奈川県・東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)以外の学生】100名 【自宅所在地が神奈川県・東京都の学生】100名	教育・学生支援部 学生課	併用可	
	教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金神奈川大学出身者支援奨学金	在学中	学部4年次	特待生・成績優秀者 学費支援		【出願資格】 学部4年次に在籍し、次年度本大学院への進学を希望する者。 (本大学院校舎入学試験または専攻入学試験出願予定者)	給付奨学金	【給付額】 理、工学研究科: 22万円 その他の研究科: 15万円	入学年度一度限り		50名	地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可
教育・学生支援部 学生課	米田吉徳教育奨学金学術研究活動支援奨学金	在学中	1-4年次生	研究費支援		【出願資格】 研究における明確な目標をもち、学業成績、人物ともに優れた、かつ学術研究分野において優れた実績をあげた学生	給付奨学金	【給付額】 2万円~(活動内容及び実績による)	採用年度限り			地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	
神奈川歯科大学	教育学部	KDU入学サポート制度	入学手続き時	入学金・授業料減免				免除・減免				地域の制限なし			
	教育学部	特待生制度	在学中	2年生以上	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免			免除・減免				地域の制限なし			
	教育学部	授業料減免制度	在学中	2年生以上	入学金・授業料減免			免除・減免			①1年間 ②1回限り		地域の制限なし		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
関東学院大学	大学経営課	関東学院大学スカラシップ制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜(前期日程・3科目(50等配点)型)試験合格者において成績上位者または、大学入学共通テスト利用選抜(後期日程)5科目スカラシップ試験合格者、かつ入学後学業成績が優秀である者(2年次以降の継続は、学生ごとに学業成績等の審査あり)。 特選型奨励入学金、授業料減免との併用不可。但し、日本学生支援機構給付奨学金との併用は可。	免除・減免	入学初年度に入学金と初年度年間授業料を全額免除	最長4学年。2年次以降の継続は、学生ごとに学業成績等の審査を行い、継続の可否を決定する	100名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
	大学経営課	関東学院大学チャレンジ・スカラシップ制度	その他	入学手続き後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	入学金および授業料の免除	最長4学年。2年次以降の継続は、学生ごとに学業成績等の審査を行い、継続の可否を決定する	各学部若干名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可		
	大学経営課	関東学院大学特待生制度	在学中	3年次および4年生	特待生・成績優秀者	給付奨学金	年間20万円	1学年	70名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	大学経営課	関東学院大学給付奨学金	在学中	学部2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	年間20万円	1学年。ただし、毎年度申請することができる	50名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有り併用可		
	大学経営課	関東学院大学スポーツスカラシップ制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	入学金・学費・雑納金の一部、もしくは全額免除(免除額等の条件については別途基準・審査あり)	1学年。ただし、大学スポーツ振興委員会が毎年審査を行い、最長4学年の継続を認める	1名以内とし、大学スポーツ振興委員会が各クラブの配分を決める	地域の制限なし	スポーツ振興課	併用可	併用可		
	大学経営課	斉藤小四郎奨学金	在学中	3・4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	給付奨学金	振興費年度により異なる	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
	大学経営課	関東学院大学教職教育ローン利息補給奨学金	在学中	各学年	学費支援	給付奨学金	教育ローン利用者のうち人物・学業・経済状況を総合的に審査	教育ローン年間利息相当(限度額あり)	最長として1学年。ただし、其審査のうえ、1年次は4年間、2年次は3年間、3年次は2年間、4年次生は1年間の継続ができる	各学年25名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	大学経営課	関東学院大学冠奨学金	その他	9月下旬～10月上旬に公募	特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度 その他	寄付者の申し出内容の条件にあった者	給付奨学金	100,000円(年間)	当該年度に限る	30名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	大学経営課	関東学院大学兄弟姉妹給付奨学金制度	入学後		入学・授業料減免	学部新入生で、兄弟姉妹が本学の学部または大学院に在籍している者。	免除・減免	入学金相当額	入学年度の6月に一括	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	大学経営課	関東学院大学スポーツ特待生制度	その他	大学スポーツ振興委員会が選考する	特待生・成績優秀者	学業・人物共に優秀で他の優遇となり、かつ、全国規模の大会又は都道府県の大会において入賞するなど、特に優れた成績を挙げた者	給付奨学金	授業料相当額又は授業料相当額の半額	1学年。ただし、修業年限内で再採用もある	20名以内	地域の制限なし	スポーツ振興課	併用可	併用可	
	大学経営課	関東学院大学外国留学期に係る授業料免除	随時		入学金・授業料減免	派遣留学生、語学派遣留学生及び公費留学生を対象とする。 ただし、語学派遣留学生については、一定の学業成績基準に達している者に限る。	免除・減免	授業料免除額、派遣留学生、語学派遣留学生及び公費留学生の留学期間に該当する学期の本来授業料とする。		地域の制限なし		併用可	条件有り併用可		
	大学経営課	関東学院大学国際交流奨学金	随時		用途を定めない経済的支援 留学費用支援制度	①本学の交換留学生、派遣留学生及び語学派遣留学生 ②協定校からの交換留学生及び派遣留学生	給付奨学金	1セメスター当たり、5万円	留学期間中		地域の制限なし				
	大学経営課	関東学院大学奨励奨学金	随時		奨励奨学金 ①奨学金 2年次から4年次 ②必要要件 次のいずれかに該当する者。ただし、申請事由は前年度又は当該年度に由来するものを選考対象とする。 ①学業・文化・高学歴に優れた者、社会に貢献した者。 ②成績優秀かつ経済的理由により勉学の継続に支障のある者で、日本学生支援機構の奨学金の貸付を受けている者。 ③「キャリア支援」 対象学年 学部生・大学院生を問わずない。 ④必要要件 次のいずれかに該当する者。ただし、申請事由は前年度又は当該年度に由来するものを選考対象とする。 ①留学 本学が主催する留学制度により留学した者。ただし、国際文化学部英語文化学科の留学支援奨学金を受けた者を除く。 ②就職(就職取得等)に際して有料講座を受講した者。 ③ボランティア 本学及び学外の活動団体が主催するボランティア活動に参加した者。	給付奨学金						地域の制限なし		併用可	条件有り併用可
	大学経営課	「関東学院女子短期大学記念」奨学金	随時		特待生・成績優秀者 学費支援	【第1種奨学金】 資格条件 人間共生学部生または栄養学部生または教育学部生で、家計支持者の欠損・死亡・災害等による家計の急変で修学困難な者。 【第2種奨学金】 資格条件 人間共生学部生または栄養学部生または教育学部生で、外国人留学期間で学業において優れた努力が認められた者(2年生以上)。 【第3種奨学金】 資格条件 人間共生学部生または栄養学部生または教育学部生で、学業において優れた努力が認められた者(2・3年生)。	給付奨学金	【第1種奨学金】対象年度の学費相当額(1年次生の場合は雑納付金を含む。) の金額又は半額とする。ただし、授業料減免措置を受けている者は減免後の授業料相当額とする。 【第2種奨学金】対象年度の授業料相当額の金額又は半額とする。ただし、授業料減免措置を受けている者は減免後の授業料相当額とする。 【第3種奨学金】年間10万円	原則として対象年度限りとする。ただし、次年再選考を経て再採用することは認めない。	【第1種奨学金】若干名 【第2種奨学金】若干名 【第3種奨学金】10名以内	地域の制限なし				
	大学経営課	経済学部「資格取得支援制度」	随時		その他	報奨金	その他	① 資格取得者 …… 試験の受験料相当額 ② 公務員等の就職内定者 …… 1万円			地域の制限なし				
	大学経営課	経済学部・経営学部「国際交流助成制度」	随時		その他	助成金	その他	長期留学(交換留学・派遣留学・語学派遣留学)…… 上限20万円 短期留学(留学)…… 上限5万円			地域の制限なし				
	大学経営課	法学部学生在外研修奨学金	随時		留学費用支援制度	法学部学生	その他	研修期間及び目的により5万～30万円	在学中2回まで		地域の制限なし				
	大学経営課	予備校課(資格)(公務員)助成金	随時		資格取得支援制度 その他	その他	その他				地域の制限なし				
	大学経営課	理工学部在外研修助成制度	随時		留学費用支援制度	理工学部2年生、3年生、4年生	その他	留学研修…… 上限5万円 交換留学・派遣留学・語学派遣留学…… 上限10万円	在学中2回まで		地域の制限なし				
	大学経営課	GAP留学給付金	学校出願時		留学費用支援制度	国際文化学部英語文化学科のみ対象。 以下の入学者選抜における成績上位の者(最大15名) 「総合選抜(8月募集)資格型」 「一般選抜(前期日程)(全学部統一総合型)・チャレンジ・スカラシップ選抜試験(指定校)を含む」 ※本学部のウェブサイトが主により、追加選出を行う可能性あり	その他	上限40万円			地域の制限なし				
相模女子大学	学務・生活支援課	特別奨学生制度	入学後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学全学部学科および短期大学部の学生 ①一般選抜および推薦型募集において、本学経済学部または大学院経済学研究科の学生である者 ②過去1年以内(入学日より起算して1年が経過していないこと)に、本学国際センターの海外留学・語学研修プログラムに参加した経験がある者 ※ただし、外国人留学期(留学)で在籍している者)とあっては、自己の出身文化圏以外で実施される国際交流プログラムとする。 ③過去に、本学部から国際交流プログラムに関する助成金・資金等の支給を受けたことのない者。または、過去に、本学部から国際交流プログラムに関する助成金・資金等の支給を受け、その金額が50万円に達していない者	免除・減免	入学年度の授業料725,000円～745,000円	大学の2年次以降、短期大学部の2年次については、成績が一定の水準を下回る場合を除き、継続して特別奨学生の扱いとし、授業料の全額を免除する。		地域の制限なし		併用可	併用可		
	学務・生活支援課	地方学生支援特別奨学金制度	学校出願時	特待生・成績優秀者	大学全学部学科および短期大学部の学生で以下の要件をすべて満たす者 要件1 神奈川県、東京都(島嶼部を除く)以外の出身者 要件2 自宅からの通学が不可能であること 要件3 保護者と生計が別であること	その他	入学年度に限り、給付金額300,000円を支給	入学年度に限り	年間上限30名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	学務・生活支援課	相模女子大学奨学金	在学中	学費支援	【奨学金】 学1) 1年生以上出身高校の課外活動の課外平均点が3.2以上であること 2年生以上は前年度の成績が上位1/2以内であること 家計: 日本学生支援機構第一種奨学金の認定基準に準じる	貸付奨学金	1種奨学金相当額 ②学費相当額(卒業年度のみ) 各学期および秋学期の学費納入期間内で授業料(または学費相当額)に充当する	1年間(4月～翌年3月)ただし、厳正な審査により更新も可	大学院・大学・短期大学部生あわせて25名程度	地域の制限なし	学務・生活支援課	併用不可	併用不可		
	学務・生活支援課	相模女子大学緊急給付奨学金	随時	学費支援 その他	家計急変等の経済的理由による緊急給付支援制度	給付奨学金	春学期または秋学期のいずれかの授業料相当額	在学中1回限りとする		地域の制限なし	学務・生活支援課	併用可	併用可		
	学務・生活支援課	相模女子大学同窓会(卒業生)卒業時緊急奨学金	その他	用途を定めない経済的支援	大学および短大の最終学年に在籍し、経済的理由により卒業が困難となる	貸付奨学金				地域の制限なし					
洗足学園音楽大学	入試センター	前田記念奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	給付奨学金	年間10万円	年1回	年間121名(2023年度実績)	地域の制限なし	教学センター 学生生活	併用可	併用可		
	入試センター	前田音楽奨励賞	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 その他	給付奨学金	年間3万円	年1回	年間15名(2023年度実績)	地域の制限なし	教学センター 学生生活	併用可	併用可		
	入試センター	前田記念留学生奨学金	その他	本学を卒業又は修了後、1年以内。	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	給付奨学金	年間50万円	年1回	年間1名(2023年度実績)	地域の制限なし	教学センター 学生生活	併用可	併用可		
	入試センター	洗足学園音楽大学資格取得支援奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 資格取得支援制度	給付奨学金	1資格科目あたり 1万円～2万円 ①資格科目 3万円 ②～④資格科目 1万円	2～5回(半期毎に申請可能)	年間100名(2022年度実績)	地域の制限なし	教学センター 学生生活	併用可	併用可		
	入試センター	外国人留学期間奨学金	その他	入学年度が当年度の外国人留学期間	特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	給付奨学金	年間20万円	年1回	年間8名(2023年度実績)	地域の制限なし	教学センター 学生生活	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	(3)「在中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
鶴見大学	鶴見大学	新入生特待奨学金制度(歯学部)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	-新入生を対象に、試験入試の成績が優秀で、人物良好な者	免除・減免	-入学年度の授業料の全額又は一部の額を免除	入学年度のみ	30名	地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可	
	鶴見大学	奨学特待生制度(文学部)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	文学部の入学試験のうちある奨学特待生選抜試験の成績が優秀な者 (奨学特待生の資格は原則として4年間継続するが、2年次以降には一定の条件がある)	免除・減免	-入学金を除く学納金(授業料、施設維持費、実験実習費)の全額又は、半額を免除	入学時から4年間とする。ただし、1年ごとに審査を行い、文学部教授授会の審議を経て、学長が、継続を決定する。		変数は、各年度、日本文学及び英語学、文学部は奨学特待生6名、理学部学生B各3名、文化財学及びIT・コミュニケーション学は奨学特待生各2名、文学部学生B各2名	地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可
	鶴見大学	特待生制度(歯学部)	在学中	第2学年から第6学年に在籍する学生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	品行方正、学術優秀であり、他校との優秀な者	免除・減免	当該年度の授業料の一部の額	毎年度ごとに選考、認定し、その期間は当該年度	各学年10名(第2学年のみ30名)	地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可	
	鶴見大学	歯学部後援会奨学金	在学中	第2学年から第6学年まで在籍する学生	特待生・成績優秀者 学費支援	-人格円満であり、経済的理由により修学に困難があり、かつ、学業優秀な者	給付奨学金	50万円	当該年度	各学年2名	地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可	
	鶴見大学	同窓会奨学金制度	在学中	1年～6年	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	-歯学部一出身に限定し、課外活動等に積極的に参加している者 -文学部一出身、人物共に優秀であり他校の奨励となる者、並びに課外活動等に積極的に参加し顕著な活躍をした者	給付奨学金	-歯学部一20万円 -文学部一20万円	当該年度	歯学部一6名 文学部一6名 文学部一1名 歯学部一1名	地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可	
	鶴見大学	石岡奨学金制度	在学中	卒業学年に在籍する学生	特待生・成績優秀者 学費支援	-卒業年度に在籍する中で、学業支障の発生、死亡又は災害等により、審判が急変、その他経済的理由により学納金の納入が困難であると認められる者	給付奨学金	30万円	当該年度			地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可
	鶴見大学	中根理恵奨学金制度	在学中	第2学年から最終学年	学費支援	-人格円満であり本学部の建学精神や寛政 輪廻保持の取組が、経済的理由により学納金の納入が困難であると認められる者	給付奨学金	当該年度の授業料の全額又は一部の額	当該年度			地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可
	鶴見大学	氏家厚子奨学金	在学中	歯学部一に在籍する者であり、指導教員などの推薦に基づき、研究発表あるいは国際的活動のために海外渡航・留学を予定している者。	学費支援 留学費用支援制度		給付奨学金	海外渡航費の全額又は一部の額	歯学部及び歯学研究科在学中のそれぞれにおいて1回限り			地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可
	鶴見大学	学納金特別貸与奨学金制度	在学中		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	-歯学部一出身、人物共に優秀であり、かつ経済的理由により学納金の納入が困難であると認められる者 -文学部一卒業継続に強い意志があり、かつ、学費支障が突如発生し、経済的理由により学納金の納入が困難であると認められる者	貸与奨学金	当該年度の授業料の全額又は一部の額	当該年度			地域の制限なし	学生支援事務部学生支援課	併用可	併用可
	東洋英和女学院大学	学生支援課	東洋英和女学院大学入試給付奨学金	在学中	1年次	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	1・2年次において優秀な学業成績を修めた3年次の学生で、学納金の納入に困難をきたしている課外活動で積極的に活動している学生15名	給付奨学金	年額2万円(返還不要)	3年次で採用されると、原則4年次も継続される。	3年次15名、4年次15名の計30名を限度として採用	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
学生支援課		スカラシップ入学試験	入学手続時		入学金・授業料減免	奨励生対象 スカラシップ入学試験において、スカラシップ(成績優秀者)として合格すると、2年間の授業料が214万円が免除される。 入学後も学業成績が一定の基準に達していれば、最長4年間の授業料が242万円が免除される。	免除・減免	2年間の授業料が214万円		①2年間 ②入学後も成績が一定の基準に達していれば最長4年間	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
学生支援課		東洋英和女学院大学留学奨励奨学金	その他	留学申請時	留学費用支援制度	全学年の2年～4年生の指定校・推薦校留学派遣学生である追加給付については、学業成績が極めて優秀であると認められる学生に対して追加支給する。	給付奨学金	20万円(追加給付はこれに35万円または70万円を加えて支給)	1回の留学期間に対して支給		年間20名(追加給付は2名または1名、金額により異なる)	地域の制限なし	国際交流センター事務局	併用可	併用可
学生支援課		東洋英和女学院大学外国人留学生奨学金	在学中	入学1年目～3年目	学費支援 用途を定めない経済的支援	①本学に留学している2年次以上の外国人留学生であること。 ②学業及び人物ともに優秀で、健康であること。 ③留学の資金が留学で滞留する自費資金の全額、大規模半額、床上下水道、半額、床下水道 ④留学上経済的援助を必要とする者 ⑤原則として他の機関又は団体から本学普通奨励奨学金と同額以上の奨学金を受けていない者	給付奨学金	月額47,000円	原則として1年間とし、2年を限度とする。		若千名	地域の制限なし	国際交流センター事務局	併用不可	条件有り併用可
学生支援課		東洋英和女学院大学私費外国人留学生授業料減免	その他		学費支援 用途を定めない経済的支援	①大学の正規課程(研究生、聴講生及び委託生を除く)に在籍する在留資格「留学」を有する私費外国人留学生であること(留費留生は除く)。 ②2年次の入学がある者 ③経済的理由により修学に困難であると認められる者	免除・減免	授業料が30パーセント以上50パーセント以内を減額する。	①1年間 ②2年次以降は毎年申請が必要		人数制限なし	地域の制限なし	国際交流センター事務局	併用可	併用可
学生支援課															
学生支援課															
学生支援課															
フェリス学院大学	総務課	フェリス学院大学奨学金学業成績優秀者給付奨学金	その他	大学で選考(申請不要)	特待生・成績優秀者 学費支援	学部2年次(2年次編入生除く)・2年次前期時点で、45単位以上修得者。学部4年次生:4年次後期時点で、卒業要件単位充足者。	給付奨学金	年額10万円	採用年度限り		24名(2年次:12名、4年次:12名)	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学奨学金自己研鑽給付奨学金	在学中	1～4年次	その他	学内・学外の活動において、顕著な自己研鑽を行った者への支援	給付奨学金	レベルに応じて、5万円、10万円、20万円の上限額がある。	採用年度限り		若千名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学経済支援給付奨学金	在学中	2～4年次	特待生・成績優秀者 学費支援	学部2～4年生(留学生は除く。2年次編入生は3年次より、3年次編入生は4年次より出願可)。日本学生支援機構奨学金第一種家計基準以内、学業GPA 2.50以上、専修奨励優等修得者	給付奨学金	年額10万円	採用年度限り		6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	音楽芸術部門賞	その他	大学で選考(申請不要)	特待生・成績優秀者	音楽学部音楽芸術学科卒業学生または大学院音楽研究科音楽芸術専攻修了学生より、プロジェクト研究のほか、学業・人物総合的に判断して専攻分野の最優秀学生と認定される者、大学が選考。	給付奨学金	上限3万円(詳細規程あり)	採用年度限り		1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学奨学金	在学中	1～4年次	学費支援	日本学生支援機構奨学金推薦基準に達しているが、日本学生支援機構奨学金の利用を断念し、それを利用してほしい場合及び利用してはならない場合に関する相談を受ける者	貸与奨学金	第1種(年額授業料相当額)第2種(年額授業料相当額の半額)第3種(年額学納金相当額)	採用年度限り		若千名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	旧フェリス女学院短期大学家政科同窓会へらるる奨学金	在学中	1～4年次	学費支援	(1)本学に1セメスター以上在籍した者。(2)学納金滞延届出者。(3)日本学生支援機構奨学金第二種家計基準以内の者。(4)専修奨励優等修得者。(5)休学中でない者。(6)休学期間を除き、専修奨励優等年級を超過していない者。	貸与奨学金	1学期10万円	採用年度限り		毎年年度5名、前期の採用者は最大2名とし、前期の採用者は5名から前期の採用者を減じた人数。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学江口奨学金	その他	第1種:臨時 第2種:大学が選考(申請不要) 第3種:年2回(4～5月) 第4種:年2回(6月と10～11月) 第5種:大学が選考(申請不要)	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	第1種:音楽学部が認める課外演奏等に参加する音楽学部生、大学院生及び副学。出願が必要。第2種:音楽学部音楽芸術学科2年次生以上及び大学院生。出願の必要はない。第3種:専攻に特化した成績で優等。第4種:音楽学部音楽芸術学科2年次生以上及び大学院生。出願が必要。出願書類に基づき審査。第5種:卒業・修了時における成績優秀者。出願の必要はない。	給付奨学金	第1種:参加者1名につき上限5万円。第2種:音楽芸術学科2年次生1名につき40万円。3年次生及び4年次生1名につき10万円。第4種:1名につき上限10万円(給付総額の上限は20万円とする)。第3種:1名につき上限20万円。第5種:1名につき20万円。	第1種、第2種、第4種、第6種、第7種:採用年度限り 第3種:2名以内、第5種:2名以内、第7種:3名以内	第1種:20名以内、第2種:音楽芸術学科2年次生、3年次生、4年次生:各2名以内、第4種:3名以内、第5種:2名以内、第7種:3名以内	地域の制限なし	総務課(山手キャンパス)	併用可	併用可	
	総務課	フェリス学院大学基本4H奨学金	その他	派遣留学決定後、本学が指定した期日	特待生・成績優秀者 学費支援	1.留学時の経費負担が大きい英語圏である次の派遣先(協定される交換留学先)：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ。 2.本学における学業GPAが3.00以上の者。 3.TOEFL iBT 81以上。または、IELTS 6.5以上の者。 4.奨学金決定時及び留学終了後、寄附者に対して書面での挨拶及び成果報告を行うことに同意する者	給付奨学金	留学先授業料相当額(上限300万円)、旅経費(食費費用、送金手数料等)は含まない。	留学期間中		最大2名。ただし、TOEFL iBTスコア又はIELTSのスコアによる。 TOEFL iBT 80以上又はIELTS 6.0以上。上限300万円。最大1名。 TOEFL iBT 80以上又はIELTS 5.5以上。上限150万円。最大2名	国際課	併用不可	条件有り併用可	
	総務課	フェリス学院大学派遣留学奨学金Ⅰ	その他	派遣留学出願時	学費支援	1.授業料相互免除でない協定校への派遣留学学生 2.派遣認定留学学生 3.セメスター・アブロード派遣学生(TOEFL iBT 84以上またはIELTS 6.5以上)	給付奨学金	1.本学学納金の全額または一部を給付 最大130万円 2.本学学納金の一部を給付 最大43万円 3.本学学納金の一部を給付 最大20万円	留学開始前の一括支給、または派遣期間中に分次支給		予算に計上された員数以内	地域の制限なし	国際課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学派遣留学奨学金Ⅱ	その他	留学出願時に申請。	留学費用支援制度	派遣交換留学学生 独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)との重複支給は不可	給付奨学金	下記の形態及び派遣先(協定校)により支給額は異なる。 1.留学先の授業料を支払う場合 月額7万円～4万円 2.海外研修給付、セメスター・アブロードは、2口(20万円)まで申し込み可能。	留学開始前一括支給、または派遣期間中に分次支給		予算に計上された員数以内	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可
	総務課	フェリス学院大学海外留学奨学金	その他	留学、または研修参加決定後2か月以内	留学費用支援制度	派遣交換留学学生、認定留学学生、セメスター・アブロード派遣学生、海外短期研修参加学生で、経済的理由により海外留学が困難な者	貸与奨学金	□10万円、兼利子。 派遣交換留学、認定留学は、3口(50万円)まで申し込み可能。 海外短期研修、セメスター・アブロードは、2口(20万円)まで申し込み可能。			志願者に応じて決定する。	地域の制限なし	国際課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学障がい学生奨学金	在学中	1～4年次	その他	障がいをもつ学生への経済的支援	各市区町村発行による障害者手帳に記載されている「身体障害者障害程度等級」が1級及び2級の者	給付奨学金	年額10万円	1年		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	総務課	フェリス学院大学年間奨学金	在学中	4年次	特待生・成績優秀者 学費支援	卒業申込資格を取得した者と、学業、人物ともに優れ、経済的に困難している学生。次の各号に掲げる要件を満たす者。 (1)日本学生支援機構奨学金の申込資格を有する者 (2)日本学生支援機構第一種奨学金等年額特別家計基準該当者 (3)専修奨励優等修得していない者 (4)4年次前期までの累積GPAが2.50以上の者	給付奨学金	年額40万円	1年	1名		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
総務課	フェリスチャレンジ制度	在学中	1～4年次生	課外活動支援制度	次の条件を満たす企業であること ①採用決定後～2025年1月までの期間で完了する企画であること ②グループでの活動とし、グループ構成を企業が学部単位で行うこと ③社会貢献、学生生活の向上を目的とする企画であること。 ④福利を目的としないこと。 ⑤活動は国内で行うこと。	その他	プロジェクトにつき上限20万円(採択プロジェクト数により、上限金額は変動の可能性あり)			給付(複数回)後、1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
総務課	フェリス学院大学資格取得講座	在学中	1～4年次生	資格取得支援制度		1～4年次の本学に在籍する学部生	その他	受講料の10%割引、入学金8,000円免除			地域の制限なし	国際課	併用可	併用可	

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
横浜商科大学	アドミッション・広報部	学費免除奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時	入学金・授業料免除 その他	施設設備費全額免除	入学試験受験時に高等学校などに在籍していた者が対象で、本学への入学時までに日本商工会議所主催の簿記検定試験1級の資格又は税理士試験科目合格した者	免除・減免	(1) 入学金給付免除する。 (2) 入学から最大4年目までの授業料を免除する。 (3) 入学から2年目までの施設設備費を免除する。 ※JASSOについては、3年次以降の学業成績が一定以上であることを条件に授業料を免除します。また、3年次以降は年度において、入学から当該年度までの学年に試験に新たに科目以上合格した場合は、当該年度の施設設備費を免除します。	(5)の金額欄に記載の内容参照	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可	
	アドミッション・広報部	入学金給付奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時	その他	入学金給付	対象: 本学入学者 条件: ① 総合選抜(特別)入試に合格した者 ② 入試合格者の時点で見込成績が本学に在籍する者 ③ 留学生入試合格者のうち、日本国際教育支援協会・国際教育支援協会・国際交流基金主催の日本語能力試験1級取得者、又は日本学生支援機構主催の日本留学試験(日本語)の合格者が500名以上の者 ④ J-トップ・言語共通参加試験CFPB1以上又は日本商工会議所主催簿記検定2級のいずれかを本学入学までに合格した者 ⑤ 同窓生推薦入試に合格し、評定平均値が4.0以上の者	給付奨学金	入学金全額給付	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可	
	アドミッション・広報部	横浜商科大学同窓会奨学金制度	その他			特待生・成績優秀者	学業成績優秀者	給付奨学金	400,000円給付	1年間	3名	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可	
	アドミッション・広報部	横浜商科大学特待生	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者	特待生は、(1)～(2)のいずれかを満たす者。 (1) 2年次、3年次、又は4年次で在籍し、学業成績優秀者9名(各学年各科目1名) (2) 本学入学後日本商工会議所主催簿記検定試験1級を取得したこと、又は税理士試験科目合格等の条件を満たしていること	免除・減免	授業料・施設設備費全額免除	1年間		(1) 各学年各科目より各1名 (2) 人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可	
	アドミッション・広報部	資格取得奨励奨学金	在学中	資格取得時、在学中に限る	資格取得支援制度	横浜商科大学指定の資格取得者	給付奨学金	資格に応じて30,000円から100,000円	1回限り、			人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可
	アドミッション・広報部	授業料免除奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時	入学金・授業料免除		対象は本学入学者 入学時までに次の各号のいずれかに該当するものに対して、授業料全額免除する (1) 総合選抜(特別)入試に合格した者 (2) 一般選抜A日程または一般選抜「大学共通テスト試験利用選抜」入試A日程及び開B日程での合格者上位10%の者	免除・減免	授業料全額免除		最大4年間 32年次以降は学業成績が一定以上であることを条件に1年ずつ延長し、最大4年間免除します。	(3) 参照	地域の制限なし	アドミッション・広報部	併用可	条件有り併用可
松蔭大学	学生課	スカラシップ	その他	合格時に通知	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除	一般選抜1期において、優秀な成績をあげた受験生、Aスカラシップ入学金・授業料・実務補習費・学費貸付免除、Bスカラシップ入学金免除。	免除・減免	① 前年度124万円 ② 入学金33万円	① 1年間 ② 成績に依りて継続可能		① 若干名 ② 若干名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	入試・広報課	経済学部西村一朗奨学金制度	在学中	① 経済支援(1年生～4年生、8月上旬) ② 学業成績優秀(2年生～4年生、指名制のため本人申請なし)	学費支援	① 経済支援: 1～4年生全学部対象。家庭の経済状況、学業、人物。② 学業成績優秀: 2～4年生全学部対象。1年間の成績において、特に優秀な成績を挙げ、かつ人間的に優れた者。	免除・減免	当該年度の授業料の2分の1相当額	当該年度の後期		① 経済支援: 20名程度 ② 学業成績優秀: 若干名	地域の制限なし	学生生活・進路支援課	併用不可	併用可	
福岡県立看護大学	入試・広報課	学費減免チャレンジ入試制度	学校出願時	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除	2024年度総合型選抜(特待生型)(課選出型1期:希望者型)、一般選抜(個別試験型A日程)および(大学入学共通テスト利用型1期)において成績上位者名(学費減免生)とします。	免除・減免	減免S5: 4年間授業料100%減免(計280万円) 減免S1: 4年間授業料50%減免(計140万円) 減免S2: 4年間授業料30%減免(計84万円) 減免S3: 入学費全額免除(計30万円)	減免S5: 4年間 減免S1: 4年間 減免S2: 4年間 減免S3: 入学時	実績 2022年 40名 2023年 42名	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可		
	入試・広報課	特待生・特別奨学生 制度	学校出願時	特待生・特別奨学生 制度	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除	【特待生・特別奨学生 制度】 本学で学びたいという強い意志を持った学生に対して、独自の奨学金制度を設定し、学生生活をより充実できるように様々な経済的支援を行っています。 特待生: 特待生A・特待生B・特別奨学生・特待生(選抜) 1. 学業成績・人徳とに優秀な学生に押し、入学後の学業を奨励することを目的とするもの。 2. 将来の経済情勢に鑑み、学業に専念できる環境を整えるよう経済面をサポートすることを目的とするもの。 3. 奨励される学業(授業料)の選定範囲は一切ありません。 ※2年次以降は前年度の学業成績、出席状況等の学業状況を審査します。 ① 対象者: 新入生 ② 減免期間: 6年間(最大14年間継続) ③ 対象学年: 本学卒業するまで(学業成績)における成績優秀者給費の条件に満たす者 ④ 応募条件: 本学の建学の精神及び教育理念を十分に理解して本学を学び、将来、立派な薬剤師・研究者・技術者・教員になることを願望する者。入学試験の出願資格を満たす者	免除・減免	① 6年制(漢方薬学科・臨床薬学科・看護薬学科) 特待生B: 年間授業料150万円免除 (6年間で合計 900万円) 特待生A: 年間授業料80万円免除 (6年間で合計 480万円) 特待生B: 年間授業料40万円免除 (6年間で合計 240万円) 特別奨学生: 年間授業料10万円免除(6年間で合計 60万円) ② 4年制(薬科専攻) 特待生: 年間授業料50万円免除(4年間で合計 200万円免除) 特別奨学生: 年間授業料20万円免除(4年間で合計 80万円免除)	原則(6年制は6年間、4年制は4年間継続)。 ④ 4年制(薬科専攻)に対する専業人員(目標) 特待生: 5人 特別奨学生: 36人	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可			
横浜薬科大学	入試・広報課	医薬部学支援奨与基金	在学中	1年生～4年生	学費支援	【医薬部学支援奨与基金】 本学において、学業進歩をもった在学生に対して、修学継続に必要な学費の全部又は一部を貸与することにより当該学生を支援し、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。 1. 対象者: 在学生 2. 貸与対象: 申込みは在学生本人とし、学費負担者の連帯保証が必要。 3. 基金貸与: 本学に在籍する学生から申請し、学業成績が一定以上であること、(道徳・学業)に優れていること、(奨励)に優れていること。 4. 貸与期間: 当該年度の1年間とする。(更新制) 5. 利息: 無利息貸与とする。 6. 基金返還の方法: 貸与金額を卒業年度の翌年度4月から本学指定の銀行口座に振り込み開始。(分可制) 7. 基金に関する問い合わせ先: 学生課 045-859-1325(直通)	貸与奨学金	当該年度の学納金の全部又は一部です。 当該年度の学納金から奨励金の貸与を受けたいことを優先し、その貸与額・学納金を相殺して申請できます。 奨学金が停止されている場合は、学納金を限度として必要額を申請できます。	当該年度の1年間とする。(更新可)	指定なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	入試・広報課	入学者選抜の成績優秀者に対する授業料免除	学校出願時	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	一般選抜A日程における成績上位者	免除・減免	① 1年額100万円 ② 学費相当額を限度	① 1年間		① 1年間10名以内	地域の制限なし	入試・広報部	併用可	条件有り併用可	
日本映画大学	入試・広報部	学業成績優秀者に対する授業料免除	在学中	2年次生および3年次生 前年度の学業成績により判定する成績優秀者から選考 前年度500,000円(前期授業料全額免除) 人数 若干名 ※なお、高等教育の修学支援新制度の対象となつた者は、給付・減免額の調整が行われます。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		免除・減免	金額 年額500,000円(前期授業料全額免除)	1年間		若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	条件有り併用可	
	入試・広報部	今村昌平記念奨学金	在学中	4年生	入学金・授業料免除	対象は新入生 前年度終了時点で学業成績により判定する成績優秀者から選考(選算GPA(Grade Point Average)=成績平均値)3.5以上) 金額 ① 年額1,580,000円(4年次学費全額免除) ② 年額 790,000円(4年次学費半額免除) 人 数 ① 5名以内 ② 若干名	免除・減免	① 年額1,580,000円(4年次学費全額免除) ② 年額 790,000円(4年次学費半額免除)	1年間		① 5名以内 ② 若干名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	条件有り併用可	
	入試・広報部	修学支援奨学金	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料免除	対象はEJ-4年生次(外国人留学生を除く)のうち、経済的理由により修学が困難である者 【対象要件】 1) 学費負担者の傷病や死亡、もしくは災害等の被害を受け、家計状況が急変し、学費の納入が困難と認められた者。 2) 学業成績が優秀(一定の学力基準を満たす)である者。 金 額 年額500,000円(後期学費から減免) ※前年度1～4年間で1回限り。特別な事由がある場合は2年を限度) 人 数 20名を限度(1～4年次生合計)	免除・減免	年額50万円	1年間		年間20名を限度	地域の制限なし	学生支援部	併用可	条件有り併用可	
	入試・広報部	自宅外通学支援奨学金	入学後		入学金・授業料免除	対象はEJ-2年生および編入学生(外国人留学生を除く)のうち、神奈川県、東京都および近郊以外から入学し、自宅外通学をする者 【対象要件】 1) 入学当初から自宅外通学が必要かつ賃貸による住居費用が本人または学費負担者に生じる者。 2) 家庭の所得が一定の額に満たない者。 3) その他本学が指定する条件を満たす者。 金 額 年額300,000円(後期学費から減免) 人 数 20名を限度	免除・減免	年額30万円	1回限り		50名を限度	地域の制限なし	学生支援部	併用可	条件有り併用可	
	入試・広報部	学務部学生支援課	横浜朝英大学奨学金	その他	学生からの申請ではない	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	看護部、保育士等の資格取得を目指す本学学生に対し、在学中の前年度学業成績が優秀で品行方正な学生に対し給付を行う。 1. 対象者は、各学部の2～4年生 2. 人数は、各学部各年次につき、2名以内。	給付奨学金	一人当たり年18万円	1年(4月に全額支給)	2名	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
湘南医学大学	入試事務室	特待生制度(薬学部)	学校出願時	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	【薬学部特待生制度】 各入試の合格者の中から成績上位者を特待生として選定し、授業料の金額または半額を免除します。 ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	免除・減免	+授業料全額免除(1,450,000円) 6年間で8,700,000円 +授業料半額免除(725,000円) 6年間で4,350,000円 ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	6年間 ※入学後、各年度末の学業成績が学年上位10%以内及び必修科目を単独で取得の方に限り、次年度以降が継続となります。 ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	A区分: 総合選抜、社会人選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜 最大20名 B区分: 学校推薦型選抜(一般公募型、指定型) 最大30名 ※詳細については2024年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	地域の制限なし	入試事務室	併用可	併用可		
	入試事務室	ふれあいグループ奨学金	入学後		学費支援	ふれあいグループの選考基準に基づき、本学に在学継続の支援を目的として貸与します。 ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	貸与奨学金	50,000円または30,000円 最長4年(月額50,000円)貸与した場合は、総額2,400,000円 最長4年(月額30,000円)貸与した場合は、総額1,440,000円 ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	最長4年(休学・留学期間は除く) ※詳細については2025年度大学入学共通テスト学生募集要項をご確認ください。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援	併用可	併用可		

大学名	部署名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
湘南鎌倉医療大学	学生部	特待生制度	入学後		特待生・成績優秀者		① 特待A 一般選抜Ⅰ期において、成績上位5位の者で本学に入学者 ② 特待B 一般選抜Ⅰ期において、成績上位8位から10位までの者で本学に入学者	給付奨学金	① 特待A 入学金20万円と授業料全額140万円の合計160万円を給付する。 ② 特待B 入学金半額10万円と授業料半額70万円の合計80万円を給付する。	初年度のみ	①特待A:5名 ②特待B:5名	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可
	学生部	奨学生制度	入学後		用途を定めない経済的支援	成績優秀で経済的援助が必要と認められる者(審査あり)		給付奨学金	授業料等の半額相当額(75万円)を給付	1年間 (※毎年度申請により最長4年間の受給も可能 (審査あり))	各学年最大5名まで	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可
	学生部	離島・沖縄出身奨学金制度	入学後		用途を定めない経済的支援	離島・沖縄出身者で、経済的援助が必要と認められる者(審査あり)		給付奨学金	1年次の方:入学金+授業料等の半額相当額(85万円)を給付 2～4年次の方:授業料等の半額相当額(75万円)を給付	1年間 (※毎年度申請により最長4年間の受給も可能 (審査あり))	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可
	学生部	特別奨学生制度	入学後		用途を定めない経済的支援	災害、その他家族の経済的状況急変により修学困難となり、かつ学業継続の意思のある者(審査あり)		給付奨学金	授業料等の半額相当額(75万円)を給付	1年間 (※毎年度申請により最長4年間の受給も可能 (審査あり))	若干名	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可
	学生部	奨励生制度	在学中	2年生～4年生		特待生・成績優秀者	①奨励A:2年以上で前年度学年末成績が上位5位までの者 ②奨励B:2年以上で前年度学年末成績が上位6位～10位までの者 ※奨励生制度、離島・沖縄出身奨励生制度、特別奨励生制度の受給者は除く。	給付奨学金	①奨励A:20万円 ②奨励B:10万円	1年間	①奨励A:各学年5名 ②奨励B:各学年5名	地域の制限なし	学生部	併用可	条件有りで併用可